臺灣日日新報
本日十六頁
編輯發行人 佐々木 [illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
[illegible]

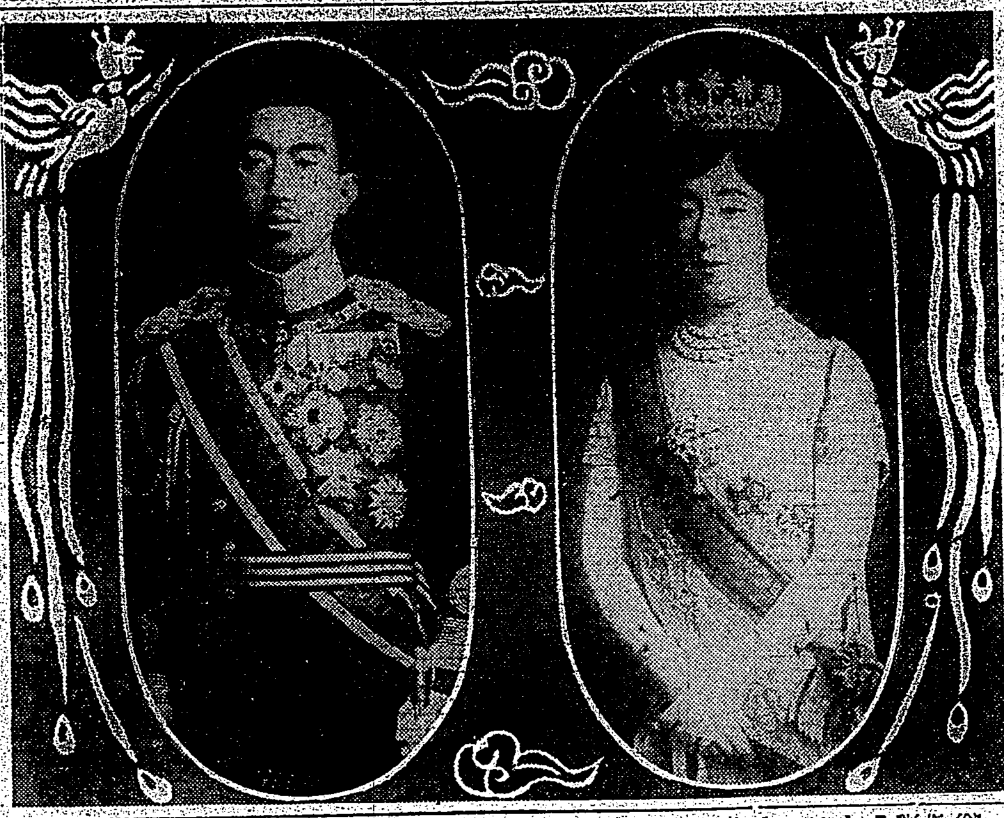
社説　興亞の大業に全力を注げ

昭和、曙に映じて、瑞雲と光明とに輝く新年は、朗かに東亞の天地に訪づれた。多年の消耗たりし支那大陸に統一の巨歩を踏み出し、その再建に邁進し來つた日本帝國の上に、昭和第二の輝かしき新年を迎へて、吾等國民は、先づ聖壽萬歳と、皇室の彌榮とを祈願いたさねばならぬ。[illegible]

幸ひ、歐洲大陸には、無二の盟邦ドイツ、伊太利があり、東洋に於ける日本の聖業に全幅の支持を與へてゐることは、吾等國民の意を強うするに足る所である。[illegible]

之を要するに、昭和十四年に處する國家民人としての進む大道は [illegible]

[illegible]



聖壽萬歳

早くも新戰場に新理想が胎動
更生支那を感得
內閣總理大臣 公爵 近衞文麿

新年を迎ふるに當り、謹みて [illegible]

[illegible]

敵地と一衣帶水 安居樂業の臺灣
これ聖恩の賜もの
臺灣總督 小林躋造

昭和十四年の新春を迎へ [illegible]

[illegible]

大業を志す以上試煉は當然だ
陸軍大臣 板垣征四郎

聖戰第三年、茲に皇紀二千五百九十九年の新春を迎ふるに當り [illegible]

西太平洋上の制海權を確保
新東亞建設に必要な條件
海軍大臣 米內光政

茲に輝かしき新年を迎へ [illegible]

東亞に訪づれた新春譜

春共聖恩長
文麿

聖恩長　近衞首相書

小林總督の書

新秩序建設こそ明年を飾る金字塔
總務長官 森岡二朗

茲に輝かしき新年を迎へ [illegible]

朝陽、富岳に映ず

花嫁外交
笠間杲雄

日本の皇族の姫がエチオピアの王族に輿入れをするニュースが世界のセンセーションとなつたのは、ちやうど私がイランからリスボンへ轉任したばかりのときであつた。本省から來るニュースにはこんなことは含まれてゐなかつた。[illegible]

[illegible]

正しき道
澎湖島要塞司令官 大里茂澄

大君の惠の旭がかゞやきて 東もろこしも明け初めにけり

○

みいくさきそへきる國のかずますも 正しき道はつらぬかでやは

○

うきことをさきひもとめてうち克たん いくさに出でし人にならひて

御鴻業御完成に 畏し夙夜御精勵

仰ぐも尊き御聖德

御稜威のお輝やき、戰捷の榮光燦として御めでたき昭和第十四の春、畏くも御感慨深き新春に大本營を置かせられて第二回の佳春を迎へさせられた

大元帥陛下には聖壽御三十九を算へさせ給ふ 皇后陛下には御年御三十七歲の春を迎へさせられ[illegible]は陛下と同じく[illegible]御出に亘らせられ又大宮御所に在はす 皇太后陛下には御年御五十六歲の新春を迎へさせられた、畏くも皇軍を御嘉賞あらせ給ふ大元帥陛下には興亞の御聖業に、神聖公明の大方針を降し給ひ、有史以來の御鴻業御完成に夙夜御精勵、限りなき御仁慈をあまねく四界に及ぼさせ給ふ陛下には宮中三殿の大祭を御親祭、小祭にも[illegible]の日毎の御拜を[illegible]させ給はず又毎朝神宮を御遙拜せられ[illegible]の大御心を捧げ給ひ且つ神意を聞召せられて万機の神聖を御念ぜさせられる、更に洩れ承はるに常に民の心を大御心に拗まさせられ万機御親裁には一々民草を思召される有難き御下問を拜して近衛首相以下文武大臣は感激に申上げて居る處である、又事變の御深憂にも拘らせられず御寢食の御暇もなく只管御精勵遊ばされ事變以來は皇軍の戰況を思召されては御避寒御避暑のことも控へられ、前線には侍從武官をして親察、恩賜品を賜つて[illegible]御慰問せしめられ[illegible]高松宮同妃殿下を召され台臨[illegible]ース映畫を天覽あらせられては將兵の忠勇と勞苦を偲ばせ給ふさきには軍人援護に御下賜金あり、又近く臨時東京第二陸軍病院に行幸の御內意と承はる國家總力戰下國策の重大なるを思召されて、宮中の金製品を下げ渡され、或は宮廷のガソリン使用減少に關し側近に御下問を賜ひ、御常御殿の障子の切張を御下命あらせられ、又御座所の御卓上の金具もお取り止めになつたが御所には臣下の許に至るまで御質素の程を拜し奉つて側近者は只管恐懼感激申上げるばかりである

皇后陛下には傷病將兵を思召されては清淨無比の上着を縫はせられ御手を御消毒遊ばして繃帶を御製作になり、先には陸海軍病院に各皇后宮使を差遣はされ或は有り難き御歌を賜ふた皇太后陛下には御日常つねに御節約遊ばされて質素な御品を賜ひ、又各方面に御下賜金を賜ふなど御優しき御仁慈の程民草の等しく感泣するところである

仰ぎまつる天皇陛下の御英姿

(宮內省御貸下)

戰捷の春に輝やかに 森嚴な宮中の御儀

神嘉殿南庭に出御 東亞の和平を御祈念

けふ四方拜の御儀

事變下再び迎へた戰捷の春、昭和十四年の元旦、畏くも天皇陛下には四方拜の御儀に於かせられて、東西久遠の和平確立を御祈念あらせられる、嚴霜肅かに曙暗を照す午前五時半陛下には黃櫨染御袍の御束帶神々しく、神嘉殿南庭に出御、御屏風の內に入らせられ、皇祖、神祇、山陵等御遙拜遊ばされるが、御近習一人伺ひ奉ることなく、神秘限りなき御儀で、御親ら東亞の和平、國家の安泰、万民の多幸を御祈念あらせ給ふと承はる、それより同四十分、更に賢所皇靈殿神殿に玉串を奉らせられ、御奥より流れる神韻の御鈴しばし鳴り響く裡に、恭しく御親拜、歲旦祭の御儀を行はせられる

文武顯官に謁を賜ふ

禁苑靜かに白みそめる宮中三殿の御儀を終へさせられた天皇陛下には帷幄のうちに在はすとは申せ此の佳き日をも御煩々しい御服裝に御召替へになり午前八時鳳凰間に出御、朝御膳の御儀あり、大奥にて 皇后陛下、皇子様方と御祝膳を御祝はせ給ひ午前十時再び鳳凰間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃兩殿下を始め各皇族方に御對面、戰捷新年の御祝詞を受けさせられ、次いで皇族方を從へさせられて正殿に出御、再び天皇・皇后、兩陛下畏き思召に依り許されたフロック、モーニング又は軍裝に威儀を正して居並ぶ近衛首相以下文武顯官、同夫人等に賜謁拜賀を受けさせられ、次いで午前十一時再び出御、宮中席次第二十七以上の諸員並に有資格者の拜賀あり、午後は一時半より白耳義大使バッソムピエール男以下各國大公使、同夫人等の拜賀を受けさせられて御稜威輝やく新年の拜賀式を終へさせられる、尙一日は今春は拜賀なく有資格者は參賀申上げることになつてゐる

督府の豫算內定

大藏、拓務の折衝を經て

【東京三十一日發同盟】昭和十四年度拓務省所管各外地特別會計豫算は三十日夜大藏省と拓務省との折衝を經て內定を見たが台灣及び南洋廳歲入歲出概算左の通り(單位千圓)

臺灣總督府

	昭和十四年度豫算額	前年度との比(×は減)その他增
歲入		
經常部	一四〇、〇六六	一四、[illegible]
臨時部	六四、一三一	五、八六一
計	二〇四、二二九	二〇、[illegible]
歲出		
經常部	一四〇、一四〇	一九、[illegible]
臨時部	六四、[illegible]	五、八六一
計	二〇四、二二九	二〇、二〇五
南洋廳		
歲入		
經常部	[illegible]	[illegible]
臨時部	六八四	×三一一
計	一〇、[illegible]	八九
歲出		
經常部	四、六九九	二九
臨時部	五、五三四	[illegible]
計	一〇、[illegible]	八九

右のうち臺灣總督府における昭和十四年度歲出追加主なる新規事業要求額は左の通り(單位千圓)

鐵道建設及び改良	[illegible]
港灣築造	[illegible]
治水工事	一、〇六〇
防空及び警備	[illegible]
燃料資源開發	九六三
パルプ資源開發	一、〇五〇
輸出振興	[illegible]
物資需給調整	[illegible]
軍事援護	[illegible]
國民登錄	一〇〇
米穀管理に伴ふ經費	二、[illegible]
臨時資金特別會計繰入金	一六、[illegible]
外に既定經費の節減繰延	四、[illegible]

汪精衛の重大聲明

各方面に一大衝動

【香港三十一日發同盟】武漢、廣東の陷落前から既に擡頭しつつあつた和平論は四圍の情勢に制せられて容易に展開せず、俄かに汪精衛の外人記者に對する合理的和平解決の聲明並に熱烈な反共聲明を[illegible]反共論として外聯よりその動向を探知するに過ぎざるものであつた然るに皇軍に依る武漢、廣東の攻略は支那側の長期抗戰に對し新段階を畫することとなり重慶の[illegible]は和平問題を繞る內部的對立をのつびきならぬものたらしめ、茲に今回突如重慶脫出をなすに至つたものである、而して支那事變和平解決に關する[illegible]の重大聲明は各方面に對し[illegible]の如き一大衝動を與へ、殊に汪の宣言において善隣友好、共同防共、經濟提携の三大原則に[illegible]和平交涉の門は既に開かれ抗戰の目的を達したものであるとの眞摯大膽なる聲明は國民黨は勿論抗戰一年有半慘憺たる戰禍に呻吟する多數國民の立場を代表するものである

勸銀島內貸付 利率引下げ

勸銀では昭和十四年上期島內實施の貸付實行利率を次の如く發表した、卽ち有擔保其他の貸付は何れも前期と同樣に据置であるが、產業組合に對する貸付に就ては年賦、定期共に四厘下げの五分八厘となり大體の利下げである、右は組合の公共的性質に鑑み、個人に對する貸付利率よりも特に低率を以て融通することとし此の方面への積極的援助を期したものである

一、有擔保貸付
イ、田畑圓田地當 年賦年六分 定期同
ロ、[illegible]年賦年[illegible]分 期間中六分[illegible]年以內のもの年六分
二、無擔保貸付
イ、州市街庄其他公共團體 年賦年五分、定期四分八厘
ロ、產業組合 年賦年五分八厘 定期同
三、手形割引
イ、產業組合 日步一錢四厘
ロ、國債及當行發行債券擔保 日步一錢四厘以上

謹賀新年

昭和十四年元旦

臺灣日日新報社

社長 河村徹

顧問 赤石定藏

外社員一同

飛躍的な業績

新春を迎へた滿洲國

【新京三十一日發本社特電】盟邦日本の興亞政策遂行と並行して滿洲國は內政外交に着々その實績を擧げつつあるが、內政關係に於ては現下世界諸情勢に則應する修正產業五ケ年計畫の樹立を初め、三江省東辺道地域に蠢動する共產軍の大掃蕩並に熱河西南地區に侵入した支那共產軍の掃止工作等を完成し國內治安の確立を期し、更に協和會の機構擴充並に政府との人事交流を斷行して中央、地方の人事刷新を行ひ、滿洲國の使命達成に遺憾なき非常時陣容を確立した又外交方面に於て獨伊兩國との間に修好通商條約を締結して防共樞軸を强化し更に通歐經濟使節を派遣してよりよき親善關係を樹立した、又特にポーランド政府と領事交換取極めをなして歐州外交に飛躍的巨步を印した、又興亞新政權との間には夫々外交通商代表を派遣駐せしめて修好經濟關係調整を圖り、日滿支一體となつて興亞建設工作に協力する一方、外務機構の擴充を圖り對ソ外交陣容の整備をなし、張鼓峰事件を初め滿ソ國境紛爭の整理及び多年の懸案たる領事館隣迫問題並に旅券査證問題等難問題處理に當り、一時は危機を傳へられた領事館隣迫問題の解決まで導くに至つた、斯くの如く滿洲國政府は內政外交兩方面に亙り飛躍的業績を殘して愈よ超非常時體制下に新春を迎へる事となつた

山西西部の敵兵 將に殲滅に瀕す

皇軍の目覺しき戰果

【太原三十一日發同盟】二十七日早朝汾陽、離石の中間吳城鎭を出發した〇〇部隊の一部は同日夕刻三角庄附近で有力な敵部隊と遭遇、敵は死體三十、武器彈藥多數を遺棄して西南方に潰走した、一方離石を出發した〇〇部隊は共產第十五師に屬する敵を隨所に擊破しつつ軍渡方面に向け猛進中である又二十七日朝柴窯西方東飾鎭、樓底鎭にて敵約千三百を粉碎した松井部隊の一部は破竹の勢を以て西方に進擊を續けて居り中陽より石樓に向つた〇〇部隊も多大の戰果を收めつつ猛進中、更に山砲飛行隊は空中よりこれに協力進擊爆擊を敢行しつつあり、今や山西西部の敵は殲滅に瀕してゐる

澳門の葡國官憲は 絕對的に親日態度

廣東の入口として澳門は躍進

【廣東にて濱中本社特派員】大南支新政權樹立への一段階としてすこやかな成育途上にある治安維持會と共に吾々は今廣東に於て葡領澳門との密接なる親善關係に特別な注目を拂はねばならない、ポルトガル駐兵司令官の廣東訪問は香港に押されて繁榮を奪はれ賭博場の名だけによつて存在するかの如く兎角一般から忘れられてゐた僕門もかくて皇軍の廣東占領により華々しい脚光を浴びて新東亞の舞台面に躍り出して來たのである、澳門の葡國官憲は絕對的の親日態度を持してゐる、そのかみ葡國日本の[illegible]ポルトガル、今は[illegible]の下にイベリヤ半島に[illegible]を集めてゐるとは云へ我が國にとつては忘れる事の出來ない文明の開拓者であつた、然も共產黨[illegible]の十字軍を起した防共の一線にある國家だ、吾々は今迄何故に南支に葡領澳門のある事を忘れてゐたのだらうか、香港は廣東占領後次第に經濟的逼迫を來して支那人商人の大半は倒產するであらうと傳へられてゐる、これは自然の勢ひやむを得ざるものであつて[illegible]しむる[illegible]の態度を持ち合せてゐるのである、また與國に近づくはこれ同じく自然の勢ひでもある、澳門は[illegible]への入口として今後益々躍進への一途を辿るであらう、邦人の南支商行への企業の足場ともなる事であらう、台灣は改めて澳門の存在を認識すべきである、今にして吾々は往年同地在留唯一の邦人たる和田氏が上水道工事の為に奔走した事實を思ひおこすのである

> ## 二日附朝刊は休刊
> 元旦は慣例の定休日に當りますので二日附朝刊は休刊 尙ほ夕刊は六日から發行します

人事

▲淸水誠氏(東京工業大學教授)三十日南部より來北(鐵道ホテル)
▲永井淸次氏(日糖專務)三十一日屏東に歸る
▲栗山喜三氏(九州帝大教授)三十一日南部へ
▲江副與惣太氏(永水製冰專務取締役)二日遠來丸にて上京
▲眞原榮次氏(淸水組臺北支店長事務代理)淡路中の所二十一日內地へ、近く再び來臺の由

號外發行

客臘三十一日、汪精衛の重大聲明を號外として發行、讀者に配達しました

謹賀戰捷新春 皇紀二五九九年

三田定則　藤田俱治郎　石井龍猪　後宮信太郎　木村泰治　井坂孝　山下樵曹　增田虎藏　槇哲　松本雄吉　三毛菊次郎　後藤章司

中村民一　廣瀨辰之助　安座上眞　竹藤峰治　緒方敬典(株式會社南大公司)　星一　肥後誠一郎　小松吉久　林熊徵　陳天來　郭廷俊　林柏壽　池田又四郎

中辻喜次郎　重田榮治　江原節郎　高橋猪之助　郡松一造　山中佐太郎　藤田輝三　高倉龜次郎(高砂香料株式會社)　谷河梅人　村崎長昶　岡山隆志(高砂土地住宅株式會社 事務所 臺北市千歲町一丁目十二番地)　伴統一郎(高砂生命臺北事務所)　辜振甫(臺北市永樂町五丁目一七一番地)

持木壯造 臺北市川端町二三二番地ノ七 電話一二五三八番

東京電氣株式會社 臺北出張所 臺北市本町二丁目六十九番地 電話長七一三二・六六〇八番

淡水街役場 街長 中原薰 外職員一同

八里庄役場 庄長 芹澤彌吉 外職員一同

三芝庄役場 庄長 盧根德

東洋和平 長期建設 台北・榮町 大倉本店

汐止街長 神谷龜吉 外職員一同

李朝芳 汐止街

保證責任 金山信用購買販賣利用組合

保證責任 萬里信用購買販賣利用組合 組合長 陳明 外役職員一同

謹祝長期建設新春

持木壯造　臺北市川端町二二二番地ノ七　電話二二三八番

中島清吉　臺北市兒玉町一丁目十三番地

平田藤太郎　臺北市川端町

臺北市北門町二　東京火災保險株式會社　臺北出張所長　合田憲爾　電話三〇九〇

菊池鶴次

臺北市松山三四三　芝崎定

臺北市千歲町一ノ七　宮崎辰造

臺北市宮前町　張一園

臺北市　楊漢龍

許智貴　臺北市建成町壹ノ貳〇五　電話七〇貳壹番

劉天祿　臺北

梅本安之助

中村敬市郎

臺北市本町二丁目六十九番地　東京電氣株式會社　臺北出張所　電話長二七二三番　六六〇八番

臺北刑務所製　籐椅子　柳行李　乳母車　三輪車　中島商會　臺北市本町一ノ八　電話二六七五番
中島分店　臺北市西門市場　店主　中島

臺北市老松町一ノ二八　東屋染物店　電話四八八二番

臺灣和風會會長　家元　師範　蟹江尾州　和風會會員一同　臺北市御成町一ノ五

杉村組　杉村庄一　電話三四〇四番

池坊臺灣橘會

臺北土木建築請負業組合　電話六二五五番

富士タクシー株式會社　臺北市　大和町　電話二七一〇番　本町　電話三八四三番　東門町　電話二五六番

大新自動車株式會社　臺北市本町　東門町　新店　臺北新店　電話一二八四八番

麻豆街長　島津兼作

保證責任麻豆信用購買販賣利用組合

保證責任麻豆建築信用購買利用組合　組合長理事　陳　電話四五番

甘藷澱粉製造開始三月ヨリ　麻豆　大和製粉公司　振替口座七四四七番

資本金壹百萬圓　大正元年創立　金錢信託、貸付業務、不動產管理　臺灣興業信託株式會社　本店　臺北市　出張事務所

臺北市日新町一丁目三〇二番地　臺灣華僑新民總公會　(電話七七貳四番)

臺北市日新町一丁目三〇二番地　臺北華僑新民公會　(電話七七貳四番)

淡水街役場　街長　中原薫　外職員一同

八里庄役場　庄長　芹澤彌吉　外職員一同

三芝庄役場　庄長　盧根德　外職員一同

石門庄役場　庄長　江文通　外職員一同

淡水街　龍泉大屯成渠　水利組合　外職員一同

淡水街　盧阿山　電話長五九番

淡水街　施禎益　電話四九番

第拾貳區酒類賣捌人　庄信雄　電話貳四番

第八區煙草賣捌人　雷俊臣　電話壹參番

淡水郡食鹽元賣捌人　淡水街　黑川義夫

有限責任淡水信用組合　淡水街　組合長　盧阿山　專務理事　李元　外役職員一同

公醫　十全醫院　淡水街　岩下芳太郎

淡水街　淡水醫院　李樹林

淡水閣　淡水海水浴場　電話壹壹九番乙

淡水土木建築請負業組合　(順ハロイ)　張媽進　張媽禎　陳天福　李宗鐸　林炳耀　雷水泉　野島俊宗　黃鈍愛　吳乞　謝連興

淡水海水浴場　和樂園　電話貳七番

臺灣淡水港　株式會社　施合發商行　常務取締役　盧阿山

臺灣淡水港　株式會社　老義發材木商行　社長　李好生　電話五四番

保證責任淡江信用販賣購買利用組合　淡水街　組合長　李　外役職員一同

淡水產業株式會社　社長　洪成敷　電話五六番・六五番

保證責任淡水建築信用購買利用組合　淡水街　外役職員一同

蔡和興

益元藥房　李坤元

保證責任三重埔信用購買販賣利用組合　電話七九〇〇番

保證責任鷺洲信用購買販賣利用組合

新莊郡鷺洲庄役場　庄長　武生玉　助役　蔡根　會計役　莊　外

東洋和平　長期建設　大倉本店　台北・榮町　電話二六五九番・四九九〇番

臺北市表町二ノ二一　大同生命保險株式會社臺北支部　支部長　小川鐵哉　電話六五一七番

臺北市本町四丁目五番地　日本電氣株式會社　臺北出張所　(電話四四〇八番)

有價證券賣買　大一證券　臺北市京町四丁目十番地　電話七〇六六・七〇六七番

臺北鐵道ホテル　臺南鐵道ホテル　臺灣鐵道食堂車　經營者　福島篤

銑鐵　古鐵・古銑　合金鐵　黑鉛　コークス　其他工業原料
日滿鐵鋼販賣株式會社指定問屋　株式會社大阪三榮商會臺北營業所　渡邊ゴムトース工場臺灣納入元　臺灣故銅鐵屑統制株式會社指定問屋
草野商店　臺灣支店　臺北市京町　電話五三一八・五三三

資本金壹千萬圓　臺陽鑛業株式會社
本社　基隆市壽町貳丁目拾九番地
瑞芳鑛業所　基隆郡瑞芳街焿子寮壹六六番地
石底鑛業所　基隆郡平溪庄石底字菁桐坑
海山鑛業所　新竹州大溪郡大溪街字烏塗窟

高雄州潮州郡萬巒庄佳佐聯合保甲　第九保保正　陳吉　第十保々正　陳超　第十一保々正　孔知車　第十二保々正　王水高　第十四保保正　潘再景得

高級洋服調製　捷豐洋服店　店主　徐欣隣

高雄州潮州郡潮州街　潮州小學校職員一同

臺灣殖產興業合資會社

彰化市南郭　臺灣叺株式會社

保證責任汐止信用購買利用組合　組合長　李朝芳　專務理事　闕三河

汐止街　李朝芳

汐止街長　神谷龜吉　外職員一同

石炭採掘　コークス製造並ニ販賣　益興炭礦株式會社　代表取締役　周錦樹　本社　汐止街　電話(汐止)七番　礦業所　汐止街五堵　坑場　北港一坑・北港二坑

石炭採掘　ガラ製造販賣　德興株式會社臺北炭坑　社長　周錦樹　營業所　本社　七星郡汐止街

金山庄協議會員　(順ハロイ)　李龍洲　李新長　林查某　賴阿木　小林寅松　高正治　黃阿錦　許海亮　肥後信夫

基隆郡金山庄役場　外役職員一同

基隆郡萬里庄役場　庄長　陳火明　助役　黃金圳　會計役　蔡屋　外職員一同

日本鑛業株式會社
臺北支社
金瓜石鑛山事務所
竹東油業所
湖口油業出張所
凍子脚油業出張所
九層林油業出張所

保證責任金山信用購買販賣利用組合

保證責任萬里信用購買販賣利用組合　組合長　陳明　外役職員一同

瑪鍊炭坑　萬里三坑　兩明商會

ドライクリーニング　金山西洋洗濯所　李阿金

黃齒科醫院　基隆郡金山庄字金包里

二林區總代
洪蔡洪李洪蔡陳洪洪林
益雅增文　淵　志安
智諒塹舉珍騰春蟾薯益
莊洪洪郭洪陳陳陳吳
惡　水　金令金　和清連
九九財胚字江山尚詣邦
莊蔡陳陳陳林陳曾佛
來　梓春　海　祝圓淺
坦興度成喜螺同田三一

北斗郡竹塘庄協議會員
林楊曾黃廖墻
沙九深　發源
墩良河龍明七
林曾邱許謝
丁進菊　阿
財益花秦生

北斗郡埤頭　吳良銀

後藤章司

池田又四郎

臺北市　辜振甫

謹祝皇軍大捷新春

新案微粒子コロタイプ
多色刷オフセット
寫眞印畫ト同調子ノプロセス
原色寫眞版
各種寫眞撮影ノ需ニ應ズ
臺北市御成町四ノ二
臺灣寫眞製版所
印刷 岡部眞寶　電話七〇壹八番

山本營業部
營業所 臺北市末廣町一ノ十三　電話四〇八九番

明けましてお目出度う昨年中の間は日淺きにも拘らず絶大なる御愛顧を賜ふし難有御禮申上げます本年も相變りませず倍舊の御引立をお願ひ致します
新年宴會、家族團欒其他大小の御宴會は如何樣にも御相談致します
北投温泉
割烹御旅館 初春　電話一五四番

石炭採掘販賣
和興炭鑛公司
代表者 潘廼賢
專務 鄭水源
事務所 臺北市松山三〇九　電話松山參四番
炭坑 臺北市三張犁

石底鑛業所 從業員一同

南港醫院　醫師 鄭成業

蔡川竹

保證責任 內湖信用購買販賣利用組合

內湖庄 東新庄子 農事組合

南港 王海

內湖庄役場
庄長 郭華讓
助役 前田健吉
會計役 林金案
外職員一同

國新自轉車店 郭國新　七星郡內湖公學校前

內湖庄協議會員 曾溪流

南港驛前 合益運送店

和興精米所 郭阿海

保證責任 山腳信用購買販賣利用組合

保證責任 林口信用購買販賣利用組合

保證責任 五股信用購買販賣利用組合

頭圍 林朝宗

宜蘭市制實施期成同盟會

宜蘭郡藥業組合
組合長 吉岡信充
副組合長 蘇羅南
同 黃松茂

宜蘭郡守 貞方平一郎

宜蘭街長 樋口要司

宜蘭 黃再壽

宜蘭 砂田隣太郎

臺北州會議員 佐藤德治

臺北州會議員 陳金波

三屋秋策

深谷留三

宜蘭 笹川正路

宜蘭街 小谷謙

宜蘭街 桑山寅三

宜蘭街 江原林藏

礁溪庄長 野口子之吉

宜蘭煙草支部 小島仁三郎 中野七二郎

員山庄長 門覺雄

宜蘭街 中村熊一

宜蘭街 吾妻館

宜蘭街 ツバメ商會

蘭陽澱粉株式會社

宜蘭街 元祖金柑羊羹 松島家

宜蘭醬油株式會社

臺灣日日新報社 宜蘭羅東取次店 佐藤東一

宜蘭街 田中吳服店　電話六壹番

宜蘭郡醫師會

三井生命保險株式會社 宜蘭事務所長 黃有義
田中榮績堂

有限責任 宜蘭信用組合

蘭陽醫院

宜蘭街協議會員
小島仁三郎　重藤幹一　渡嘉敷唯勳　中山文男　吉岡信亮　椎原國知　河谷義福　林換
邱有オ　連碧榕　林元弼　吳阿耀　石鑾遠　廖燦堂　張振茂　范阿成

宜蘭街 蘭陽洋裁講習所 中野喜代

本商店

カフエー銀座

宜蘭街 平戶食料品店

日本產業合資會社 宜蘭出張所

ライト寫眞館

檜垣元一法律事務所

宜蘭郡旅館組合

員山信用購買販賣利用組合

蘭陽振興株式會社

宜蘭料理屋組合

保證責任 宜蘭建築信用購買利用組合

臺灣食鹽元賣捌人組合 宜蘭支部

宜蘭郡頭圍庄頭圍二八番地 玉豐商事株式會社　電話二二番

頭圍專賣品小賣人組合

礁溪信用購買販賣利用組合

蘭陽叺株式會社

頭圍 吳朝陽

肥料商 林天賜

蘭陽米商協會

大有商行宜蘭支店

林聰商店
米穀商 慶豐商行 游火旺

羅東街 鈴木進一

羅東街 林柳賓

材木商 共進商行

共益自動車株式會社
宜蘭殖產株式會社
三星自動車合資會社
蘭陽自動車株式會社

羅東街 羅東信用販賣購買利用組合　電話四四番

羅東郡守 丸木末次郎

羅東街長 陳純精

臺灣酒類賣捌人組合宜蘭支部
石鑾遠　黃再壽　折尾德慧　長谷川錄郎

波江野吉太郎

羅東郡醫師會

本派本願寺布敎使
羅東幼稚園長
羅東佛敎護國團總裁
立森速成

羅東席貸組合

羅東會館

東寶洋劇封切館 羅東座

羅東土木協會

羅東街 吳服洋品百貨 株式會社 大正堂

大和劇場

黑木兄弟商會

東和拓殖株式會社

羅東郡藥業組合

羅東街（電話壹壹壹番） 蘭陽產業株式會社　社長 盧纘祥

羅東郡米穀統制組合

蘭陽貨物運輸株式會社

蘭陽土地建物株式會社

五結庄役場
庄長 上岡彌三郎
會計役 張方溥

冬山庄役場
庄長 山元賢一
會計役 黃老旺
外職員一同

利澤簡信用組合

羅東街 伊藤旅館

蘇澳郡守 大井又次

蘇澳庄長 小辻宇吉

蘇澳庄協議會員（イロハ順）
伊藤善喜　陳火土　林槐鄉　劉傳旺　金高喜一郎　横井勝次郎　荘阿鳳　藤嶺利幸　游兆圭　庄司辯吉

蘇澳郵便局長 溝越勝三

蘇澳港 公醫 嘉村治剛　電話四七番

蘇澳郡南方澳漁港 横井商店出張所

蘇澳天然スレート販賣 蘇澳豆砂利全島一手販賣
海南材木商行　電話四八番

蘇澳郡新城 宜蘭殖產株式會社 新城製糖所

蘇澳港 蘇澳運輸商事株式會社

臺灣石粉株式會社

蘇澳郡南方漁港 蘇澳水產株式會社　電話一〇〇番

蘇澳郡蘇澳庄蘇澳字白米甕 蘇澳糖業株式會社

蘇澳驛前 近江屋旅館　電話一〇一番

蘇澳郡大南澳 大南澳拓殖株式會社　社長 林木火

蘇澳港 共益自動車株式會社 蘇澳出張所　電話一〇二番

蘇澳郡南方漁港 福島造船所

東澳糖業組合

蘇澳港 末廣タクシー　電話一六番

蘇澳港 中野組 中野磯吉

蘇澳港 木原疊工場

南方澳海水浴場 御料理 木の江

蘇澳港 栗林商店

蘇澳港 蘇澳堂藥舖

保證責任 板橋信用購買販賣利用組合 組合員一同

カフエー美春

板橋街役場
街長 野村豐
助役 吳春天
會計役 石榮柱
外職員一同

林本源維記興業株式會社　社長 林祖壽

金瓜石ホテル 宇田つね

基隆郡金瓜石 仁聖醫院 陳聖權

瑞芳街 議員 蘇登賢

瑞芳 日置昇夫

瑞芳街大粗坑 振山金鑛部 劉明

宜蘭街 宜蘭座

瑞芳鑛山 昇平座

瑞芳街九份 鑛山ホテル

黃則武　瑞芳

李建興　瑞芳

瑞芳鑛業合資會社 沖亮吉

金瓜石 金益昌

瑞芳郵便局 佐伯鄉介

保證責任 外埔信用購買利用組合

保證責任 龍井信用購買利用販賣組合

保證責任 大安信用販賣購買利用組合　外役職員一同

大甲郡清水街 保證責任 清水建築信用購買利用組合

大甲郡龍井庄 龍井庄助役 陳春印

大甲郡外埔庄 外埔庄助役 賴朱福生

蘇澳港 雨森商會　電話四六番

蘇澳消防組

蘇澳信用購買組合　電話一四番

天然スレート石瓦 採掘賣捌元 蘇澳港 多田貫一商店

瑞芳街長 宮川三二

瑞芳街助役 川元實

瑞芳街 劉尙

瑞芳 黃烟篆

瑞芳驛前 明治製菓特約店 胡永涼

瑞芳鑛山 義和商店

金瓜石 游阿秋

瑞芳街金瓜石鑛山 呂阿火　游阿明

山皮坑請負 陽山公司

瑞芳鑛山 忠勇カフエー

瑞芳鑛山九分 カフエーゴールド

瑞芳街協議會員
佐伯鄉介　後藤章司　沖亮吉　吉永勘一郎　黃仁祥　鄭聽越　李建興　瀧口保　蘇賢仔
黃烟篆　佐藤清一　高神技　劉明　陳天生　許景滄　簡松霖　陳天註　潘宏水

大甲郡役所
大甲郡守 横山竹男
庶務課長 益永敏敬
警察課長 土橋秉盛
清水街長 高橋良作
梧棲街長 楊水河
大甲街長 田村勉
沙鹿街長 柴田清
外埔庄長 吉田秀治郎
大安庄長 李晨鐘
龍井庄長 田上金哉
大肚庄長 黃朝應

大甲郡梧棲街 公醫 王山君

棉布販賣並加工 工場經營 國本商會

小兒科內科 王醫院

臺灣料理と喫茶 山水亭

東興タオル商會

海山自動車株式會社

吾等また發奮し 小成に安ぜず

陣中に旭日を拜し感あり

中支派遣軍最高指揮官　畑　俊六

聖戰第二次の新春を迎へ、陛下將兵と共に遙に 聖壽の万歲を祝し奉る。臣子の感激之に過ぐるものはない。

畏くも 東久邇宮殿下、朝香宮殿下に於かせられては、畏き御身を以て久しく戰務に御勵精、御竈營の間、朝夕御武德の範を御示し遊ばされたことは、一同の恐懼に堪へぬところであつたが、御凱旋、引つゞき激務に御精勵遊ばされたが、御壯健にて御越年遊ばれた由承はるのは、一同の誠に御慶祝申上ぐるところである。

〇

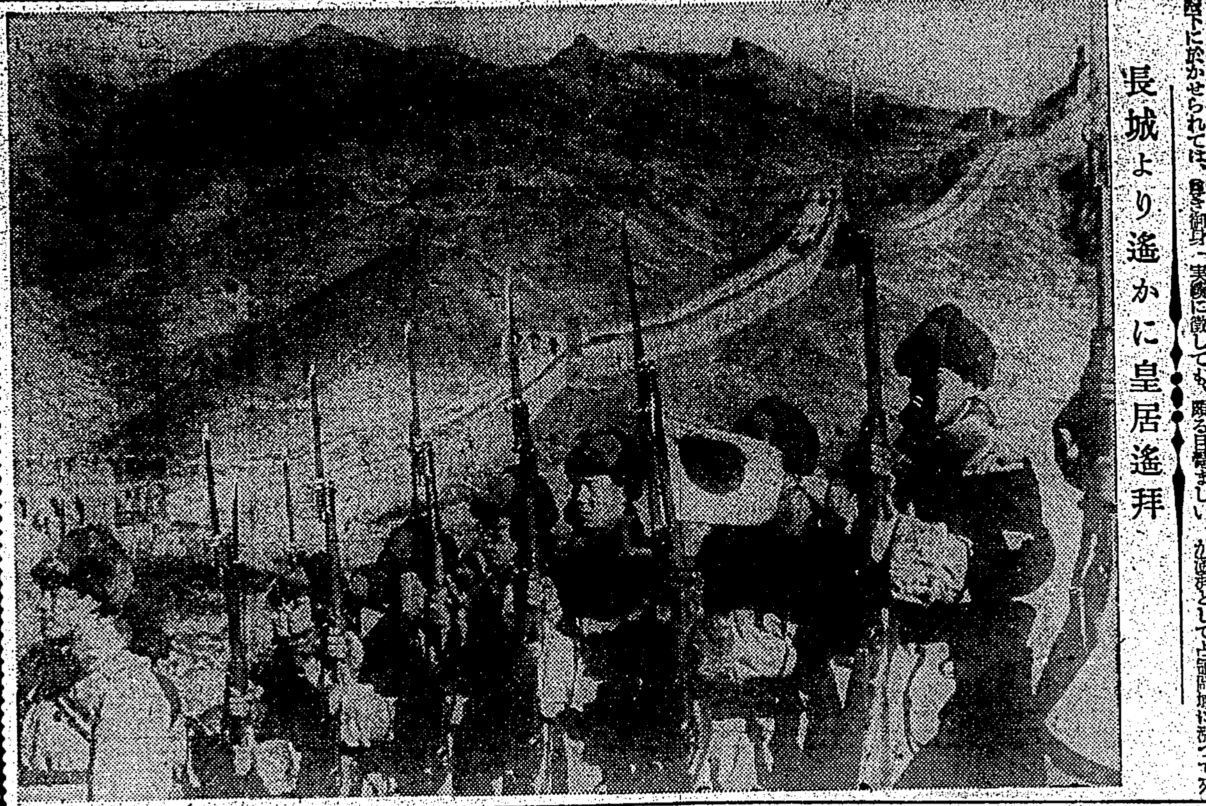
銃後の各位には、今次事變發生以來、之が徹底解決の爲め物心を通ずる總動員に協力、各方面共に動搖もなく、此處僅々一年有半の實戰に徹しても、眞る目覺ましい活躍を示され、更に今後益々一大飛躍を期せられつゝあるのは、全軍將兵の何よりも意を強くするところであつて、征戰に際し日無しとは云へ、我等亦新年の小成に安んぜず本日早曉陣中に旭日を拜して屠蘇の酒を酌み、士氣益々軒昂、南北の友軍と相呼應して、意氣は既に全支を呑みつゝあり。殊に過去數次の交戰によつて、抗日軍に徹底的の打擊を與へ、中支の概要が、ここに民衆の中から帝國の眞意を解し新政權建設を目差す運動が澎湃として占領區域に漲つて來たことは誠に同慶に堪へぬところであつて、直接干戈を執つた吾々としては、殊更衷心からの喜悦と滿足とを禁じ得ないものである。

〇

思ふに我東洋に於て誕生し、特に日本に於て發達した眞に永遠和平の根元たる道義的皇國思想に支那民衆を融合せねば今次事變の解決は到底望み得ないところであり、殊に現在長江を挾んで七省に跨がる我中支派遣軍の占領區域は、嘗ての抗日容共思想の策源地であつたので軍の任務が主として抗日軍隊の根絕に任ずることは固よりではあるけれども、仁威並び施す民衆懷柔は、由來皇軍傳統の精神とするところ、これを實際に徹底せしむべく早くも砲煙の裡から難民を救ひ、良民を宣撫し、一方既に成立後十ケ月堅實な發達を遂げてゐる維新政府等、新支那建設の熱血人士と提携しつゝ、治安を確保し生業を助け或は疲弊の民軍を救濟すると共に、一方積極果敢なる作戰によつて不逞の徒を殲滅する等時に應々犧牲を生じ乍らも前線將兵が、眞に支那民衆と一つ心になつて 聖業達成の爲邁進、一身を顧みざる共苦勤は、予の特に告げ度きところのものである。既に奥地に遁走した敵軍が恃むべからざるを恃んで如何に長期抗戰を唱ばうと、直接間接の外力が如何なる形、如何なる強さで現はれやうと、我正義の前には、何等介意を要せざること旭光に浴した薄氷と選ぶ所が無いであらう。

〇

出征以來異域に斃れ、又は身體の自由を失ひ、或は今尚ほ病床にある將兵に對しては、部下一同と共に哀悼措く能はず休まる時はないのであるが、予は其遺族同胞之等諸勇士の矜持と銃後の施設に絕對の信賴をおき、殘る將兵士と共に之に酬いずんば斷じて已まざる現地全軍將兵の心を心とし、今や新東亞を建設して道義を世界に布かんが爲其總力を發揮しつゝある我祖國の武力行使を擔當して、いやが上にも其の傳統的名譽を發揚し、以て再び用ひざる戈を振つて遺憾なからんことを期するものである。



長城より遙かに皇居遙拜

興亞の大業に外地側の貢獻

拓務大臣　八田嘉明

今や皇軍の武威によつて支那事變は長期建設の段階として局面は新に展開し、長期に亘る國家總動員の運動を敢行し以て今次聖戰終局の目的たる新東亞建設への步武を進むるに當つて茲に昭和十四年の新春を迎へ、聖戰の意義一段深きものあるを覺ゆるのであります。顧みて聖壽の無窮を壽ぎ奉り、國運の隆昌を祈ると共に、時局下に於ける外地統治の現状を省ひ海外拓殖進展の跡を通へ、併せて所懷の一端を述べて見たいと存じます。

朝鮮、台灣、樺太、南洋群島に於きましては事變に對處して官民奉公の至誠は遺憾なく發揮せられ、物心兩面に亘り內外地渾然一體となり、眞に國家總力戰の實を擧げ、外地統治の歷史に未だ曾て見ざる精彩を加へつゝありますことは、邦家の爲洵に慶賀に堪へぬ所であります。即ち國民精神の作興、銃後諸施設の強化、重要物資の增產及其の配給調整並に國際收支對策、戰時財政經濟に關する諸政策の實施に關し、內地と協力して些の遺憾なきに努めて居るのでありますが、就中朝鮮及台灣に於ては大陸に近接する特殊的地位に鑑み、或は時局に關する重要國策の確立遂行を期する爲官民協力の新體制を樹立し、或は人的及物的資源を動員し、以て日滿支の經濟的一環を形成しつゝあるのであります。又昨年朝鮮に志願兵制度の實施せられましたことは、外地統治に劃期的意義を加へたものと謂ふべきであつて、朝鮮同胞は申すに及ばず外地在住の我が同胞の等しく感激に堪へない所であります。

我が國民の海外發展は明治維新の御聖旨にある「万里ノ波濤ヲ拓開シ國威ヲ四方ニ宣布シ天下ヲ富岳ノ安キニ置カンコトヲ欲ス」と宣はせられたる如く實に我が國是であつて、國民本然の大使命を達成する所以であります。昭和七年より實施せられたる滿洲農業移民に就ては、日滿一體不可分の特殊關係を強化し、滿洲建國の大理想達成に貢獻する所以でもあり緊要なるが特に現下重要國策の一たる滿洲開拓に於ける諸情勢の推移に鑑み、日滿支を貫く大陸建設の樞軸として其使命の一層重大なるを痛感するのであります。昭和十三年度に於ては既に移民六千戶の送出を行ひ其の送出を以て目下着々實施中でありますが、大量移民事業の進捗に伴ひ內地各地に分村計畫の樹立を見、移民の郷土建設乃至國策的な大陸開拓に參加せられつゝあることは誠に欣快に堪へない所であります。尚昭和十三年度より青少年移民の送出に伴ひ滿蒙開拓青少年義勇軍の送出を開始することとなり、初年度既に三萬人中既に其の半數以上の優良青年が勇躍渡滿の壯途に上り、滿洲開拓の理想實現に新銳の氣魄を加へつゝあることは如何にも心強く感ずる所であつて、今後一層官民協力、此の重大使命遂行に万全を期したいと希望する次第であります。

南洋及南米方面に於ける移植民及邦人の進展に就ては、其古き歷史と同胞の不撓不屈の開拓精神とに依り、各種の產業に亘つて當該國の產業開發に貢獻せるのみでなく、彼我の通商貿易にも偉大なる貢獻を爲して居るのでありますが現下內外諸情勢の推移に伴ひ皇國南方に對する共存共榮的提携を基調とする我が經濟發展は更に重要なる地步を占むるに至つたのであつて、今後に於ては之が助長發展に一段の努力を傾注し、相互の福祉を確保せんとするものであります。茲に內外地並に海外同胞の多幸と共に力強き發展とを祈ると共に、國運の伸張を祝福して以て新春の賀詞とする次第であります。

南支の優越性は輕視できない

南支派遣軍最高指揮官　安藤利吉

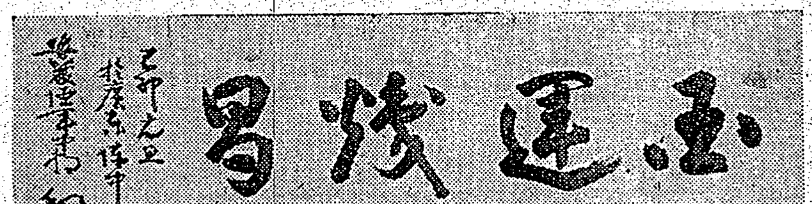
威武宣揚、國運隆昌、東洋平和、長期建設の第二新年を迎へたことは、洵に慶祝に堪へない。是れ實に御稜威の賜ものであり、忠勇なる將兵並に國民の加護の結果であり、又銃後國民一致の熱烈なる後援の賜物である。年頭に方り特に先づ是等諸感激に對し景慕と感謝の至情を捧ぐ

×

廣東の治安は確立し市民は漸々歸還し復興の氣運は濃厚となりつゝあるが、南支戰局は僅に一部の打倒にすぎないから、先づ第一に此の打倒に主力を傾注すべきことは新年も昨年同樣である。此の威力の擴大の下に國家的提携、國民的協力相俟ち、遂次成果を擧げて意外に早く吾等の發展する新情勢が展開されるのではないかとも感ぜられるが省みて吾等は決して功を焦つてはならぬ、將來新たなる事態に處する事變に陷らぬと言ふ決心を益々堅確にし、相共に皷舞激勵して聖戰の使命達成に邁進すべきである。南支の民衆は、最も現實に見て比較的教育程度の高い思想の進んだ方面であるから、華僑の後援と相俟つて矢張り支那の大衆を指導する運命に置かれる樣に思ふ。北から新緒の後押しがあるにしても、是れを思想的に正しく批判し得るのも南方人であらう從つて此の性情は指導宜しきを得れば、時局に際し認識を改めることも比較的早いものと觀察される、又南支は東亞民族發展の地理的優越性以外に、我市場として頗る有望である。協同國防に必要な軍需資源にも富んでゐる、故に帝國の對支施策の重點が何處に指向されるにしても斷じて輕視さるべきではない。

×

顧ふに南支方面の建設を先決要件とし、其の思想經濟力並に第三國關係を調整善用して支那大衆永遠の理解を促進させる著意が緊要である。東洋は戰禍に鎖されて環境の慘禍を免れなかつたが、西南の夕陽は元旦の好晴を約束し、平和の初日の出は東より輝き初めてその黎明を大陸に告ぐる曉鐘は竊かに吾等の心臟に響くのである。東洋平和を永遠に照すべき陽光を樂む爲め、吾等は更に幾新年を重ぬるにしても、希望の曙光は既に認められるから、飽迄今日の緊張味を持續し、擧國一致して妖雲を拂はねばならぬと信ずる。



（書は安藤中將の揮毫）

四百餘州に吾威武の宣揚

支那方面艦隊司令長官　及川古志郎

皇紀二千五百九十九年の新春を陣中に迎へ、黄浦江上遙に東天を拜し、恭しく 聖壽の無窮を壽祝し奉る。

顧みれば正義の師を大陸に進められて新春を迎ふること茲に二回今や四百餘州の要衝悉く我軍の手に歸し、皇軍の威武愈よ宣揚せられ、中國民衆漸く皇恩に浴しつゝあるは、誠に感激に堪へぬ次第である。

今日此の赫々たる戰果を收め得たる所以のものは、固より大元帥陛下の御稜威に依るところなるも、亦皇軍將兵の勇猛果敢なる奮戰と銃後國民の熱誠なる後援との賜である。

然し乍ら聖戰最終の目的を達成せんには、前途尚遼遠にして軍民一致更に一層の努力を重ねなければならぬ。

昭和十四年の年頭に當り更に心を新にし、倍々粉骨碎身、吾人の本務に邁進し以て皇恩の万一に酬い奉らんことを期する次第である。

外壓を排除する戰力が必要だ

馬公要港部司令官　海軍中將　原　五郎

茲に皇紀二千五百九十九年の新春を迎ふるに當りまして謹みて我が万邦無比の光輝ある皇室の彌榮を壽ぎ奉り、皇國の愈よ御隆昌ならむことを祈願しますと共に、前古未曾有の非常時局に對し、擧國一致、今次聖戰の目的達成に邁進し以て皇猷を扶翼し奉らんことを期する次第であります

顧みるに、支那事變勃發以來既に一年有半、畏くも大元帥陛下の御稜威の下に、忠勇なる海陸軍の奮鬪善戰と、熱誠なる銃後國民の協力援護に因りまして連戰連勝、全支那の要域を殆ど我が掌中に收め、頑迷なる蔣政權をして事實上全く一地方政權に墮落せしめ得たるは、洵に御同慶に堪へざるところであります、然し乍ら今次聖戰の目的は、東亞永遠の安全を確保するに在りまして、今後作戰と並行し新しき支那の建設に努めなければなりませんが、之には幾多の困難なる問題が横たはり加ふるに時局を繞る國際情勢は必ずしも我に有利ならず、日獨伊の防共關係は愈よ深きを加へてゐますが一方之が爲世界は集團的に相對峙するの情勢を釀出するに至り、且つ相續く國際的紛糾と相俟つて、各國は其軍備擴張に狂奔してゐる狀況であります。惟ふに今回の聖戰は我帝國の精神に淵源し、且つ我國生存上已むを得ざるに因るものでありますにも拘らず、列國は未だに我が眞意を諒解せず、利己的立場より今後更に深刻なる國際的壓迫を我に加へんとするが如き傾向を看取し得るのであります。此險惡なる情勢に處し、曠古の大業を達成しますには固より國家總力の擴充發揮に俟つは勿論でありますが、就中外壓を斷乎排除するに足る戰力の保持こそ、絕對に必要でありまして眞に帝國國民が其の總力を發揮し、我國軍が其の實力の充實を期するにありと確信するものであります、而して馬公要港は皇國南門の要衝であり南方發展に關する凡ゆる部門の出發點として重要なるは今次事變の經過に鑑みても、國民諸君の夙に熟知せらるる所でありまして、將來事變の推移と共に愈よ其の重要性を加へることは自明のことであります、職を要港に奉ずる吾々一同が此の際一層要港の價値を自覺し大いに內容の充實に努め、以て皇國南進の強力なる前衛として遺憾なき準備を整へ將來益々雄飛活躍せんことを祈つて已まない次第であります。

勅題十詠

赤石定藏

□ゆほひやかに豐さか昇る朝日子はせまし照らす蓬萊の島

□朝つく日いま昇るらし島山の祠の上をまつにほはせて

□砂白く松みどりなる島やまにひとさはしるき朝日子のかけ

□朝日かけ匂ひにけりな常世異にさやけく見ゆる沖つ島山

□うるはしの島はいよいよ麗しものほる朝日のかけをむかへて

□眉の如見ゆる沖への島やまはさやかにはれて朝日かかやく

□西さし匂ふ朝日のかけしるく一つ一つに見ゆる八十しま

□あさ日かけかかやく島ゆ舟出していくさ立ちする益良雄も見ゆ

□新高の山の白ゆきいやしろし蓬萊か島にあさ日いてりて

□島山にのほる朝日のかけうけて舟出をいそく海士の一むら

警民一如たれ

警務局長　二見直三

[illegible]茲に聊か所懷の一端を述べて年頭の辭と致します

乾坤一轉、曙光の旭光先づ神州に輝り、南瀛の高砂亦之に映ふを見、遙に東方九重の宮門を拜し聖壽の万歲、竹の園生の彌榮を唱へ奉る。顧みれば、征戰茲に一年有半、顧へつて本島の情勢を一瞥するに、事變以來、五百万島民を擧げて克く皇道精神を體し、又國策に順應し、或は獻金、或は金の資納、或は軍人遺家族の救護慰藉、或は國語の普及、或は勤勞奉仕、或は又重要產業の振興促進、資源の開發確保、物資の節約利用等々總ゆる方面に於て異常の好成績を收め、一方治安は終始完全に維持され、各種の犯罪其の他警察事故の如きは事變前に比較して其の發生も低減の傾向を示し、斯くて緊張の中にも何等の不安恐怖なく皷腹擊壤の日常生活を營みつつあることは、之を彼岸に喘ぐ支那民衆の悲慘極まる境遇に比較する時、實に天地霄壤の感を禁じ得ないのである。本島住民たるもの、よろしく之を膽に銘じて一視同仁の御仁政及び國恩に感謝し奉ると共に今後益々愛國努力、帝國臣民として報國奉公の誠を致すべきであると思ふ

[illegible]ることは、火を睹るより明かである。然も、複雜怪奇なる國際關係は何時如何なる情勢の變轉を見せるやも計られない、又日、滿、支の動きなき綜合文化ブロックを結成せんが爲には、非常時も戰時もまだ〳〵これからだと堅忍持久以て今後の時局、難關に對処すべき決意を新たにしなければならぬ。苟くも國內現下の平穩に惑はされて精神の弛緩を來たし又其の繁榮に驕りて驕慢に陷るが如きことは斷じて許されざるところである。ましてや、南方の海上遠く本土より殆ど孤立せる吾が臺灣は、今や作戰上並に戰後經濟上の重要地區となれる南支と、更に其の背後に在る列強の植民地並に軍事據點と近接し、正に帝國の軍事上、經濟上の生命線なりと言ふべく、傍ら本島特殊の事情も少からず、之が統治の意義、從つて警察行政の重要性は著しく重加されてゐる事實を明確に認識し、幸に事變以來、未だ嘗て見ざる程警民一如の實を擧げつゝある好個の機會を逸することなく、社會民衆は彌々益々警察に對し協力援助をも惜まれざらんことを切望するものであるが、元より當局に於ても、此の上とも警察力の擴大強化及び之が機能の發揮を圖ると共に、紀律の振張を期し、軍部及び行政各部門との緊密なる連絡提携の下に或は諸般の警備警戒に、或は觀察取締に懸命の活動を續け強く正しく且つ明朗なる警察の確立に邁進したいと考へる次第である

三つの誓ひ

—年頭に際して—

臺北州知事　藤田倶治郎

聖戰茲に改まり未曾有の大事變も第三年を迎ふることとなつた。長期建設の初頭に方つて、國民すべてが十分に決心しなければならぬ重要なる點は何であらうか。第一は協力一致である。勝手的氣分を排し互ひに理解し合ひ同情し合ひ一人の相爭ふ者があつてはならぬ。第二は相助の精神である。誤つた個人主義自由主義を捨てて何處までも共存主義共榮主義で進まなければならぬ。他人の迷惑を顧みず傍若無人の振舞をする者は一人も有つてはならぬ。一人の不平を唱ふる者一人の悲しむ者があつてもならぬ。互ひに相助けて共に喜び共に悲しむの決心を要する。第三は改善の精神である。今は全國民反省の時である。復古的精神旺盛の時である。然しながら物古きが故に貴きにあらず正しきが故に貴いのであると考へたい。故に苟くも文明の逆轉を考へてはならぬ。天地の公道に依ることを忘れてはならぬ。日本が今日迄に成人したのは改善の精神が強烈であつたからではないか。過去に於て正しかつたら將來に於ても正しい筈である。吾々の生活に於て改善の餘地はないか。社會生活に於て改むべき點はないか。吾々の仕事に於て再檢討を要する點はないかと熱心に考へ而して實行しなければならぬ。

勝手的氣分と自分勝手の個人主義と正しと知つて善に移らざる因循姑息とは我大家族主義の眞の姿ではない筈である。大日本帝國の眞の姿の裡には互ひの研究心は強いが他を陷れんとする樣な勝手的氣分はない筈である。他人の迷惑を顧みざる樣な自分勝手の振舞は見出されない筈である。物事を改善するの熱意なく世界の進運に後れる樣な態度はない筈である。新東亞の建設は大家族主義の徹底であらねばならぬ。大家族主義の徹底こそ 大御心に副ひ奉る所以ではあるまいか。

首都としての高き衿持へ

臺北市尹　石井龍猪

乾坤一轉して、万象新に、茲に戰捷の榮光に輝く昭和十四年の新正を迎ふるに當り、謹みて 聖壽の万歲と皇室の御繁榮を壽ぎ奉ると共に、國運愈よ固く國運益々隆昌に赴きつゝあるは、吾々國民として洵に慶賀に堪へざる所であります。我が台北市も市制施行以來、既に十有九年を閲し、市勢の發展文化の向上は極めて顯著なるものあり、昨年近郊松山庄を併合し大台北市の面目漸次備はりつゝあるのとき、更に本島の首都として教育、產業、衛生、土木を初め其の他万般の社會的施設に對し、今後大に整備を要すべきものあり、此際市民は島都大台北市の市民たるの高き衿持と、深き自覺の下に自治共同の大精神を發揮し、協心戮力、是等諸問題、諸事業の解決に努め、市勢の發展を圖るべきであると確信致します。殊に現下の非常時局に對処しては、自肅自戒、益々國民精神の作興、國防の強化、資源の愛護、消費節約等所謂銃後の護りを固め、國策の遂行に全力を盡し、堅忍持久聖戰の目的を達成して有終の美を濟すは吾等の重大使命であります。茲に聖戰第二周年の新春を迎ふるに當り、重ねて 聖壽無疆を祝福し奉り、溌剌たる意氣を以て皇家の興隆に寄與せんことを誓ひ、又酸寒の候異域に在りて皇國の爲に盡されつつある皇軍將士の武運長久を祈つて止まざる次第であります

謹賀戰捷新春　皇紀二五九九年

彰化市尹　安詮院貞熊

彰化市助役　井原敏之

彰化郡守　島澤治郎

彰化市役所
庶務課長　岩永文藏
教育課長　堀田銀松
勸業課長　乾成夫
土木課長　藏滿盛秀
衛生課長　黑岩正己
税務課長　大石憲一
會計課長　川谷久雄

彰化市會議員
山口德治　林有信　巫金山　近藤進之助　張日昌　黃銀漢　林文章　松崎嘉市　李慶　吳中秋　吳蘅恭　門馬勇　陳柏舟　鳥井勝治　馬島律司　井上龜三　古川辰雄　内野幸太　林黎

彰化郡庶務課長　鳥羽象三
同　警察課長　桑原義夫

彰化市校長
商郡　坂本嘉章
小學　加田仙太
一公　中袴田熊吉
女公　菊川孝行
大竹　松村逸雄
彰北　大坪弘文

彰化郡和美庄長　小川繁治

彰化郵便局長　杉野嘉一

彰化高女校長　隈部至德

彰化商工會議所議員
佐藤房吉　近藤進之助　呂世明　塚本初次郎　井上熊太郎　石川龜三　高橋泰之助　柴田庄吉　賴逸雄　陳臭浦　蕭賭傳　吳鎮烈　陳煥崑　林金章　盧金泉　潘錦生

彰化市　李崇禮

彰化市彰化字北門外三一番地　綿豐洋行

彰化水利組合

彰化消防組

彰化市　陳反　朝日商行

彰化市醫師會

彰化市南郭四一四　電話二四七番　金一製罐工場

彰化市　郭廷芳　喪中缺禮

彰化市南郭字南郭二〇〇ノ一　臺灣鑛泉株式會社　電話四九

彰化市三角公園前通り　三光堂藥房　電話二四六

彰化市家畜仲買人組合

彰化市米穀統制組合

彰化市青物仲買人組合

彰化商工會議所

彰化市理髮營業組合

彰化市代書人組合

彰化市彰化字北門一九番地　電話四四七番　昭和信託株式會社

彰化專賣品小賣人組合

保證責任　福興信用購買販賣利用組合　組合長　潘邦治

保證責任　芬園信用購買販賣利用組合

保證責任　花壇信用購買販賣利用組合

保證責任　和美恒生信用販賣購買利用組合

保證責任　彰化建築信用購買利用組合

保證責任　彰化信用利用組合

保證責任　彰化同志信用利用組合

保證責任　彰化振業信用購買販賣利用組合

彰化市南郭四一二番地　電話四五九番　正記履物製造株式會社

彰化飲料食店理屋組合員一同

彰化郡農業組合聯合會

彰化郡米穀統制組合

彰化市農業組合

二水信用購買利用組合

二水　宏和醫院　陳如

公學校長　織田得三

小學校長　野村藤作

中央ホテル　豐川喜四郎

元組　二水名產　螺溪石硯　臺灣日日新報取次所

謹祝長期建設新春

赤堀鐵吉

新竹市尹 吉田駿馬

新竹商工會議所 會頭 青木健一 外議員一同

新竹郡守 塚本一郎

新竹市 坂村廣

新竹市 鄭鴻源

大成炭鑛 羅阿梅

新竹市 中村邦次郎

竹南 天岩旭

新竹州會議員（順序不同）

清水源次郎 桑原佐一郎 澤田佐吉郎 陳羨梅 永石安三郎 太田重助 許延壽 朱盛洪 張式穀 本山直枝 鍾番 岡本賢一 吳鴻森 渡邊與一 范姜萍

新竹市々會議員

村上正陽 陳添登 山下靜一 松尾貞壽 連煥明 黃運金 服部佐吉 林鑑 菅野秀雄 古雲梯 大塚源八 石井員夫 黃旺成 橋本秀太 輪湖清美 陳其祥 邱居財 鄭大明 新原謙相 藤原彌藏 何乾欽 胡春灶 中內猷治 乾義一

新竹市埔項保甲聯合會長 陳輝地

新竹市東門町 醫學士 吳遠裕 吳醫院 電話一九番

新竹驛 日東商船組支店 大同運輸合資會社 日本通運支店 泰益運輸部 聯結運輸組

新竹市西門町二ノ二三九 電話五二四番 新竹新興株式會社 新世界館

新竹市南門町 新竹華僑新民公會 會長 林怡雪

新竹州帽子株式會社 社長 陳啓明 電話三二七番

鐵道御用達 三好野旅館 電話四五二番

新竹名産ポンカン商 戶波商店 新竹驛前通 電話九〇九番

新竹州新竹市表町二丁目四番地 有限責任新竹信用組合

新竹郵便局職員一同

新竹消防組 組長 山本德成

新竹市表町二丁目一番地 新竹土木建築請負組合 電話四二八番

保證責任香山信用購買販賣利用組合

新竹土木建築協會 電話六三番

新竹市表町三丁目一九四番地 有限責任新竹共榮信用組合 電話一二二番

新竹市榮町三ノ一（產業會館內） 新竹州米穀商同業組合 電話四一三番

新竹市榮町三ノ一（產業會館內） 保證責任新竹州米庫信用購買販賣組合 電話四二三番

劇場 新竹劇場株式會社 電話新竹五五番 市南門町一

新竹州柑橘同業組合 電話六四番

保證責任新竹州物産販賣購買利用組合 電話五五六番

新竹蓪草購買販賣組合 專務理事 陳其祥 常務理事 陳添登

臺灣新竹市南門町三丁目一二三番地 臺灣蓪草拓殖株式會社 取締役社長 鄭鴻源

新竹市南門町二ノ一九三番地 臺灣金泉發蓪草株式會社 電話一二七番

新竹市榮町二ノ二三番地 新竹米穀改善協會 電話七三九番・二六六番

新竹市本島人飲食店營業組合

保證責任新竹倉庫信用利用組合

臺灣酒類賣捌人組合新竹支部

臺灣煙草賣捌人組合新竹支部

臺灣食鹽賣捌人組合新竹支部

新竹食鹽煙草酒類小賣人組合聯合會

中壢街役場 街長 三上敬太郎 助役 劉興榜 會計役 傅煥生

楊梅庄役場 庄長 吉田次郎 助役 廖建華 會計役 黃阿榜

觀音庄役場 庄長 宇都宮萬次郎 助役 周鏡鏞 會計役 張和義

平鎮庄役場 庄長 時任藤二 助役兼會計役 黃阿何

新屋庄役場 庄長 江頭源次郎 助役 謝枝 會計役 徐金玉

龍潭庄役場 庄長 鄭昌英 助役 原田益次郎 會計役 黃道中

中壢醫院 內科小兒科眼科外科 專門 吳鴻森 專門 吳鴻麟 電話五六番 X光線科新設

甘泉株式會社 社長 吳鴻森 支配人 吳阿全 電話一三一番

中壢軌道株式會社 電話三九番

東洋醫院 中壢街（電話一四三番） 內科小兒科花柳科專門 院長 戴雲登

胡醫院 中壢驛前 內科小兒科 院長 胡

興橋醫院 中壢街 內科小兒科產婦人科 院長 劉興橋

煥生醫院 中壢街 小兒科花柳科 院長 傅煥生

中壢酒類賣捌人 村上昌敬 電話五四番

保安醫院 中壢街 內科外科

平鎮米穀商協會 會長 黃欽漳

楊梅米穀商協會 會長 劉阿圳

カフェー共樂 中壢驛通り

永樂樓 中壢街新公園邊 高等御料理 電話三〇九番

關西炭鑛 事務所 新竹郡關西庄 主任 董萬力

株式會社 新益發商行 新竹郡關西 電話五五六番

新竹市東門町 大和屋洋品店

新竹市南門町 材木商 製材業 合發材木商行

新竹市南門町 洋品雜貨 新京屋洋品店

新竹市西門町 苧麻綿布卸商 怡和商行 電話六五番

新竹市西門町 協和材木商行

新竹市西門町 新香珍製菓商會

新竹驛前 會席・御料理 仙樂樓

新竹市東門町 吳合益仲記商行

新竹驛前 丸福食堂

新竹驛前 新福食堂

新竹市榮町 小田醫院 電話六〇九番

關西庄協議會員 陳登彬 羅享錦 羅享彩 羅慶煥 鄭昌華 羅阿麟 陳雲芳 郭澄海 鄭楊萍

杉本金太郎（竹東）

新竹吳服小賣商組合

新竹郡竹北驛前 東成炭鑛公司

竹南郡頭分庄 展南拓殖株式會社 取締役社長 黃維生 常務取締役 黃文發

新竹カフェー組合

新竹文具商組合

新竹菓子商組合 組合員一同

新竹製茶同業組合

保證責任中港信用購買販賣利用組合 電話六番

保證責任頭分信用購買販賣利用組合 電話頭分六番・七番

紅茶製造 關西興業株式會社 代表者 陳俊宏

新竹市獸肉營業組合

新竹郡 湖口信用購買販賣利用組合 關西信用購買販賣利用組合 新埔信用購買販賣利用組合 香山信用購買販賣利用組合 石光信用購買販賣利用組合

新竹州食堂團員一同

新竹州自動車運輸株式會社 營業所 新竹州各要地

中壢郡守 宮崎直勝

商工銀行中壢支店長 峯巖

新竹州中壢街 日本拓殖株式會社 電話二番

國際電氣通信株式會社 臺北出張所 中壢出張所 觀音出張所

中壢郡產米改善協會

中壢郡米穀統制組合

中壢信用購買販賣利用組合 組合長 陳學清

宋屋信用購買販賣利用組合 組合長 梁廷幹

平鎮信用購買販賣利用組合 組合長 鄧盛求

楊梅信用購買販賣利用組合 組合長 范姜萍

大坡信用購買販賣利用組合 組合長 歐清溪

中壢郡中壢街中壢埔頂 蓬萊紙業株式會社 取締役社長 加藤重照 電話長一二三番

株式會社 勝利商行 電話一三番

中壢街協議會員

猪呂陳劉劉李林河佐中鍾
股新學貴廷清媽添合々野
鷹洋木健新
治傳清邦興雲進貴佳諦夫桂

新竹市榮町貳丁目四番地 新竹拓殖軌道株式會社 電話新竹五八番・竹東八番

新竹市驛前 合資會社 新竹自動車商會 電話二四五番

新竹市西門町 御旅館 白水館 電話一一五番

新竹市西門町二ノ一〇二 材木商 彭順發 行主 彭金塗 電話三六五番

新竹市西門町 新竹印刷文具商會 電話一五六番

洋品百貨 新州屋 新竹市北門町 電話四八三番

新竹市 衛藤壽吉

新竹州新竹街北門前 合名會社 振泰商行

新竹郡庄役場 舊港庄役場 紅毛庄役場 湖口庄役場 新埔庄役場 關西庄役場 六家庄役場 香山庄役場

竹南郡庄役場 竹南庄役場 頭分庄役場 三灣庄役場 南庄役場 造橋庄役場 後龍庄役場

新竹市 丸竹白粉

新竹市 玉川寫眞館 電話二五七番

新竹市東門町 華泰商行 李玉書 電話四五〇・八九番

保證責任苑裡信用購買販賣利用組合

基隆商工會議所議員（イロハ順）

井外張劉近沖刈河顏顏吉楊田竹工黑黑郭郭前松黃衛葉佐蔡許三廣關
本山福添時江亮谷合莊窓世欽多太原尻田藤木澤華瑞根本樹藤松治金金菊毛田本
定五秀太三信義耕長權壽晃久太次幸一諄
祐茂進順郎吉雄郎吟昌賢郎山次治一助藏洲麟一吉水市濤郎池春郎平郎

基隆炭礦株式會社 臺灣倉庫株式會社 金捷成商店 來益商行 近江產業合資會社 瑞芳鑛業合資會社 臺灣船渠株式會社 基隆鐵工株式會社 和隆木材株式會社 臺陽鑛業株式會社 基隆中央市場株式會社 臺灣肥料株式會社 株式會社 株式會社京利商行 瑞泰商行 日本水產株式會社 江港部船株式會社 丸越 臺灣冷化株式會社 東興商會 利記公司 合名會社 日本鑛業株式會社 臺灣水產販賣株式會社 臺灣海運合名會社

有志一同

東成公司 新竹郡關西庄

明金炭礦 萬金興

臺灣紅茶株式會社 新竹州關西 取締役社長 羅慶增

製茶工場 關西 赤柯山 馬武督 新高 苧子園 三屯 日光 復興

關西藥房

錦成自轉車店 黃水昌

百福堂鐵工場 許雍熙

臺灣共榮會社

苗栗食鹽元賣捌人 臺灣殖產株式會社 代表取締役 鍾建英

許金財 瑞芳九份

基隆總商會

魚行炭礦 石炭採掘販賣 コークス製造販賣 代表者 川口乙助 頂雙溪驛前 電話十二番

周坦源

七堵庄 堵南炭礦 川口乙助

暖暖茶業組合 組合長 林年壽

文山郡藥業組合 代表者 組合長 王火

文山郡獸肉營業組合 代表者 組合長 林金柱

新店信用購買利用組合 代表者 組合長 劉宗開

三星庄役場 庄長 吉田彥三郎 助役 鄭泰西 外職員一同

保證責任三星信用販賣購買利用組合 役職員一同

土城庄役場 庄長 簡地清 助役 李峻川 外職員一同

保證責任土城信用購買販賣利用組合 組合員一同

三峽庄長 小林勘藏 外職員一同

三峽 吉良一義

三峽庄協議會員 三峽酒類賣捌人 石垣用知

庄協議會員 海山郡醫師會會長 劉鉅象 三峽庄 保安醫院

三峽庄協議會員 鄭金塗

三峽庄協議會員 李陳淡

三峽興殖公司

石炭販賣 コークス 三峽炭礦

鶯歌炭業會

海山輕鐵株式會社

海山拓殖製茶公司

三峽酒煙草食鹽小賣人組合

臺灣名產 三峽米粉 製造元 長美商店

保證責任三峽信用利用購買販賣組合

保證責任鶯歌信用購買販賣利用組合

保證責任樹林信用利用購買販賣組合

保證責任永靖信用購買販賣利用組合 組合長 理事 邱

員林郡守 大關善雄 庶務課長 名本末松 警察課長 武山寧法 員林街長 吉滿敬勝 溪湖街長 岡田治之助 大村庄長 服部末雄

皇紀二五九九年

竹の園生の御榮え 東宮様御七歳の新春

白衣の勇士もお正月準備

臺北の初荷

謹賀戰捷新春 皇紀二五九九年

逢阪亭

潮州郡萬巒庄 潘寬忠 王清連

竹の園生の御榮え

東宮樣御七歲の新春

天皇の御ひらめき聖御健やかしく渉らせ給ふ皇太子繼宮明仁親王殿下には赤坂東宮假御所においてめでたく御七歲の新春を迎へさせられた、御成長な御日常の裡に日毎の皇子としての御心身を御鍛錬遊ばされると承はるが、御身體御智能共に御發育殊に御麗はしく渉らせられる、義宮樣には御五歲を迎へさせられていよいよお元氣にわたらせられ、女子學習院中期三年御在學の照宮樣には、御十五歲、同前期二年御在學の孝宮樣には御十一歲、同一年御在學の順宮樣は御九歲の春を穆風和やかな葉山御用邸に迎へさせられ御睦ましく、お正月を御祝ひ遊ばされた

敵陣をにらみつ、陣中で迎春準備

南支派遣部隊の將兵

【〇〇にて濱中本社特派員】郷土の皆樣に〇〇部隊勇士に代り前線の模樣を御知らせします、慌しく年の瀬も迫りました、歲暮の大賣り出し等で賑つてゐる事でせう、當地の氣溫の急激な變化には全く面喰ひました、然しこの寒さで師走らしい感じはします、一時冬服から夏服に代へたのでとても骨身にこたへる寒さです、未だ毛布の配給されないところもある樣にききましたが毛布なしでは眠られたものではありません〇〇を中心とした皇軍占領地域は日を絶る毎に復歸する士民も增えて平和になつて行きます、何を買ふにも金を拂ふので日本軍は夜に物固い兵隊さんだと有難がる反面、恩になれて兵隊と見れば殊更高い値を吹つかける全くの支那根性まる出しの連中も出て來るのでこれには腹が立ちます何しろこちらは支那人の毎風がまるで違ふのに驚きます、うんと教育しなほす必要があるとも考へられます、うまいものは勿論ありませんが食料の点は十分なので何かと慾が出來て來ます、慰問品も頂きましたが吾々には矢張り手紙が何よりです、女々しい感じではありませんが故郷の事をなつかしませるのです、銃後の熱誠には感謝します、ざう云へば今度も餅を送つて頂いて各部隊とも多忙な陣中の寸暇を利用して杵をつくるやら臼をこしらへるやらまたは藁繩をでつちあげるやら、とにかくお正月準備をしてゐます

餅と一緒に酒も配給されるからです、お正月はほんの少しばかりですが陣中料理の御馳走が出ます、冷凍魚が廣東に來るさうですから小さくとも御頭付きが喰べられるだらうと樂みにしてゐます、吾々は日夜嚴重な配備についてゐます未だ〳〵敗殘兵はゐますし「日本兵、正月酒のむ、ワタシ攻撃する」なんて世迷ひ言を云つてゐるらしいですが吾々は鬪程にも考へてゐません

〇〇方面では敵陣と直接相對してゐて間斷なく敵兵の姿を見ます、遊擊隊なんてのが出て良民脅迫拉致する事もあり、便衣隊となつて小賢しくも我が方にノコ〳〵やつて來る事もあります、それよりも五月蠅い奴は匪賊で支那兵の顚落した奴も勿論ありませうが、武器を有し却々優勢なのもあるとか、〇〇北方の山には二千程の匪徒が巣喰つてゐるさうです、いや支那では敗殘兵か匪賊か區別がむつかしいのだから面白いですね、こんな連中が時折りやつて來ては掠奪暴行を働きアハよくば我が占領地域をねらつてゐるのですが、どつこいさうは問屋が卸しません、各部隊とも徹底的な掃蕩行軍をやつてゐます、掃蕩行軍終つても各部隊では治にゐて亂を忘れざる猛訓練が行はれ、又通常通りの學科もあります、話は違ひますが、〇〇部隊長は武人は身だしなみを大切にとの言葉で兵は鬚を剃る事、下士官は鼻下だけ、將校は全部殘してよい、但し綺麗に手入れする事と云ふ風にやつてゐますいやあみんな元氣です、張りきつてゐます、その点だけはどうか御安心下さい、この辺は無闇に池が多くそれに大きな草魚がゐるので暇のある時は魚釣でもやつてみようかと思つてゐます、では銃後の皆樣がよい正月を迎へられる樣に祈ります

硝煙下で名句を作る

床かしい宗匠部隊の勇士

【〇〇にて濱中本社特派員】劍執る手にペン執りてゆかしき武人の名を止めんと十七文字に感慨をやる宗匠部隊、記者は無理にと乞うて〇〇部隊勇士のノートから數句を失敬したが、同隊はまたの名を快速部隊として知られ激しい戰鬪のあとでは一同相集うて運座等催し心を鎮めてまた明日の戰ひに備へたのである、石川正夫中尉は「ホトトギス」派の流れを汲んで文學の才にもたけ部下勇士にゆかしきたしなみを持つ人が多い、以下は同隊勇士のノートから

△石川不春（正夫中尉）
〇〇陷つと聞して
菊の主いづこに在りや〇〇陷つ
雉子啼いて行人もなき〇〇哉
〇〇陷ち曉かほる菊に立つ
完けき芭蕉のありて〇〇陷つ
光りみる機雷の角や冬の江
陣中年ゆき年明くる
いとふりし戎衣のまゝや年の行く
年はゆく武勳の跡のそられつつ
初明り鋭く起床ラッパ哉
我が隊の初荷や嬉し慰問品
嫁が君、日本の餅の味いかに
通ひ路は砲架の銃や嫁が君
お降りの武勳の貨車を清めつつ

△北村一美（伊一中尉）
今一枝戰友の墓にと山櫻
木蓮の白きをかげし水澄めり
睡蓮をゆり動かして鯉鮒あり
夏の汗雨りを染めて城おちぬ
更けたれどいねるに惜しき月の色
幕舍みな鎮まりて月高き哉
秋草をしとねに今日も露營かな
ぬかるみに輌車動かず秋なかば
愛し兒にあうて月見む今雁の聲
萬歲に〇〇は揺れて菊かほる

△大内一山（三中尉）
椰林も彈丸も秋みたり霧の聲
霧の音のハタとやみける誰何哉
砲聲に秋草さつと靡きけり
斥候は拂ひ落せりやぶじらみ
戰捷段ける一ツ木〔illegible〕の後
砲聲も吹き千切らるゝ野分かな
愛馬碑はこんもり高し曼珠沙華
たまり水水底みえてうそ寒し
秋晴れや戰場〔illegible〕
行手には〇〇塔や秋の雲
蘆原を往きてこしりのしめりか
秋雲の動くも見えて沼の色

岡本部隊の一勇士が聲で樂壇にデビュウ

北滿義人の甥御 村上良之君

【臺北電話】二年目の而も新春早々、南の港高雄市から一躍中央樂壇へジャムプする新人がある、話題の主は目下臺灣高雄港の高砂町の村上良之君で北滿の

義人 として有名な村上久米太郎さんの甥御さん、天性の美聲家で、唄ふことは小さい時から好きだつたさうであるが、美聲家の本領發揮の仲介をしたのが今度の支那事變で、臨ち出征の應召をする豫備軍人の一人として一昨年〇月名譽の召集となつた村上君が、岡本部隊に在る間、部隊隨一の美聲家「〇中隊の村上」として鳴らしたのがはじまり、兵隊さん同士の樂しい演藝には此の「〇中隊の村上」はなくてはならぬ人氣者となつた、更に同年十二月二十日宮古座で將士慰安演藝會があつた時當日のお客さんである

兵隊 さんの方からの飛入りを頼まれ、遂にはじめて十四年度日本樂壇のホープ村上君が大衆を前にデビュウした訳、もちろん軍服姿にくりくり坊主の村上君、これ程の美聲、これ程のテクニックを豫想しなかつた人々は惚れ惚れとウナされ方で、本ものの聲樂家を迎へた時以上の騒ぎとなり、これをきき傳へたらしいコロムビアレコード會社台湾支配人柏野氏から同君除隊の昨年二月過ぎから早速歌ひの交渉が開始され、四月テスト盤一枚をとつてみた結果は恐ろしく好成績、村上君も漸く聲樂家希望に乗り氣になつたのである、爾後本島

樂壇 の至寶高雄州視學官三浦武治氏夫人とみ子さんについてみつちり本格的精進をつづけ、今日に至つてゐるが、コロムビア入りに先ち一月五日夜九時四十分からJFAKを通じて唄ふ一段島民へ此の美聲の披露をする事となつた、披露用のものは、先づ「幸の中から」、「海でかした」など「事變」物から「上海だより」「燈臺守」「國士の純情」など何れも新作ものばかり、記者が堀江町の三浦夫人邸を訪問した二十九日夜は三浦夫人のピアノ伴奏で堅

練習 中であつたが、快く語る

上京がいつになるのかはつきりしなかつたのですが、臺北の柏野さんから勉強しろと言はれて、大いにハリ切つた譯です、コロムビア入りは叔父の久米太郎からで、よし、やれ！と言はれてはじめて決心しました、今度の放送の分は諸曲はすつかり覺え込みましたから目下細部について先生の指導を受けてる處です、先生の指導を受ける迄は唄ふのはむやみに好きで唄ひまくつてゐたのですが日によつて出來、不出來があり不安でしたが

最近 では此不安も一掃出來、とても唄ひよくなつて氣をよくしてゐます、唄ひ方に個性を生かして行かうと言ふのは私の主義ですから、之からの勉強には十分その點氣をつけ先人の模倣に終らぬやう努力します柏野さんにつけてもらつた名前が「南海濤」、何から何までわが愛する高雄市躍進のシムボルのつもりでそのつもりで頑張りますよ

唄ひ手となつた村上良之君

東海林太郎張りの美聲です

三浦夫人は語る

村上さんは大へん素質がありちよつと東海林太郎バリの美聲です、發聲法など殆んど指導の

餘地 がない位でつまり天性の聲樂家に出來てるのですね一體にレコード人には聲量の多い人が少いのですが、村上さんには此の缺點がないので安心してみます、聲量が強いのも長所でいろいろの意味で大成の資格十分です、私の門下から巣立つたのはこれで二人目、自分の事のやうに喜んでゐますもちろんお弟子と同じやうに張り切つて稽古のお手傳ひしてゐますよ、先に巣立つて行つたのは臺北一高女

時代 の教へ子藤原芳子、芳子ビクターから出て、以前の名前有原エリ子で吹込んだ「小さな喫茶店」などヒットしてゐますから皆さんも御存知でせう云々（寫眞は三浦夫人）

喜べ！お正月は誂へ向きの好天氣

二、三日朝夕は時雨模樣

輝やかしき昭和十四年の新春を直前に控へ島都台北市は三十日より晴れかかり三十一日の大晦日の如きは台北市は勿論の事全島的に好天氣を呈したが一月一日以後の天候も氣象台の發表によれば概して好天氣で朗かなお正月を迎へる事が出來る模樣である、即ち數日間臺灣に寒波と小雨を齎らした相當に優勢な高氣壓が全く南東に去つてしまひ目下蒙古方面に滯留中の七七二ミリの微弱な高氣壓が臺灣に迫つて來る迄には三、四日を要する見込みであるので氣壓配置に之以上の急變がない以上一月一日から三、四日迄は氣溫も上昇し好天氣を呈する事になる譯である、唯警戒を要するのは台灣北方近海に發生してゐる小低氣壓の事であるがこれが台灣に迫つてくれば二日、三日の朝夕北部、東部は時雨を催す模樣である

放送プロ變更

台北放送局の一日の放送番組中一次の通り變更された

△午前九時二十分（北支より）年頭の辭 北支方面軍最高指揮官杉山大將

△午前九時四十分（臺北）子供の時間 榮譽紙芝居初詣實況

正月魚は暴騰

旗魚も鯛も一齊に

【基隆電話】正月を書入れにして居た旗魚が本年はどうした事か割合に少く蘇澳方面で捕れたものはその殆ど內地へ持つて行かれるらしく共陸方面にはたまに一本か二本しか揚げられないので百匁四十錢位であつたものが八十錢にはね上り正月を控へて益々品薄しつゝある一方鯛岸の小鯛類も數日來の時化で出漁出來ず正月用の鯛も數日來の時化で出漁出來ず、三十日から天候回復したので一齊に漁場めがけて出動したから相當の獲物を持つて歸るだらう

森岡長官大和丸にて歸任

【神戸三十一日發本社支局特電】米年度豫算折衝のため東上中の森岡總務長官は一先づ歸任する事になり須田秘書官、三宅屬を随へ大和丸に乘船した、その他大晦日の〔illegible〕外に元官內次官關屋貞三郎氏、松方〔illegible〕長〔illegible〕乘船してゐる

白衣の勇士もお正月準備

興亞の聖戰に赫々の武勳を建て、名譽の戰傷を負つて內地に送還された白衣の勇士達が、病院の窓に輝しい戰捷の春を迎へるのももうす、で、東京臨時第一陸軍病院では朝から數人の先生を招いて、お正月用の生花をやつてゐる勇士もあり、松に千兩、葉ぼたんをあしらつた「古流」の生花は素人とは思へぬ程見事な出來榮えであつた

（寫眞は白衣に迎へるお正月）

臺北の初荷

本年は荷不足で尠い

昨年末に於ける島都台北の市況は事變下の事とて初め相當に警戒され內地からの仕入れは一般に手控へ勝ちであつたが米價の好調殊に丸島が異常な高値で賣れたことと金買上げの好影響を受け本島人側の懷ろ具合が好かつたのと時局の波に乘つて生れた新會社が多かつたことと、今一つは官廳を始め銀行會社のボーナスも例年に比し割合に好かつたので案ずるより生むが易く押詰ると共に活況を呈し商品の荷捌け順調となり仕入れを控へた商家では逸早く品切れを告げたところも多く、先づ以て好成績を收めて越年したのであるが、何分船腹不足の為め入荷は兎角遲れ勝ちにて貨車線の不円滑にも禍されて年末取引に間に合はなかつた部分も勘くなかつたやうである、斯樣な次第であるから新年の初荷も例年ほど盛んにやれぬ模樣で台商用運會社や森永製品販賣會社、一六軒、神木洋行等は品薄の為め初荷出しを中止することになつた

台北に於ける會社、商店の初荷豫定は次の通りである

▲南和商工株式會社 表町の同社（元大崎公司）例年通り花王石鹸、花王シャンプ、ペヂリン、丹頂チック、ポマード、伊豆椿油其他製品を四日午前九時より市內各取引店へ初荷として配給し午後より全島各取引店に發荷の豫定

▲本町盛進商行 同本店トラック十臺にアデカ石鹸、どりこの、ダイヤシトロン、角田方、ヒゲタ、ヤマサ醬油等を滿載し四日午前八時オートバイを先頭に樂隊附にて城內、萬華、大稻埕へ初荷として配達する

▲東光株式會社 荷車十數臺に東光石鹸、丁寧藥品、油類を滿載し四日午前九時同社出發市內各店へ配達する

▲本町十一屋化粧品店 では四日午前九時よりウテナ、マスター、アイデアル、カガシの各化粧品を初荷として繰出し全島各地へ配給

大阪商船出帆（臺灣）
◎基隆出帆（△印船客お斷り）
神戸門司行 高砂丸 蓬萊丸
廈門行 高千穗丸
上海行 長沙丸
鹿兒島、北鮮行 河南丸
沖繩行 湖南丸
蘇澳、花蓮港、臺東行 めなど丸 大球丸
比律賓行 がんぢす丸
西貢盤谷行 盤谷丸
◎高雄出帆
タワオ爪哇行 サマラン丸
馬公行 圓山丸 毎奇數日
香港行 廣東丸
東京直行 廣東丸
其他船與多數アリ臺北電話八五〇

近海郵船出帆（基隆）
門司神戸行 大和丸 一月六日
富士丸 一月十一日
香港、汕頭行 白山丸 一月十一日
上海內地行 福建丸 一月十日

辰馬汽船出帆
宮殿丸 一月二日

大連汽船出帆（基隆）
大連直行
山東丸 一月二日
山西丸 一月十七日

聖戰終局迄ノ期禁酒仕候也
臺北 五十嵐榮次郎
丸一組

服喪中ニ付年頭ノ御挨拶遠慮仕候
臺北 奥村文市

喪中ニ付年始の御挨拶御遠慮申上候
宮城春常

員
鄭新藤何胡中乾
原原 內
大乾春義
讓彌猷
明相藏欽灶治一

臺灣酒類賣捌人組合新竹支部
臺灣煙草賣捌人組合新竹支部
臺灣食鹽賣捌人新竹支部
新竹食鹽煙草酒類小賣人組合聯合會

新竹州食堂團員一同

材木商行 行主 彭金塗 電話三六五番
新竹市北門 新竹印刷商會 電話一三六番
新竹州新竹市北門 振泰商行
利記公司
佐藤治太郎 蔡金池 許金春 三毛菊次郎 廣田幸平 關本諄一郎
保證責任 三峽信用利用販賣購買組合
保證責任 鶯歌信用購買販賣利用組合
保證責任 樹林信用利用購買販賣組合

謹賀戰捷新春 皇紀二五九九年
彰化市西門 逢阪亭 井手ヨマ 電話參六
彰化市 鳴瀨早太
大南 彰化基督教醫院
大新商事株式會社
潮州郡萬巒庄 萬巒公學校職員一同 同 校兒童保護者會
潮州郡萬巒庄 五溝水公學校 職員一同
保證責任 大溪信用購買販賣利用組合
專賣局指定 大溪酒類賣捌人 中林二郎
大溪獸肉販賣營業組合
大溪街役場
潮州郡萬巒庄 赤山派出所 潘寬忠 王清連 鍾仁湘 劉展紅 林炳輝
潮州郡潮州街四林 購馬岱 陳正喜 陳心宰 陳李徐 陳來發
潮州郡內埔庄 新北勢公學校 職員一同
潮州郡萬巒庄 佳佐公學校 職員一同
潮州郡潮州街 四林公學校 職員一同

鹿港街 大和拓殖株式會社 取締役社長 辜偉甫
保證責任 鹿港信用販賣購買利用組合 組合長理事 許梅舫 役職員一同
鹿港製鹽株式會社
保證責任 鹿港庶民信用利用組合 役職員一同
保證責任 鹿港漁業協同組合 役職員一同
鹿港街 彰化郡藥種商組合 役職員一同
鹿港街 鹿港獸肉販賣營業者組合 役職員一同
鹿港街役場
鹿港街 林錫金
鹿港街 樂觀園 李恣支
鹿港街 謝慶
鹿港街 三曾野新太郎
鹿港街 渡利玄眞
鹿港街 鹿港米穀商協會

員林郡守 大關善雄
庶務課長 名本末松 警察課長 武山寧法 員林街長 吉滿敬勝 溪湖街長 岡田治之助 大村庄長 服部末雄 埔鹽庄長 康傳 坡心庄長 平賀哲三 永靖庄長 橫尾雄一 社頭庄長 原田源作 田中庄長 荒義助 二水庄長 照沼善三郎
員林郡員林街役場
員林郡溪湖街役場
員林郡大村庄役場
員林郡埔鹽庄役場
員林郡坡心庄役場
員林郡永靖庄役場
員林郡社頭庄役場
員林郡田中庄役場
員林郡二水庄役場
員林郡 員林消防組 田中消防組 溪湖消防組
臺灣員林街 臺中州柑橘同業組合
八堡圳水利組合 組合長 大塚久義
保證責任 員林郡 員林信用購買利用組合 組合員一同
保證責任 員林郡 員林建築信用購買組合
保證責任 溪湖信用販賣購買利用組合
保證責任 大村信用購買販賣利用組合 組合長理事 賴金定 常務理事 賴春水 理事 賴庚寅 理事 賴甲 監事 黃權 監事 賴維祥 監事 賴來春 監事 游樹杞 監事 賴大河
保證責任 埔鹽信用購買販賣利用組合 組合長 施璜 外役職員一同
保證責任 員林郡 坡心信用販賣購買利用組合 組合長 邱添才 外役職員一同
保證責任 員林郡 田中信用購買販賣利用組合

員林郡醫師會
員林郡永靖庄區總代 邱垣 胡出 張中治 邱耆 劉木林 黃火在 陳慶根 陳福胤 胡儀 黃萬勞 王賢德 林清溪 魏池 劉添發 邱春 詹新發 邱青番 顧樹 詹昭壽 陳獅庚 邱禮逢 楊泮水 劉知高 劉豐年
員林郡大村庄 楊火枝 賴衡
員林郡大村庄 游木信 賴隨
員林郡大村庄 黃有 賴大河
日月堂藥房
穎川バス
員林、二林間乘合自動車營業 二溪自動車公司
員林米穀商協會
員林タクシー株式會社 電話一五六・二二〇番
員林北斗間乘合バス 三笠自動車合資會社 電話員林56番
員林郡大村庄 晚生龍眼柑橘類等種苗販賣 貢旗苗園
員林街 員林料理屋飲食店組合
保證責任 蕭德仁土地信用購買販賣利用組合
保證責任 社頭信用購買販賣利用組合
保證責任 永靖信用購買販賣利用組合 組合長 陳作忠 常務理事 林和忍 理事 陳天助 理事 高執德 理事 王賢德 理事 邱字 理事 陳見初 監事 張故 監事 胡水萍 監事 邱垣

麗人荘 (167)

竹田敏彦作 伊勢良夫畫 (築上編)

真犯人 (三)

その晩、綾紗子が、家に帰つたのは、七月の日も、やがて暮れそめる頃だつた。

「只今……」

綾紗子は、まだ胸の躍つてゐるやうな眼で、母の部屋へ入つてきた。

「あら、お帰り……葉子には會へて?」

「ええ……」

「何うか機嫌はよかつたの?……」

綾紗子は、報告するより先に、溢れ出る涙をハンカチに抑へてしまつた。

「何うしたの?」

「だつて……あんまり、あんまりなんですもの……」

綾紗子は咽び上げてしまつた。

「まあ、泣いても、わからないぢやないの……」

葉子も、不安に眼を瞠つたが、すぐ顔はれるやうに、一緒にすゝり上げながら、

「ねえ、葉子は、何うしてゐたの?」

綾紗子は、しやくり上げながらやつと——

「とても、お話ができませんわ……眼ばかり大きくなつて、顔はやつれて、まるで……あの子とは、思へないくらゐ……」

「まあ、そ、そんなに……」

「だつて、警察ぢや、あの子の仕業とばかり決めて、夜も寐かさないで……」

「まあ、可哀想に……」

「葉子ちゃんが、それを私に告げると傍から刑事が鬼のやうな顔で睨んで、こら、餘計な事を云ふな、警察のしたことを考へてみろ! まるで、怒鳴りつけるのよ……そしたら、葉子ちゃんは、死んで皆に償ひついてやるからつて、新聞を睨んでボロボロ口惜し泣きするやうで……」

「まあ……」

二人は抱き合つて、泣いてしまつた。

「ところが、ねえ綾紗子ちゃん……」

やつと暫らくして、葉子が涙を拭きながら、

「今朝あんたが出てゆくと、すぐにこんな情報が來たのよ……」

葉子は、鞄の間から、新聞紙の包んだのを取出した。

「誰方から?」

綾紗子は、不審さうに開いて見たが

「あら……ぢや昨日の夕刊ね」

「お母さん、どうしようかと思つて。この寫眞の御綾紗子では、名古屋の實家へも寄らないで、すぐにこちらへいらつしやるらしいんだけど、あれほどあんたや葉子に會ふのを、楽しんで歸つていらつしやる矢先、折悪しくこんな事件が出來て、葉子はそんな目に遭ふし、大原家と私達の關係まで、世間に曝らけ出されてしまつて……」

葉子は、ここまで云ふと、思出したやうに

「さう／＼今夜の新聞には、たうとうこんなことまで出してしまつたのよ」

葉子は、先刻の夕刊を取出して

「時もあらうに、明日はあの人が歸つて來なさらうといふ今夜、こんな新聞が出てしまつて……折角晴れの御歸朝を……」

葉子は、また泣き沈んでしまつた。

綾紗子も、暫らくは、夕刊の記事に、怒さながら眼を走らせてゐたが、ふと

「ねえ、お母さん……」

「……?」

「私、いいこと考へた……この方は法學博士で、立派な弁護士さんでせう。私、葉子の冤罪を、助けていただくわ。お縋りしてお願ひしますわ……ほんとにお母さんをそんなに愛してゐてくださるのでしたら、私達の苦衷は、きつとわかつてくださいますわ……ね、お母さん、この人に捨てられるまでは、私達、悲観しないでゐませうよ……」

綾紗子は瞳を輝かせて、母を励ますやうに言つた。

新しき年に 伊太利はどう動くか (上)

同盟通信社羅馬特派員 下條雄三

一九三八年の歐洲外交界は、文字通り波瀾万丈の歴史を綴つた。先づ三月の墺獨合邦が一兵も動かずして成し遂げられたのを始めとし、四月十六日には伊太利の地中海制覇とエチオピア帝國承認とに眼目点を置する英伊協定の調印、五月初めにはヒツトラー總統の伊太利訪問による獨伊樞軸の決定的強化が行はれた。この向ふを張つたかに見えた英國新帝のパリ訪問と英佛軍事協定の強化は八月十九日から数日間の猛夏に行はれ、英佛ブロックに對する獨伊樞軸の對立は一段と尖鋭化する如くに見受けられた。九月に入つて獨逸ニュールンベルグ大會閉會式に於けるヒツトラーの獨逸宣言は、チエコスロヴァキア問題をきつかけとして全歐を第二次歐洲大戰の渦中に投ずるかに見られ、世界を戰慄に叩き込んだが、四巨頭のミュンヘン會商に於て、正に危機一髪の處で平和が救された。この四巨頭會商の副産物として獲得されたのが、スペイン問題の解決で、十月には伊太利のスペイン派遣義勇兵の引揚げ佛伊外交正常關係の回復(新大使交換)となり、四月には調印以來假死状態にあつた英伊協定も十一月十六日に、調印以來七ケ月振りで效力發生の日の目を拜むこととなつた。

一年間の收穫

現状打破により歐洲の新秩序を獲得せんとした獨伊兩國と、現状維持によつて平和機構の存續を守らんとした英佛の離隔は、正に見物であつた。而してこの一年間に夫れ／＼得たところのものは何であつたらうか、これを二、三拾つて箇條書にしてみると

「獨逸」
一、墺太利合併
二、ズデーテン・ドイツチランドの獲得
三、東南歐への發展ルートの確保

「伊太利」
一、米諸國以外の世界各國の伊太利のエチオピア帝國併合承認
二、地中海及紅海に於ける伊海軍の實質的制覇
三、スペイン問題の有利解決

「英國」
一、地中海紅海方面に於ける不安除去
二、歐洲戰爭防止による奮戰の危險除去

等が擧げらる。勿論之等は表面上にあらはれたもので、そのうちでも極めて主要な項目丈に過ぎないが、この外に大勢として
一、獨伊樞軸によつて代表される全體主義國家群の躍進
二、右と對蹠をなすデモクラシー國家群の一歩後退
三、ソ聯の歐洲よりの締め出し
四、小協商及びバルカン協商の崩壊による東南歐諸國及びバルカン諸國の全體主義國家群への附隨(英佛の對バルカン勢力の後退)

等の絶大なる政情變化を、軽くも看過することは出來ない。

ラヂオ

一月一日

朝

【六・〇〇】國歌・東亞の曙(東京)

【七・三〇】朝の挨拶・ラヂオ體操 指揮…臺北第一師範附屬小學校 勤勞奉仕…朝の音樂(レコード) 國民歌謡…旭はのぼる(時雨音羽作詞、杉山長谷夫作曲)行進曲「祖國の護り」(陸軍軍樂隊作曲)、行進曲「進め日の丸」[illegible]行進曲「伸び行く日本」(陸軍軍樂隊作曲)

【八・〇〇】ニュース

【九・〇〇】吹奏樂「君が代」(臺北第二高等女學校生徒(臺北のみ)) [illegible]

【九・三〇】子供の時間(臺北)[illegible]

【一〇・〇〇】新年奏賀の時間(東京)東京放送管絃樂團 [illegible]

【一〇・一〇】謡曲(東京)[illegible]

晝

【一一・五九】正午の時報(東京)公示事項 知事項(各局) 午後の放送番組發表(各局)

【一・〇〇】ニュース

【一・〇四】謡曲(熊本)大社 [illegible]

【一・一五】万歳(名古屋)[illegible]

【一・一〇】太神樂(東京)[illegible]

夜

【六・〇〇】子供の時間(東京)[illegible]

【五・二〇】經濟市況ニュース

【三・〇〇】ニュース

【六・二五】講演(東京)新らしき日本の姿…永田秀次郎

【六・五五】カレント・トピックス(東京)

【七・〇〇】子供の時間(臺北)童話劇「お正月をお迎へに」(山口充一作)臺北放送兒童劇研究會

【七・三〇】ニュース

【七・三〇】交響曲(東京)[illegible]

【八・〇〇】講談(東京)[illegible]

【八・二〇】長唄(東京)[illegible]

【八・五〇】國史劇(東京)[illegible]

【九・二九】九・四〇時報(東京)

【九・四一】長唄(東京)[illegible]

【一〇・〇〇】經濟市況ニュース

【一〇・一〇】放送局新聞提供ニュース(各局)

一月二日

朝

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、朝の音樂(レコード)[illegible]

【七・三〇】朝の修養(東京)[illegible]

【八・〇〇】ニュース

【八・一〇】初席(大阪・仙臺)[illegible]

晝

【一一・五九】正午の時報(東京)公示事項 知事項(各局) 午後の放送番組發表(各局)

【〇・〇五】ニュース

【一・〇〇】謡初め(東京)[illegible]

【一・二〇】ピアノ二重奏・[illegible]

【二・〇〇】ニュース

【五・二〇】經濟市況ニュース

夜

【六・〇〇】子供の時間(東京)アタゴ子供會…日本三大お伽噺

【六・二五】講演(東京)下村宏…日本の進むべき道

【六・五五】カレント・トピックス(東京)

【七・〇〇】子供の時間(臺北)ラヂオ・ヴアラエテイ「うさぎ・うさぎ」[illegible]

【七・三〇】ニュース

【七・二〇】管絃樂曲(大阪)[illegible]

【七・五〇】浪花節(大阪)[illegible]

【八・二〇】落語(大阪)[illegible]

【九・〇〇】浪花節(大阪)[illegible]

【九・四〇】九・四〇時報(東京)

【一〇・〇〇】經濟市況ニュース

【一〇・一〇】放送局新聞提供ニュース、公示事項(各局)明日の放送番組發表(各局)

【一一・〇五】英語ニュース

【一一・二〇】北京語ニュース

【一一・三五】廣東語ニュース

【一一・五〇】馬來語ニュース

【〇・〇五】國語ニュース

謹賀戰捷新春 皇紀二五九九年

小田中權八 基隆

白澤傳吉 基隆市濱町

古山內小兒科醫院 古山昌雄

福永產婦人科醫院 福永金太

今田內小兒科醫院 今田賫一

松村內小兒科醫院 松村美一

廣瀨眼科耳鼻咽喉科醫院 廣瀨涉

浦田彥次郎 基隆市幸町

土木請負 邱都 基隆市 電話八七九番

杜傳發 基隆

司法保護委員 方面委員 蔡慶雲 基隆市

木村みね 基隆

平道峰吉 基隆

九善商會 田邊善吉 基隆市旭町二丁目六番地 電話七二四番

雜貨商 平屋 基隆市天神町一六 電話二三〇番

庄司疊店 基隆市壽町六丁目 電話七二番

和合文具店 基隆市旭町 電話三二四

アサヒ寫眞館 本店 臺北市榮町 支店 基隆市義重町四ノ八

川口金一商店

文開洋服店 基隆市旭町二丁目

南陽商店 基隆市義重町一ノ九

合資會社 田邊商店 味噌製造元 基隆市日新町

株式會社 集大成材木商行 本店 基隆市 支店 臺北市

入船旅館 基隆市義重町二ノ五

臺灣物產商 具志堅物產店 基隆市義重町二ノ一四

貿易商 松本信次 基隆市双葉町九十六番地

日本齒科醫學士 岩本隼人 東洋齒科醫學士 岩本壽賀

臺北州水產會診療所 基隆市濱町

高級洋服並婦人服裝部 羅紗綿布 聯美洋服店 林來進 基隆市元町

青果貿易商 福隆公司 代表 蔡城 電話六九四番

基隆 公會堂食堂 電話七三八番

基隆驛前 永三旅館 電話四八五番 振替臺北五一〇四番

御旅館 依姬館 基隆市双葉町 電話九二・三四四番

御旅館 內山館 基隆市新町二丁目 電話四四三番

基隆驛前 御旅館 常盤館 電話三三六番

基隆驛前 船越旅館 船越食堂 波多野嘉一

江戸前すし 天ぷら 關東煮 菊水 基隆市久寶寺 電話二一八番

江戸前すし 天ぷら おでん 關東煮 謡池亭 基隆市日新町五丁目 電話四一〇番

三和金物店 店主 游親契 基隆市元町二丁目

基隆藥局 基隆市壽町

和隆木材株式會社 基隆市福德町三丁目十五番地

基隆港 御料理 巖亭 電話一〇六番

基隆市會議員

横井鋼一 松浦新平 吉原多三郎 明比實平 土居靄雄 廣田幸平 竹田義治 河井良平 宮上龜七 范寶動 何應鵬 林時 陳漢周

林藤二 田尻信次 河合荘太郎 森山藤七 關本諄二郎 宇田繁 居川榮世 猪俣敬藏 葉松濤 汪榮振 蔡星穀 邱德金 顏窓吟

臺北市松山 保證責任 松山信用購買販賣利用組合 組合長理事 朱彰添 專務理事 [illegible] 理事 [illegible] 外職員一同

基隆市產婆會一同

基隆商工會議所 基隆市日新町一丁目一番地

基隆 吾妻

代表社員 明比實平 內臺通運合資會社

仁木種次郎 基隆

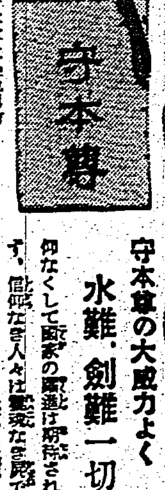
基隆港 御旅館 日新館 電話參九番

臺肥料株式會社 基隆市

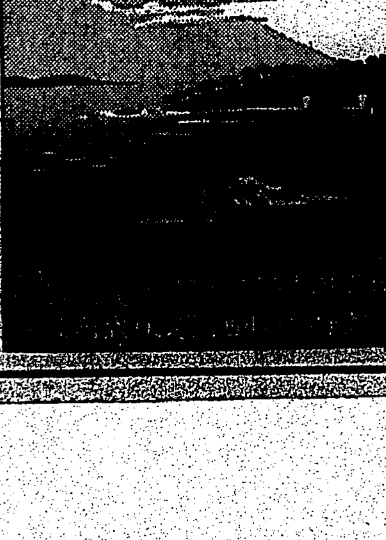
營業種目 一、滿俺鐵 一、カーバイト 一、生石灰 一、石灰 一、石灰窒素 一、消石灰 一、硅素鐵
臺灣電化株式會社 基隆工場 羅東工場 蘇澳出張所 東京出張所 東京日比谷

臺灣船渠株式會社 基隆港

七難即滅・七福即生 昭和十四年正月元旦朝の一番大護摩御修行濟
生れ年による 男女一代の守本尊頒布
開運厄除
子年生れの方 千手觀音
丑寅年生れの方 虛空藏大菩薩
卯年生れの方 文殊大菩薩
辰巳年生れの方 普賢大菩薩
午年生れの方 勢至大菩薩
未申年生れの方 大日如來
酉年生れの方 不動明王
戌亥年生れの方 八幡大菩薩
守本尊の大威力よく水難、剣難、病難、火難、一切の災厄を救ひ給ふ!
申込所 千葉縣下總國成田山 不動ばし裏山 守本尊謹刻所 振替東京九一二一番 電話成田二七番
守袋入りにて御一體送料共金九十五錢



天下ご銘酒 褒紋 白雪 聖戰下 戰ふ我らの健康護る!



臺灣產業株式會社 基隆市日新町三丁目十三番地

共同石炭株式會社 臺北州基隆市福德町一丁目六十三番地

日本水產株式會社 臺灣營業所 基隆市濱町五十三番地

祝戰勝之春 月勝居食堂 李金財 臺北市松山

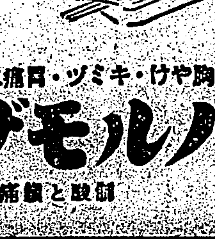
丸勝商會 臥製造工場 臺北市松山五一一 主 李金進 本年も相變らず御引立をお願ひ致します 以は多數製造致し居ります、何卒御用命の程お願ひ致します。

松山煉瓦製造所 陳海萍 臺北市大橋町三丁目三〇番

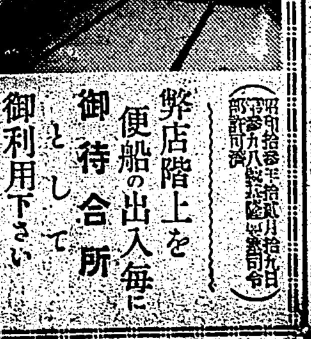
松山 復記產業株式會社 代表者 陳復記

松山藁品製造所 臺北市松山驛前

臺北莫大小製造所 臺北市松山四一六

御慶 みんな ノルモの 客ばかり
ノルモザン錠 胸やけ・ゲツプ・胃痛に


生そば 料理一切 さらしな 基隆驛前橫通り 電話五〇五番


弊店階上を 便船の出入毎に 御待合所として 御利用下さい

山崎正義 基隆

市尹 矢野謙三

基隆市濱町五拾壹番地 西村盛男

范寶動 基隆市

林德新

阪東運動靴代理店 阪東ゴム合羽代理店 和洋雜貨卸商 金裕德商店

家庭用品一式 井手商店

臺灣牛乳會社

南國產業合資會社 代表社員 林健

基隆義成家畜會社

臺基工材株式會社

謹祝長期建設新春

本格的カクテール、西洋料理 基隆市日新町四丁目 カフエー朗 電話貳七壹

明朗なる娛樂場 基隆市日新町二ノ一六 ふじ倶樂部

基隆市 高級映畫館 中央劇場 電話壹〇四番

東寶映畫常設館 基隆世界館 横谷豊吉

基隆日新町六丁目 カフエー日勝

カフエー 純な乙女の集り 僕の家 經營者 秋元 基隆市日新町二ノ一四

基隆義重町 岸田喫茶部

御料理 基隆市天神町運河畔 文樂 電話七四貳番

御料理 基隆市日新町五丁目 田川

御料理仕出し 基隆市天神町 竹乃家 電話參九六番

御料理 仕出し 基隆市義重町 まつや 電話貳四〇番

御旅館 海水浴 快樂園 基隆市濱町六 電話五六〇番

大潮湯 港湯

大潮湯 平和湯

基隆驛前 カフエー ミドリ

基隆劇場株式會社

市尹 矢野謙三 基隆

松本晄吉 基隆

顏欽賢 基隆

日本水產、基隆營業所長 前根壽一 臺北市東門町壹九壹ノ貳壹

和泉種次郎 基隆

竹田義治 基隆

近江時五郎 基隆

與儀喜宣

圖子武八 基隆

玉理三造 基隆

山田闡一 基隆

松村鎌治 基隆

臺北州基隆市明治町一丁目五番地 株式會社日東商船組基隆支店 支店長 黑木直吉

倪蔣懷 基隆市双葉町九六 電話四三一番

本島を引揚げ南支南洋に進展し又は故山に歸臥せられんとする志士仁人は其地方の圖書館に對し記念として多少に拘はらず圖書の御寄附を希ふ 基隆 石坂荘作

吳坤南 基隆

基隆市濱町五拾壹番地 西村盛男

三浦榮熊 基隆

基隆郡守 須江英雄

小林長彥 基隆

王塗盛 基隆

金子英雄 基隆

松浦新平 基隆

松山正男 基隆

古川定吉 基隆

菅原薰 基隆

片山正義 基隆

播磨壯亮 基隆

黑澤權藏 基隆

河井良平 基隆

基隆郵便局長 前美好 基隆

基隆驛長 今野貞吉

基隆電氣商會 牧野定光 基隆市義重町貳ノ貳（電話五貳番）

基隆市義重町三ノ一 古山昌雄

基隆安全タクシー株式會社 代表者 流水伊助

大倉一良 基隆

田中庄吉 基隆

堤廣治 基隆

西尾正一 基隆

本庄運造 基隆

楊澤盛 基隆

基隆市 李天賜

基隆市義重町壹丁目八番地 珊瑚商 南豐吉 電話四九番

作山泰武 基隆

基隆市入船町壹丁目貳拾五番地 山口三吉

桑木源三郎 基隆

木村龜吉 基隆

范寶勳 基隆市

林德新 基隆市綠町貳ノ壹壹

野尻錠一 基隆

臺灣船渠會社酒保 李順成商店 李兩成 基隆市大正町三〇

基隆市義重町四ノ五 松本藥局

參茸藥材 生熟藥材 卸小賣 源茂藥行 基隆市

基隆市綠町二丁目六 東元藥行 電話長九〇七番

福德堂藥房 基隆市玉田町

基隆市旭町五九 岡崎造船所 電話六八二番

基隆市旭町二八 鐵工業 川本工作所 電話八五五番

金合鐵工場 基隆市入船町二ノ一

基隆市綱川町二ノ一番地 三和鐵工所 電話二六二番

基隆市入船町 山下鐵工所 電話二二九番

基隆市濱町九番地 合資會社 大成鐵工場 代表者 楊火旁 電話長八六五番

船舶汽機汽罐製作並修繕一式 アセチリン熔接 本工場 分工場 基隆市入船町 大島鐵工所

合資會社 石井鐵工所 基隆市綱川町二八 電話七二五

石井機械製作所 基隆市入船町一丁目三六 電話八七六・二〇六番

基隆倶樂部

基隆醫師會

基隆市幸町市場 組合員一同

基隆市 富貴市場一同

基隆撞球組合

基隆宿屋組合

基隆市貸座敷組合

基隆市料理屋組合

基隆市屑物商組合

基隆市日新町四丁目壹番地 日本海員組合基隆出張所 電話一二〇九番

基隆市材木商組合

基隆海產物商組合

保證責任 基隆住宅利用組合

基隆魚市仲買組合 組合員一同

基隆市飲食店組合 一同

基隆市濱町二七番地 基隆船渠業組合事務所 電話三四八番

設計 監督 施工 ひぢり屋建築事務所

臺灣船渠株式會社 基隆港

阪東運動靴代理店 阪東ゴム合羽代理店 和洋雜貨卸商 金裕德商店 基隆市綠町 電話八八九番

家庭用品一式 井手商店 基隆市義重町一丁目 電話貳八番

船具金物商 共榮商會 電話六四番

櫻井商會本店 基隆市元町二丁目二九番地

石炭採掘請負 基隆三坑 蕭乞食 叔卿

基隆名物 平戸の蒲鉾店 電話參〇九番

食料品卸小賣商 基隆市義重町三 平戸商店

淺野セメント會社基隆販賣所 基隆市玉田町一丁目二十六番地 若村商店 電話四貳貳番

薪炭ガラ商 基隆市天神町 出田商店 電話壹參四五番

基隆市福住町一丁目 金崇德商店 黃卿齒

葉獅商會 基隆市濱町 電話壹七八番

基隆市明治町二ノ一 石炭商 李清彩

土木建築請負業 基隆市玉田町 志村組 電話九七七番

金鑛業 瑞芳鑛山小粗坑五番坑 金厚利公司 電話瑞芳壹〇番

食料雜貨商 基隆市日新町三 田中商店

基隆市義重町二丁目 疊商 藤井疊店 電話貳八八番

質屋 基隆市義重町四ノ一六 紺屋孫次

船舶沖賣商 基隆市日新町四丁目一番地 宮淺商店 電話五〇壹番

現代的ポーズと優秀な撮光の妙味！ 下地寫眞館 基隆市天神町 電話九六貳

基隆市日新 港タクシー 電話五九六番

基隆市綱川町八番地 金星醬油合資會社

長澤式完全防水加工 京染悉皆洗張物 一式萬染物加工 洗張り湯のし 基隆市日新町四丁目九番地 長澤染物店 電話五〇八番

船舶機械 製紙原料 佐々木金三 基隆市濱町五九

基隆市濱町五三 吉武商店製函部 電話長九八四番

便利屋 基隆市双葉町 田中便利屋 電話九九四番

米重組出張所

基隆市寶町八〇番地 西村晴耕園

基隆市日新町參ノ六 活版 石版 新高印刷株式會社 電話五五七番

新皇軍武運長久 基隆幼稚園

基隆郡八堵驛前 前田鐵工所

臺灣牛乳會社 基隆市西町五八 電話四八番

南國產業合資會社 基隆市元町壹ノ四五番地 電話貳六四番 代表社員 林健 基隆

船具商 基隆市日新町海岸通 角谷定吉商店 電話壹五番

石炭 石油 鑛油 機械油 卸商 橫井商店 基隆市玉田町一丁目

基隆市旭町一ノ五〇 大成運輸組

株式會社 基隆市明治町壹丁目五番地 丸一組

和洋御菓子 基隆市義重町二丁目十七番地 一福堂 電話四〇九番

基隆市明治町一丁目貳ノ五 基隆館運送本店 支店所在地 臺北市樺山町

漁具船具 基隆市濱町四四番地 松永辰之助商店 電話壹參七番

臺灣鮮友相愛會 臺北州基隆市社寮町四三

合資會社 南國公司 臺北州基隆市双葉町貳番地 基隆出張所 電話四五六番

株式會社 林兼商店臺灣支店 基隆市濱町五十三番地

同 高雄出張所 高雄市入船町四丁目九番地

林兼食品工業所 臺南市外永康庄

日本漁網船具株式會社 基隆營業所 基隆市濱町五十貳番地

臺灣建業共榮會 代行業務 臺灣建業共榮會合資會社 基隆市旭町一ノ四一 電話六〇貳番

合名會社 丸三鑛業所基隆出張所 基隆市日新町參丁目壹番地

小川商店材料部 基隆市日新町四丁目十一番地 店主 河合莊太郎

內地みやげ 東陽物產商會 基隆驛前（驛ヨリ三分間） 電話參六〇番

自轉車商 福井治雄基隆支店 佐藤登彥

石炭商 顏赤九 蕭石頭 基隆港

基隆港水先人組合

基隆市日新町二丁目六番地 基隆土木協會 電話五九二番

基隆義成家畜會社

基隆市 臺基工材株式會社

株式會社 朝日組基隆出張所 基隆市旭町壹丁目五拾壹番地

株式會社 櫻組基隆出張所 基隆市旭町壹丁目十一番地

基隆冷藏株式會社

基隆 中臺商事株式會社

私設軌道 ハイヤー バス 基隆輕鐵株式會社

基隆市 臺灣水產販賣株式會社

基隆市 泰記汽船株式會社

臺灣手小荷物運輸株式會社 基隆

基隆港沖賣商組合

基隆信和會 信用組合 商工信用組合 倉庫利用組合 庶民組合

戰勝の新年を迎へ御同慶に存じます どうぞ相變不一層の御引立を御願申上げます 基隆吳服商組合店主 一同

臺灣酒類賣捌人組合基隆支部 玉理三造 都築孫藏 三浦榮熊 中村三郎 黑木長助 余德興

臺灣煙草賣捌人組合基隆支部 吉滿松廣 鈴木 內藤政榮 鶴永太 緒方則繼

基隆專賣品小賣人聯合會

基隆專賣品小賣人組合

生花 造花 淨光社 基隆市義重町一丁目十二番地 電話九七八番

・皇紀・二五九九年・

集大成材木商行 本店 基隆 支店 臺北

天ぷら すき焼 おでん 關東煮 謠池亭

守本執鑑刻所 料共金九十五錢

謹祝皇軍大捷新春

臺中市千歳町一丁目 蔡先於法律事務所 電話三七番

臺中市大正町四丁目 映畫演藝 娛樂館 館主 角田金作 電話九五六番

臺中市錦町三丁目 カ餅菓子舗 今村政光 電話一二九番

臺中市榮町四丁目 裕源物產合資會社 電話一七六七・四二一番

臺中驛前 中央ホテル 電話一二六・三五四番

臺中市新富町三丁目 聚英樓 電話一五三三・五七番

臺中市梅枝町二 李榮煌

大屯郡南屯庄役場 渡邊正

保證責任烏日信用販賣購買利用組合 組合長理事 陳紹宗

臺中州大屯郡大平庄 合資會社 大寶農林部 臺灣出張所

臺中郵便局長 岩室哲造

臺中市 岩瀨啓造

臺中市 小鹽三治

臺中市 榊原辻太郎

臺中 入佐藤次郎

臺中市 貴田一郎

臺中 桑原政夫

臺中市初音町六丁目 堀正一 電話三四五番

臺中市大正町 合資會社 全安堂 電話三〇五番

臺中市橘町三丁目 醉月樓 電話一五一・八七・二二番

臺灣青果株式會社 社長 本山文平

臺中市 坂本信道

臺中市 田邊誠一郎

臺中市 林湯盤

臺中州青果同業組合 組長 佐治孝德 常任副組長 今井昌治

寶町アパート 臺中市寶町四ノ五二 電話弐四九番

御旅館 千代乃家本店 臺中驛前・電話

御旅館 千代乃家支店 彰化市北門・電話

臺中市榮町(元つたや旅館跡) 衛生本位 親切第一 浪花旅館 浮田シヅ 電話一〇五七番

臺中 柳屋食堂

臺中材木商 東勝材木商會 東興材木商行 松山商行 協和商行 三振商行 大森材木商行

保證責任 臺中州芭蕉信用販賣利用組合

臺中市壽町一丁目 臺中土木建築請負業組合 電話六壹七番

保證責任 苑裡建築信用購買利用組合 組合長理事 陳南輝 専務理事 清水知磨男 外役職員一同

大屯郡西屯庄役場 庄長 張進木 助役 廖進儀 會計役 張順來

臺中市楠町四丁目 禎祥拓殖株式會社 取締役社長 林烈堂

臺中市榮町一丁目 大東信託株式會社 支店 臺北、新竹、臺南、高雄

臺中市榮町二丁目 臺灣野蠶株式會社

臺中市醫師會

有限責任 臺中信用組合 臺中市寶町一丁目

株式會社 臺中座 臺中市榮町四丁目一番地 電話一、一八一番

臺中料理屋飲食店組合

臺中市新富町 富貴亭 電話一〇四番

臺中公園內 御料理 弘園閣 電話一、一〇八番

文具 尚文堂 印刷 本店 魏子栢 臺中市錦町五丁目 電話一、一〇五番

帝國運輸株式會社 臺中市橘町二丁目十番地 電話五八八番

臺中消防組

臺中雜貨商組合

臺中市榮町二丁目 常磐木ホテル 電話三八〇番

臺中州自動車協會

自轉車 附屬品 福井治雄臺中支店 臺中市大正町二丁目 電話八四〇番

臺中市若松町七丁目 老松自動車株式會社 電話六六七番

員林郡北斗 北斗バス株式會社

臺中 カフエー營業組合

臺中市 臺中建築信用購買利用組合 臺中市橘町四丁目 電話七五四、四七六番

臺中州米穀商同業組合

豐中自動車株式會社 社長 張清泉

保證責任 臺中厚生信用販賣購買利用組合 信用部 臺中市寶町五丁目 電話八四八番 倉庫部 臺中市公館六一番地 電話三三二番

臺中吳服商組合 石川吳服店 井上吳服店 川島吳服店 さとう吳服店 山本吳服店 旭ヤ吳服店 京坂屋吳服店 三原屋吳服店 肥後屋吳服店

臺中二一會 馬場商店 華生園茶舗 高橋糸店 棚邊書店 内田靴鞄商店 マスニヤ商店 九一商會 九三大藥房 丸西商店 安月菓子舗 室 調 末廣菓子舗

埔里 三宅組素道事務所 組員一同

大林組霧社出張所 所員一同

能高水利組合長 河內寅次郎

能高郡役所 神田利吉

埔里街役場 街長 野村正男 助役 施丹梯 會計役 蘭添貴

國姓庄役場 内田清 顏諒

臺中州埔里出張所長 高橋堅吉

魚池庄長 陳金龍

魚池郵便局長 森保重

埔里街 安田良成

埔里街 豐島倫

埔里保甲聯合會長 施雲釵

埔里街 陳秋全

埔里街 大久保彦右衛門

埔里街 橘修

埔里街 友田禮一

埔里街 林其祥

埔里街 倉橋儀利

埔里信用組合 施文彬

臺中ニ付年賀缺禮仕候 羅銀漢

能高郡過坑 峯記製糖農場 李峯竹

中部臺灣國立公園中心地 霧社 櫻旅館 高橋修平

新座敷落成。櫻花滿開。

霧社公醫 日高貞示

御旅館 水社 涵碧樓 日月館

御旅館 埔里街 能高ホテル 電話一二九

日用雜貨 食料品 埔里市場內 洽記商店 電話一三六

能高郡料理屋、飲食店組合員一同

埔里街 滋養軒 電話一一七

御料理 麗華樓 埔里街 簡士文 電話二三

埔里 魚池間 臺中二高自動車株式會社 電話一四

埔里土木建築請負業組合 組合員一同

埔里街 御料理 樂花亭 黃天星 電話五八番

埔里街タクシー組合 タクシー一番 謝朝棟 タクシー一番 洪允和 タクシー一番 蘇永眞 タクシー一番 邱庭旺 タクシー一番 林阿紅 タクシー一番 劉良藝

南投街 青木堯

南投街 林濱

草屯街 洪火煉

南投郡守 松村數江

南投街長 星萬壽雄

臺中州會議員 雨谷安之丞

南投郡名間庄長 島內珪次

南投街 日高友衞

臺中州南投稅務出張所長 原稅

南投郡名間三八 保生堂

南投街 御料理 開花樓

南投街 木村醫院 (電話一七番)

田中一郎 南投街

南投郡草屯街長 渥美寛藏

南投郡中寮庄長 玉手清治

南投郡名間庄 復元藥房

南投名產 南投街出荷部會 代表者 張慶龍

保證責任 南投信用販賣購買利用組合 組合長 役職員一同

保證責任 名間信用販賣購買利用組合

保證責任 內轆信用購買組合

南投自動車株式會社

保證責任 草屯信用販賣購買利用組合

南投專賣品小賣人組合

臺中州沙鹿街 西川健治

沙鹿街長 柴田清 助役 陳双

保證責任 沙鹿信用販賣購買利用組合

保證責任 竹東信用購買販賣利用組合

臺中ニ付年始ノ禮缺ク 竹東 宮本金助

本店 臺北市濱町五ノ九 支店 竹東郡竹東街竹東三三 古承鼎

竹東郡米穀聯合會 役職員一同

キング洋裁所 揚建深

竹東郡守 濱崎良三 野口吟 土井利三 吉田三三郎 平間秀顯 林阿際 伊藤米吉 鈴木清司 何乾亮

芎林庄 陳劉添

保證責任 北埔信用購買販賣組合

竹東街 山田洋服店 店主 唐細管

竹東街 展東運送店 林盛

竹東街 大新タクシー

北埔庄 濟陽醫院

保證責任 峨眉信用購買販賣利用組合

峨眉庄 峨眉庄茶業組合

竹東街 共進タクシー 彭步進 電話四六番

竹東街 長春醫院 公醫 宋燕貽 醫師 宋枝發

竹東街 久野木造

竹東街 蘇慶土 電話九番

府評議員 姜振驤

竹東街協議會員 小原德四郎

竹東街綿布小賣商組合長 范鏞春 外役職員一同

新竹州會議員 梅本馨

新竹州會議員 佐藤信輝

苗栗 銅鑼 米穀改善協會

日本通運 苗栗出張所

臺灣倉庫 苗栗出張所

苗栗 同仁堂醫院 醫學博士 氏家直記 電話一五二・四〇・三番

銅鑼 銅鑼產業株式會社 社長 劉

新竹州苗栗郡苗栗街 臺灣軌道株式會社

臺中ニ付年始缺禮仕候 竹東 彭作權 彭作衡 彭作霖 彭作楫 彭作光 彭杏南 彭文苑(出征中)

竹東街 大栗巖

竹東街 カフエー金雀 彭文淡 女給一同

苗栗街役場 街長 宇佐美信吉 助役 川瀬政吉 會計役 福岡佐一太郎 外役員一同

頭屋庄役場 庄長 徐海碧 會計役 范智遠

公館庄役場

銅鑼庄役場

三叉庄役場 湯有榮

苑裡庄役場

通霄庄役場

四湖庄役場 張恩綸 謝利發

苗栗街苗栗一八四 吉昌藥房 主人 朱長一 電話一〇八

苗栗街 東海醫院 醫師 徐阿煌 電話一〇五

苗栗街 魏益源材木商行

臺中市綠川町一丁目 臺灣青果同業組合聯合會 電話

臺中市 臺灣青果株式會社

臺中市柳町 臺中州青果同業組合

臺灣酒類賣捌人組合臺中支部

臺灣煙草賣捌人組合臺中支部

臺中州專賣品小賣人組合聯合會

商工銀行 苗栗支店 支店長 渡邊正義

苗栗街協議會員 彭松壽

御旅館 汽車辨當 苗栗館

保證責任 公館信用購買販賣利用組合

苗栗信用購買販賣利用組合

臺灣勸業無盡株式會社 苗栗支店長 本城虎吉

桃園街 梅本敦

桃園酒類煙草食鹽小賣人組合 猪股駿治

桃園街 合資會社 陳合發商行

桃園水利組合

株式會社 東興商會

桃園郡守 谷義廉

庶務課長 佐伯實 警察課長 內田清志 桃園街長 村木末一 芦竹庄長 柳本貞吉 大園庄長 馬場儀次郎 龜山庄長 諸岡嘉助 八塊庄長 山本宗平 桃園信用組合長 楊秋發 黃全發 王傳房 林呈禎 陳坤山 呂新進 葉泉清 本山直枝 谷義廉 谷義廉

桃園煉瓦株式會社

桃園軌道株式會社

卯年の逸話

上野動物園長　古賀忠道

昭和十四年は兎に明けた。縁起をかつぐ日本人は戰捷の新春には勇壯活潑な虎か馬の年廻りの方がぴつたりくるかも知れない。しかし昭和十四年といふ年は、支那事變も新段階に入り、支那大陸の戰後工作に一層拍車をかけねばならぬことを考へると、十二支の動物中最も柔和と見られてゐる兎が、年廻し役にやつて來たことも、偶然とは言ひながら面白い廻り合せだ。

兎は昔から傳説に、童話に、大衆に親まれて來てゐるが、輕蔑半ばすといつた取り扱ひをうけてゐる。たとへば古事記から出た、あの稻葉の白兎の物語や、二匹の童子もよく知つてゐる兎と龜のお伽噺などでは、兎は何時も傲慢な性格として描かれてゐるが、これに反し、月に因んだ物語や、カチカチ山などでは性善的な取扱ひをうけてゐる。然し所詮これは人間の勝手な偏理觀からされた性格であつて、當

僕等の春がやつて來た！

の兎にとつては甚だ迷惑千万なことであらう。

△

だが、この批評に對しては兎にも大きな責任がある。兎はその身體構造が極めて消極的にでき上つてゐるといふことだ。敵に對して勇敢攻撃的にでるやうな、自信をもてる武器は何一つ備へてゐない。あの長い耳も敵の動勢を早く知つて、これに有利に挑戰するためにあるのではなく、反對に一時も早く安全地帶に逃避するためにばかり使はれてゐる。

後足が前足よりも遙かに長いことも自己の弱さを知つて、いち早く危險から逃れるためなのである。この足をもつて急坂を斜上に逃げられたら、大抵な鈍足の動物でも追ひつくことはできない。食物を漁るのも夜分の事で、晝間は安全な森や小藪に隠れてゐる。何もすき好んでカウモリや梟のやうな變則的な生活をしたくないのだらうが、もつて生れた身の備へで、どうにもならない。かかる習性が必然的に兎の消極的な性格となつて現はれて來てゐるのである。

△

元來日本にはどんな兎がゐるか北からあげて見ると、樺太野兎、蝦夷野兎、越後兎（本州北部、宮城、秋田方面）佐渡野兎、立山野兎（越中立山）、隠岐野兎（隠岐）朝鮮野兎、台灣野兎の外に、本州、四國、九州に棲んでゐる普通の野兎及び奄美黑兎とを合せると大體十種類である。

動物學的には兎は穴兎と野兎に分けられるが、現在日本の山野に棲んでゐる兎は野兎ばかりで、一般の家庭で飼はれてゐるものは穴兎の子孫なのである。野兎は地上にくぼみをつけ、枯草等をおいて巢をつくる。子供は生れたときから目をあいて居り、毛も生えてゐるのが特徴だ。ところが穴兎の方は野兎とは反對に大地に穴を掘つて巢を作り、子供は生れたては目をつぶつて居り、鼠の仔などのやうに裸體である。前に飼兎は穴兎の子孫であると言つたが、このことは飼兎が穴に巢を作り、生れた子供が裸であることでも納得がつく

△

兎の習性の中で最も興味あることは門齒がどんどん延びることである。これは鼠やアメリカのカナダ辺に棲む海狸にも見られることで、放つておくと食を噛むのに不自由をするところから盛んに木皮などを嚙じつて無駄延びを防ぐと共に咀嚼に都合のよいやうに門齒を磨ぐのである。吾が國に居て、冬になると白くなるのは蝦夷野兎と樺太野兎、越後野兎、佐渡野兎の四種である。一説にこれ等變色する兎でも長く暖い場所に飼つておくと、變色しなくなると言はれてゐるが分明ではない。

△

日本に棲む兎の中で、たつた一種類國家から大切に保護されてゐるものに奄美黑兎といふのがある。これは世界中どこを探しても鹿兒島縣の奄美大島と德ノ島以外には絶對に發見されない珍獸で、文部省から天然記念物として指定されてゐる。兎といへば先づ長い耳を思ひ出すが、この黑兎の耳は不思議に短かく、而も後足は普通の兎よりもずつと短い。習性も日本の兎には珍らしく穴兎に近く六尺位の横穴を掘つて巢を作り、子供は生れたときは裸體で目をつぶつてゐる。草の芽や根等から甘蔗、芋づる、筍などを主食としてゐる。この外珍らしいものには近年發見された啼兎とか、廿日兎とか呼ばれてゐるものがある。鼠よりも小さい位の可愛いい形のもので、樺太、北海道、朝鮮に棲んでゐる普通の兎には非常に近いのであるが、純粹の兎とは言へない。

△

日本では野兎の習性について割合研究が進んでゐない。これは野兎は非常に人に懷きにくいことが原因してゐる。研究のために飼はうとしても、極度に怯え、餌を食べなかつたり、金網に盛んに跳び當つたりして皆死んでしまふ。上野の動物園でも、相當苦心して試みたことがあつたが、何時も失敗に終り、今飼兎が數匹ゐるだけである。しかし歐洲ではなかなかよく調べてある。參考までに簡單に紹介して見よう。

歐洲には、兎はオーストラリアを除いて至るところに見出すことができ、深山の種類がゐる。野兎は一般に平原に生活し、視覺を極度に働かして逃げ、暑い時は平らな草の上にゐるが、風のある日は長い草の蔭に隠れる。冬になると南傾斜の場所を選ぶといつた用意周到さである。野兎は年三四回分娩するが、歐洲では氣候に惠まれてゐるためか、一年中生むさうである。姙娠期間は約三十日間で、十ケ月位で成長する。面白いことに分娩するときは二三箇所に巢を作り、一匹位づつ生むらしい。午後の七時頃から活動を始め九時から十一時頃が最も活潑とされてゐる。それでは、兎の生命とされてゐる跳躍の点はどうかと言ふと、大體四呎位であるが、敵襲に怯えて懸命に跳ぶ場合は十呎から十二呎位で、上には五呎位跳び上るといふ。

△

一方穴兎に就いての調査によると、砂地に多く棲み、五呎位の横穴を掘つて集團生活を營んでゐる。一回に五頭から九頭位生み、六ケ月で成育する。繁殖期には雌雄共同生活を行ふが、子供が發育してしまふと別居生活にかへるのである。姙娠期間は二十八、九日で子供は十一日で目があき、ねてゐる耳は十二日目に立つやうになり、三ケ月で毛並は生へ揃ふ。

△

兎の重要性は今回の支那事變で急激に增加した。殊にこれから嚴寒に向つて、軍隊の防寒服には缺くことのできない重要動物である。その他我々の生活に使用は無限で昨今農林省では飼兎の奬勵に躍起となつてをり、野兎の捕獲、其の毛皮の蒐集に就いて研究したりする熱心振りである。

飼兎の種類は、フランス、アメリカ、イギリス、ヒマラヤ、イタリー、アンゴラ、オランダ、ベルジアム種等極めて多いが、我が國ではアンゴラ、イタリー種等が普及してゐる。最後に動物園の人氣者である獅子、虎、豹などの猛獸連は、兎のためにあのやうな野生の健康さを保ることができるのだといふことを知つて頂きたく思ふ。このやうな猛獸類には毎日澤山な肉を食べさせるのであるが、肉だけ與へてゐると、彼等はいつの間にかビタミン、カルシユーム分等の缺乏を來たして健康を損つてしまふ。これを補ふには、生きた兎を與へることが最も有利である。そこで、動物園ではこれ等猛獸類に、一週二回生兎を與へてゐる。

謹賀戰捷新春
皇紀二五九九年

嘉義市尹 伊藤英三
嘉義市助役 若森倫次郎
嘉義 林文欽
嘉義 市來敬治
嘉義 小西國平
嘉義 岩淵文吾
嘉義 伊見常夫
嘉義 眞木勝太
嘉義 江口幸市郎
嘉義市 林木根 電話貳〇壹番
嘉義市會議員 林文樹
嘉義 喜多兵太郎
嘉義 梅田利邦
嘉義 庄野橋太郎
嘉義市獸肉商營業組合長 葉萬居
嘉義 津久井半二郎
嘉義 大津義人
嘉義市 永登令治
嘉義 小田村元彥
嘉義 森清吉
嘉義 志熊三郎
映畫常設 嘉義電氣館 電話一一〇〇番
喫茶 ツモト 電話六二一番
嘉義市西門町六丁目貳〇番地 吳阿欽商店 電話八四六番
嘉義 丸三藥房 電話壹四・壹五番
財團法人 嘉義地方振興協會 自動車部長 江口幸市郎
臺灣南部無盡株式會社 嘉義支店長 秋吉惠壽
嘉義市榮町七丁目八番地 株式會社 嘉南商行
有限責任 嘉義信用組合 電話五〇壹番

嘉義市北門町 日用家具 坂內商店 電話三三六番
博多名物 水たき御料理 嘉六 電話六三九番 堀池千代乃
大同自動車商會社 電話二二二番
嘉義市 振山眼科醫院 劉傳來
合名會社 瑞益商店 代表社員 蔡西
外科專門（病室完備） 上池醫院 醫學博士 黃文陶 電話一二〇九番
醫師 梅村獅 梅村醫院 電話九一八番
演劇・映畫 劇場賃貸 嘉義座 電話一一六番
嘉義市大通り 百貨 洋品 伊ケ崎商行 電話九番
南洋材 ラワン アピトン 多數直輸入 安價提供 天龍木材 嘉義出張所 電話620・820番
嘉義市 藤田電氣工業所
嘉義吳服商組合
嘉義宿屋組合
嘉義商工會議所 電話三四八
嘉義市 阿里山材木商組合
カフエースズラン 電話七三〇番
株式會社 嘉義自動車會社 社長 林抱
嘉義市新富町七丁目二五番地 臺灣電燈株式會社
嘉義市北門町五丁目一七一 請負業 嘉義土木建築組合 電話三三五番
保證責任 嘉義建築信用利用購買組合 電話一〇三三番
保證責任 嘉義銀座建築信用購買利用組合
嘉義郵便局職員一同
臺南州米穀商同業組合 嘉義市

米穀仲買 砂糖雜貨 源發商店 主人 羅戊寅 電話一一八番
株式會社 今豐茂商店
德豐材木商行 蘇友讓
嘉義本局前 日向屋本店 電話四〇六・九番
嘉義市北門町七丁目十二番地 有限責任 嘉義羅山信用組合 理事組合長 黃嚴卿 外役職員一同
嘉義市大通り 池田眼科醫院 醫學博士 池田初一

臺灣煙草賣捌人組合 嘉義支部
嘉義木材商組合員一同
臺灣酒類賣捌人組合 嘉義支部員一同
臺灣食鹽元賣捌人組合 嘉義支部
嘉義驛運輸業組合
有限責任 嘉義商工信用組合
嘉義支局管內 酒類煙草食鹽小賣人組合聯合會
嘉義 酒類煙草食鹽 小賣人組合
嘉義市榮町七丁目二番地 臺南州米穀商振興協會
嘉義醫院
御料理 ともえ 電話五〇八番
加土紙店 電話二一番
御料理 丸々亭 電話壹〇七番
嘉義 永島ノブ
嘉義 廣松 電話四八・四九番
嘉義檢番 電話七〇八・八〇四番
嘉義貸座敷組合
營林所指定商 榮發材木商行
嘉義公園內 御料理 清香亭
日用品 嘉興商店
嘉義市 黃德壽
カフエーとノキ
泰西商會 洪珍
白井藥局
嘉義 加藤豐彥
嘉義 永松完
三五商會
天眞堂醫院
三德商行

嘉義市 酒井耳鼻咽喉科醫院
嘉義 勝田醫院
嘉義市公會堂內 和洋 蓬萊 電話四五番
嘉義市榮町二丁目 小出分店 小出義定
合資會社 泉利商行 代表社員 陳福財
嘉義市明治證券社 松尾源治 電話五五五
向生醫院
李振賓 專門院
株式會社 臺豐商行
嘉福ホテル 電話貳四六番
嘉義 四方醫院 施江東
嘉義 中林鐵工所 中林倉一
新營郡守 金子義村
新營街長 長野與吉
鹽水街長 伊藤鎮三
新營 森脇嘉一
土木請負業 新營 陳其清
新營 黑田秀博
新營 沖光次郎
新營 淺野武雄
新營 槇有恒
新營 武田勝子
新營 泉三郎
岸內 內田九州男
臺南州新營郡產業組合
保證責任 新營建築信用購買販賣利用組合
同 鹽水港信用購買販賣利用組合
同 柳營信用購買販賣利用組合
同 菁寮信用購買販賣利用組合
同 店子口信用購買販賣利用組合
同 番社信用購買販賣利用組合
有限責任 鹽糖購買組合
同 烏樹林購買組合
新營街 游春園料理店 電話四五番
臺南州會議員 芝沼榮作
臺南州會議員 栗山新造
臺南州會議員 和田二三松
臺南州會議員 森萬吉
臺南州會議員 越智寅一
臺南州會議員 村上玉吉
臺南州會議員 山本壽太郎
臺南州會議員 辛西淮
臺南州會議員 中島與市
臺南 若槻道隆

新營郡漢藥種商組合
臺南商工會議所議員 平田勝太郎
臺南商工會議所議員 中辻長司
臺南商工會議所議員 大江退三
臺南商工會議所議員 森本健助
臺南商工會議所議員 出澤鬼久太
臺南商工會議所議員 佐藤秀四郎
臺南商工會議所議員 須田義次郎
臺南商工會議所議員 頃安富三郎
臺南商工會議所議員 高橋磷
臺南商工會議所議員 稻井繁
臺南商工會議所議員 川崎二三
臺南商工會議所議員 角谷力男
臺南商工會議所議員 代表者 小原三男
臺南商工會議所議員 王開運
臺南商工會議所議員 吳朝詮
臺南商工會議所議員 洪西淮
臺南商工會議所議員 林年豐
臺南商工會議所議員 代表者 林全福
臺南商工會議所議員 支店長 呂錦文
臺南商工會議所議員 翁金護
臺南商工會議所議員 郭清全
臺南商工會議所議員 何義
臺灣製鹽株式會社 社長 中野友禮 支配人 出澤鬼久太
臺南運河畔 割烹 いなほ乃 電話七六番
天后宮 本店 洪天后
臺南菓子商組合
臺南市醫師會 會長 黃金火
大日本鹽業株式會社 安平出張所 臺南市安平九四八
臺南市南門町壹丁目六六番地 臺南土木建築請負組合 電話四貳六番
臺南 本島人貸座敷組合
臺南州食堂會員一同
臺南專賣品販賣業者組合
臺南市白金町三丁目一六三番地 有限責任 信用組合臺南興信社
元旦、貳日、參日ハ連續四回 十時開館早朝興行 毎日連續皆様の 臺南 世界館 東寶、新興、大都、極東洋畫各社上映！
レストラン カピタン 臺南銀座

謹祝長期建設新春

北斗街(電話二十番) 材木商 順益商行 方□木

北斗街保甲聯合會長 葉勝利商會 葉文軒

北斗郡田尾庄 保甲聯合會長 庄協議會員 許招林

陳

北斗郡二林街(電話十二番) 東勝材木部 陳朝

北斗郡二林街 種藥 泉和藥行 電話三〇番

北斗郡二林街 株式會社 合記商店 代表者 洪海拋

北斗郡二林街二林 二林座

北斗郡溪州 柯通連

北斗郡二林街 二林食鹽元賣捌人 洪福

北斗郡二林街 博濟醫院 洪挑

北斗郡二林街 大福醫院 院主 陳大福

北斗郡沙山庄 保正 林榮

北斗郡沙山庄 保正 林成技

北斗郡竹塘庄 保正 詹長

北斗郡竹塘庄 庄協議會員 廖發明

北斗郡竹塘庄九塊厝 鹽糖九塊厝駐在所 高橋八郎

北斗郡溪州庄潭仔墘 廖樹生

北斗郡溪州庄西畔 保正 鄭火成

北斗郡溪州庄三條圳 溪州信組理事 廖超

北斗郡溪州九〇三 明和屋

北斗郡溪州庄下水埔 保正 鄭西當

北斗郡溪州庄水尾 鍾便宜

北斗郡溪州庄水尾 保正 鍾振樹

北斗郡 郡守 田部貴

警察課長 上野茂
北斗街役場街長 田口茂雄
二林街役場街長 寺尾德右衛門
田尾庄役場庄長 林伯支
埤頭庄役場庄長 倉光平治
沙山庄役場庄長 渡邊善藏
大城庄役場庄長 劉崧袖
竹塘庄役場庄長 松浦儀一
溪州庄役場庄長 深谷佐市

北斗郡 臺中州會議員 寺田清三郎
臺中州會議員 許添學
臺中州會議員 鄭益

北斗街協議會員 宮里政幸

北斗街 行政書士 許萬清

北斗街西北斗 司法書士 行政代書 林仲謀

北斗郡役所前 司法書士 行政代書 許參貳 北斗郡北斗街西北斗

田尾庄 平井幸三郎
彭如勳
黃深泉

北斗郡田尾庄饒平厝 庄協議會員 原料委員 保正 陳羅漢

北斗郡田尾庄 庄協議會員 葉石添

北斗郡田尾庄小紅毛社二九 千代田生命 保險外務員 蕭柳霜

北斗郡田尾庄海仔頂 原料委員 陳七

北斗郡埤頭庄路口厝 庄協議會員 信組理事 保正 蔡有

北斗郡埤頭庄十六甲 沈傳爾

北斗 協和醫院 (電話六十六番) 張協銘

北斗 田中驛構內 北斗田中 米穀商協會 協會員一同

北斗街北勢寮 生財農場 林生財

北斗 露店組合 組合長 楊旺

北斗郡理髮組合 役職員一同

北斗郡田尾庄打簾 老庚種苗園 園主 蕭老庚

北斗街 北斗バス株式會社 北斗—二林—沙山 北斗—溪州—大城 西螺

北斗街 北斗郡藥種商組合 代表者 傅仲宣 外組合員一同

北斗郡醫師會

北斗街獸肉組合 組合員一同

北斗郡料理屋飲食店組合 役職員一同

保證責任 北斗信用購買販賣利用組合 組合長 陳全永

保證責任 田尾信用販賣購買利用組合 組合長 平井幸三郎

保證責任 埤頭信用販賣購買利用組合 組合長 吳在琨

保證責任 二林信用販賣購買利用組合 組合長 林□

保證責任 竹塘信用販賣購買利用組合 組合長 莊□日

保證責任 溪州信用販賣購買利用組合 組合長 鄭丕全

嘉義郡守 田中賢三

水上庄長 畑山丑藏
民雄庄長 安部俊亮
新巷庄長 瀧野平四郎
溪口庄長 張早
大林庄長 金子助
小梅庄長 木村条勝
竹崎庄長 長野鶴吉
番路庄長 金子幸三郎
中埔庄長 松田鐵太郎
大埔庄長 高橋清五郎

保證責任 溪口信用販賣購買利用組合
保證責任 大林信用購買販賣利用組合
保證責任 新港信用購買販賣利用組合
保證責任 竹崎信用販賣購買利用組合
保證責任 小梅信用購買販賣利用組合
保證責任 民雄信用販賣購買利用組合
保證責任 中埔信用販賣購買利用組合
保證責任 月眉潭信用販賣購買利用組合
保證責任 番路信用販賣購買利用組合
保證責任 水上信用販賣購買利用組合

斗六郡守 中松乙彥

斗六郡 莿桐庄長 高瀨嘉一

第五七區 酒類賣捌人 鄭沙棠 斗六街 電話五三番

臺南州會議員 斗六街協議會員 斗六家畜市場會長 張錫琦

臺南州斗六郡斗六街斗六・二三三番地 圖南產業合資會社

斗六郡醫師會員一同

大日本製糖株式會社 斗六製糖所

斗六郡 酒類 煙草 食鹽 小賣人組合 組合員一同

斗六郡漢藥種商組合 組合員一同

大和拓殖株式會社烏塗子製糖所 同 坪頂糖廍

保證責任 大埤信用購買販賣利用組合 組合長 劉□ 外役職員一同

保證責任 斗六信用購買販賣利用組合

斗南 斗南信用購買販賣利用組合 組合長 李□ 電話二十一番

斗六郡獸肉營業組合 組合員一同

斗六郡米穀協會

新化郡下
新化街長 押川貞藏
新市庄長 小野邦彥
山上庄長 佐藤善八
安定庄長 山本二郎
善化庄長 富澤丈三郎
玉井庄長 松本儀平
楠西庄長 澁川梅雄
南化庄長 蔡江池
左鎮庄長 坂梨德次

日本生命保險株式會社新市代理店 新化郡新市庄新市一七六 江春榮 外務員一同

北港郡守 竹中憲二

北港土木建築同業組合 組合長 常松浩正 北港 瀨川義羊 北港 越連 陳吳淵 王辟達

北港製氷公司 代表者

臺南州北港郡北港街一二三七 株式會社 大有商店 外職員一同

合名會社 北港劇場 代表者 蔡裕斛

有限責任 北港信用組合

北港街役場職員一同

北港郡 元長庄役場職員一同

北港郡 四湖庄役場職員

保證責任 四湖庄信用販賣購買利用組合 組合長 蔡忠 理事 林吳 其他

保證責任 水林庄信用販賣購買利用組合

北港郡獸肉營業組合 組合員一同

北港郡料理屋營業組合 組合長 電話一〇七番

北港產米改善協會

新化郡下
新化信用組合長 林茂己
新市信用組合長 江春榮
山上信用組合長 田萬枝
安定信用組合長 王天雨
善化信用組合長 施震炎
玉井信用組合長 張春貴
楠西信用組合長 江財旺
南化信用組合長 蔡江池
左鎮信用組合長 簡德恒

新化街 蓬萊閣料理店 天才

新化郡新化街東側通り 和洋 金源益洋品店 林有銘

新化郡理髮業組合 組合長 薛金益 外組合員一同

新化郡下保甲聯合會長

[illegible]

虎尾 臺日取次店 小島久三郎

虎尾 喜久亭 電話三四番 田川幸吉

ハヤシ洋菓子製造元 木村新二 虎尾 電話二二番

虎尾 和洋什貨 精米所 日興商店 電話五七番

虎尾 陳變 電話八番

虎尾信用組合 役職員一同

虎尾郡守 田中鐵太郎

虎尾街長 大村廉吉 電話五七番

虎尾 永井清次

東石郡守 尾山義一
庶務課長 山田茂雄
警察課長 古谷野高二

臺南州會議員 呂憲發

東石郡
朴子街長 藤黑總左衛門
鹿草庄長 白井房吉
太保庄長 安部尊義
六腳庄長 黃班爵
布袋庄長 宮崎權八
義竹庄長 翁新臺
東石庄長 高木隆吉

東石郡產業組合

保證責任
朴子信用購買販賣利用組合
朴子建築信用購買利用組合
港墘信用販賣購買利用組合
東石港信用組合
布袋信用購買販賣利用組合
義竹信用販賣購買利用組合
牛桃灣信用購買販賣利用組合
鹿草信用購買販賣利用組合
太保信用販賣購買利用組合
蒜頭信用販賣購買利用組合

東石米穀改善協會

東石獸肉營業組合 組合員一同

東石漢藥種商營業組合 組合員一同

東石運輸株式會社 朴子 電話二三番

保證責任 二崙信用購買販賣利用組合 電話四六番

西螺街保甲聯合會長 回生西漢藥房

乘合 貸切 貨物 西崙自動車株式會社 西螺 電話五八番

新月カフェー 群芳閣料理屋 西螺街 電話五〇四・四〇番

西螺信用購買販賣利用組合 農業倉庫 電話五・貳番

西螺 虎尾郡水利組合

西螺街役場

臺南州會議員 廖裕紛 臺南州虎尾郡

西螺米穀改善協會 會長 廖□喜 副會長 林中興 同

北斗郡埤頭庄新庄子 庄協議會員 原料委員 鄭秀

北斗郡埤頭庄崙子腳 原料委員 許新出

北斗郡埤頭庄 吳廷發

北斗郡埤頭庄小埔心 協華興業株式會社

北斗郡埤頭庄路口厝 張清風

北斗郡埤頭庄路口厝 保甲聯合委會長 庄協議會員 張銘陽

北斗郡沙山庄 原料委員 陳建樂

北斗郡溪州庄 保正 原料委員 陳能達

北斗郡溪州庄下霸 保甲聯合會長 庄協議會員 鄭四蚶

北斗郡溪州 葉啓宇

北斗郡溪州 林松元

北斗郡溪州 庄協議會員 鹽糖原料委員 陳文

北斗郡溪州庄水尾 原料委員 鍾江華

北斗郡二林街 原料委員 吳順成

北斗郡二林街頂街 小林正之介

北斗郡二林街大排沙 陳春喜

二林街 陳動

沙山庄 助役 洪維章

北斗郡沙山庄王功 楊士廷

北斗郡大城庄 庄協議會員 吳天麟

北斗郡竹塘庄 庄協議會員 保正 林丁財

北斗郡竹塘庄竹塘 貸地業 詹發

北斗郡竹塘庄竹塘 米穀 肥料 鴻鵬商行 邱思仁

北斗郡溪州庄潭仔墘 鹽糖原料委員 黃鹿壽

北斗郡二林街 振業株式會社 社長 陳捷上

北斗郡竹塘庄 九塊厝保甲聯合會長
貸地業 詹德欽
貸地業 詹志慶
貸地業 詹昭坤

北斗郡溪州 宜昌物產合資會社 代表者 陳伯瓘

竹塘庄 竹塘捷興煉瓦工場 劉永春

北斗郡二林街 聯源醬油製造工場 陳□

北斗郡 二林專賣品小賣人組合

竹山郡役所 郡守 泥谷帶刀

昭和製糖竹山工場長 加納育平

竹山公學校長 山口正俊

竹山郵便局長 坂崎誠一

青果同業組合 竹山檢查所主任 鴨志田子一

竹山庄 臺中州會議員 林朝槐

竹山庄 協議會員 榎戶道之助

竹山庄 協議會員 黃啓奏

竹山庄 協議會員 廖南鸞

臺中州竹山郡 竹山庄役場

臺中州竹山郡 鹿谷庄役場

竹山齒科醫院 京城齒科醫學士 陳紳信

竹材 竹箸 山產 富源商會 竹山電話四番

竹箸 竹消 山產 竹山庄竹山 篁山商會

乾生筍類 山產卸商 竹山郡鹿谷庄 裕利商行 代表者 黃文裕

トラック 建築材料 指物 硝子 連旺商會 竹山電話四六番

三有商會 竹山電話二九番

協隆製米所 竹山電話六番 陳清枝

御料理 玉美樓 竹山電話二二番 黃萬得

御料理 醉仙樓 竹山電話二七番 林輝雄

御旅館 朝日館 竹山電話一九番 王金發

竹山庄魚介類卸市場 (電話四九番) 王金坤

千代田生命保險 竹山代理店 電話三三番

桂竹專門 勞水坑竹材共同販賣所 竹山庄勞水坑五五

竹山醫師有志 (イロハ順)
陳神佑 王美木
林庶煌 楊招璧
林潤嘴 吳登山
林金川 吳東海

竹山郡漢藥種商組合 組合長 陳春 副組合長 黃鴻榜 外組合員一同

竹山郡理髮營業組合 役員組合員一同

近藤自動車 竹山營業所 竹山電話五番

林內竹山間乘合 及貨物自動車 營業所電話竹山五三番 林內呼出斗六百二〇番 二水竹山間乘合 花澗自動車合資會社

集々竹山間乘合 山陽自動車商會

竹山鹿谷乘合 ハイヤー トラック 竹山自動車商會 竹山電話四七番

貸切 貨物 竹山電話四五番 和豐自動車商會

保證責任 竹山信用購買販賣利用組合 電話一二〇番

保證責任 社寮信用購買販賣利用組合 竹山電話四四番

保證責任 鹿谷信用販賣購買利用組合 竹山電呼四三番

皇紀二五九九年

文藝

短歌　安成二郎選

一等　臺北 庄子正行

南の海の鎮めの澎湖島昇る朝陽に輝き滿てり

これは朝陽映島の歌であるが、澎湖に在る作者でなければ、この上の句を得難く、また澎湖を鎮めと見る事も出來ないと思ふ。上の句によつてこの作は生きる。それにはまた時局の意識も感ぜられて、明るい中に一抹の嚴しさもある。但し朝陽映島は漢文で、歌には朝日でよい

二等　新竹 許火元

黒々と陽やけの顔にいかめしき髯をのこして友凱旋り來ぬ

戰友の友を迎へた實際の寫生であらう。作者は年も幼く作歌には修練は積まれないが、見たものを確かにつかんで素朴な表現を成功させてゐるのに感心した。結句は「友凱旋す」としたい。「凱旋」と書いて「かへり」と讀ませると、耳で聞いてはわからない。何處から聞いたのか解らぬ讀み方は短歌の傳統にも影響する。すべて假名遣ひはその短歌の三十一文字といふ形式を破壞することになる

三等　角板山 陽出子

大陸に勝いくさして歳迎ふつはものの幸まづは祈らむ

新しい年の日に先づ祈るものは理想に從つて大陸にある將兵の無事である。「勝いくさ」は生きて還らずと云ふが、勝ちいくさにも又大の犧牲がある。この歌はすなほに國民的感情を現して而も平凡な俗歌に落ちてゐないのがよい

佳作

臺北 泉偉里　ものみなが輝きて見ゆ沖つ島今し昇るも朝日の影は

新竹 槇くに子　大陸の土にならむと兄上は笑顔と笑みて征きてかへらず

潮州 久子　貧しさも耐へゆべかりけり國擧り戰へる時に吾等會ひつつ

高雄 陳迫生　斬壕の中にて書きし兄上の便りは土にまみれてゐたり

臺北 倉野氏阿月　勝いくさひた進みつつ年明けて四百餘州にみ旗かがやく

臺北 伊興江　幸多き御民と生れ南の島にかがやく朝日をろがむ

臺北 串山敬子　戰勝をことほぐ島に新玉の年の初日の影さやかなり

基隆 稻田節眞　新高の山はさだかに霞はれて朝日に映ゆる高砂の島

臺北 名取波奈子　ふるさとの濱べ思ほしも遥かなる沖の小島に朝日映ゆ見ゆ

鹿港 丁聯乾　濱を打つ波の響きは輕みつつ島影映らふ朝の光に

臺北 林春惠　のぼる日の光をうけて輝ける島の木立のうつくしきかな

臺北 岩木勇夫　一人なるわが子ささげて國のため闘ふ老母の髪は強しも

臺北 松尾君代　今よりは天とつかへむ君います島近づけり朝日の中に（澎湖）

宜蘭 河井那保子　四億の民もつといふ大き國踏みかためつつ皇軍は征く

臺北 中村幸次郎　天地のひらけし時ゆはじめての光あたらしき年とかもいはむ

臺北 岡部明子　つつましく年を迎へむ銃ゆ永久にかへらぬ友を思へば

臺南 王雲瀾　聖戰に干支改まれけり初春の紅顔は明く正義に満つ

臺中 吉村都則　新玉の年迎へしに我はただ白衣を脱ぐ身にはなれざりき

臺南 冬木藤　門松のみどりすがしく國あげて戰ひに二度目の春めぐり來し

百戰の初心ならしく實感を歌つてゐる他は、安な調べが整うてゐるので相當に歌を學んだ人々のやうである。中村君は東亞の盟主として起つた日本の新年を歌つてゐるが、言葉が抽象的であるから實感を以て人を打たない。王君の作はすぐれてゐる。冬木君のは「二度目の春」といふのに感慨がこもつてよい

選外佳作

七星 三島光詳　朝光のうららの島に影曳きていま低空を飛機翔りゆく

臺北 菊池一子　天つ日の照りこそわたれみ軍の征くところみな日章旗立つ

臺北 中島精子　島の外にどよもし寄する潮波今朝は和みて日のうららなり

彰化 寸塁生　旅にして朝日に映ゆる沖つ邊の一つ小島を飽かず眺むる

臺北 中野庄之介　高砂の島に朝日の照り映えて新山の國旗はためく

臺北 高平敏夫　生き死には分なく君に獻問袋必ず届けと吾が送りたり

臺北 上野ひろ子　東海のこの島國をめぐりつつ波さわけども嶮しゆるがず

虎尾 國梢子　正月も銃後のつとめいそしむと部屋にこもりてミシン踏みをり

基隆 武田直子　朝霧のはれゆく海にさみどりの島あらはれて初日照り映ゆ

俚謠　小松濤選

天位　臺東街 二宮玉蘭
昇る初日は洋々萬里 國威張る御代の春

地位　臺北市 齋藤玉吉
四百餘州の隅から隅へ 立てよ門松日の御旗

人位　臺北市 加藤幸助
女島男島は霧から明けて 初日長閑な春の海

五客

基隆 平島一夢　昇る旭に祈る今年も 明けて哀れな雲霞

臺中 佐藤石南　雲の上衛に狼火を焚いて 祝國家の証をとく

臺南 中島紅村　勝つて兜の緒を締めませう 國を築けての長期戰

臺北 安良城あの字　大陸心は支那まで延びて 初日明るい占領地

臺北 宮崎吉子　長期抗戰旗かばつづけ

秀逸

岡本江風　昇る初日に日の丸高く 映えて輝く大八州

中津川三七　裂けた戰衣の綻び針も 慣れて斬壕の冬籠り

梅の家　映けよ照れよ若木の櫻 四百餘州の果までも

更家紀　染めて日本の初日の出 頃の八十餘州の八十島を

突面坊　讃て凱旋は新千代迄も 飾る九段の櫻花

加藤幸助　吹けよ春風江南江北 咲けよ大和の櫻花

名無子　一つ一つに誠心こめて 送る慰問の鍋煮餅

佳調

長田一筑　泣いちやすまない御國の爲めに 死んだ夫の名がすたる

田村美峰　軒は朽ちても譽れの家の 初日明かな朝風

白士臣吉　可愛い坊やは晒白盛り 親の譽の尊に立つ

笑子　仰ぐ御旗に朝日が映えて 波も和かな麗門島

勇士　願ひ叶ふて出征嬉し 今年や肩身の廣い春

南古　鬼も恐れぬ武夫なれど 月を見て泣く宵もある

石南　乙女心を梅一輪に 籠めて戰地へ初便り

蝶陽　凧ありだけ伸ばして飛ばう 誰に遠慮のない日本

北辰　征けよ聖戰東亞の空に やがて平和の春が來る

木村　出征なされた御留守へ村の お手が揃ふて鍬始め

追加吟　松濤
國門金門初日に映えて 見やれ肩毎に日の御旗
伸びる國力輝く御稜威 世界無敵の大八州

俳句　彬々子選

天　高雄 櫻井溪舟
出征旗元旦の空に古びあり

地　新竹 森明月
占領の島に陽は映え今朝の春

人　臺北 池田星々
兵來れば子供手を擧げ御慶かな

五客

臺北 宮崎靜子　土の香とある我いのち銃はじめ

員林 杉亞弥子　陸戰によたび歳を迎へけり

臺中 千代田鶴子　畏初に召待つゆとりありにけり

臺北 桑泉寺渓風　ふくらかに初西空の島小島

岐阜 栗山吉　初詣恩賜の盛足しかと歩す

以下佳作

員林 杉西茅子　島山に雲たけれども初日かな

新竹 森明月　國旗立つ力こぞる今日の兵始め

初光り兵に感恩のまま明くる

高雄 櫻井溪舟　初明り海拜の部隊劍そろふ
戰勝戰今日も生きけり初日の出

臺北 桑泉寺渓風　戰初や娶とし銃後守りつつ

臺北 鈴守十方助　銃後の長期を殖し鍬始
その粘り銃後をつなぐ鍬始哉

臺北 池田星々（陣中）　聖戰に鍬子留守なり具足餅

臺北 菊池淳夫　初東風や松をそがひに白衣兵

臺東 寺奧蘆峰　相對す陣地崩けし初日の出

臺北 名取波奈子　うらうくと初日島山はなれけり
風煤し落葉の中の兵思ふ

臺北 金一秋　一族の一銭づつや鍬始

臺北 宮崎靜子　初西綸のよな島のほのぼのと
初島田新嫁兵をとりかこみ

臺中 井口明域　窓々の雪見ゆる通車の列長く

臺北 田畑秋泉　國旗へり賀狀も絶ちて恙なし
初日今與玉の空に滿けり

臺中 本間月正　元日や銃後を守る下駄の音

（〇〇病院の兄を見舞ひて）臺北 中城若松　戰帰もなほり立つ日ぞ御代の春
初詣痩供の母子念ぎけり

鳳山庄 桃孫子　子の武運祈りて老の鍬衾かな

臺東 陸岡山月　元日や日の丸今年新しく

彰化 鄭雲雪　初夢や陣營に見る子の笑顔
戰捷のかがやく初日上りけり

石岡庄石岡 文江　出征の門札に注す初日かな

臺南市 二三七　髭伸の育々伸びて初鶏射し

臺北 宮崎靜子　戰捷改められし正國に
島に映ゆ旭ケ田の初日影

新竹 たかし　戰國のつはもの寄れる大火鉢
わたつみの何處までとどく初日哉

臺南 田上田林　海大に蔽朝と子の吉初かな

淡水 琴雨　初日映ゆ島々縫ふて出舟かな

宜蘭 水村　戰勝の國に生れて中月が春

高雄 鼓山　島山の初西して生れけり

臺北 菊池淳夫　國旗を納む兵の兄宮縁ある身なり

臺北 本田南征　父征いて留守の高屋に家柱の子
初日影晩物にして大八洲

臺東 阿部羽々子　濱千鳥々映ゆる大旦

高雄 櫻井溪舟　島々やさんさんと初日ふりそそく
初日影島の高居の國に浮く

臺中 山手彦送　留守の居間正座の皆真拜みつつ

臺北 五味六合庵　母上より陣居に届く初便り
寄任戰居を拜し鍬初
武威八紘に輝く島の初日かな
皇軍所伐の戰を固めけり

基隆 石崎きさを　同拳を聞きつつ初日拜みけり
國威の空に新し初日射ゆる

漢詩　魏清德選

壹等　時局所感　西川萱南

蘆溝橋畔妖雲見。乾坤一擲爲大戰。摧枯拉朽陷堅城。皇軍猛擊若雷電。徐州攻略又金陵。我軍士氣逾欲勝。武漢羊城再歸我。國府危似風前燈。抗日容共禍斯作。集九州鐵徒鑄錯。滅蔣者誰卽是蔣。天人咸憤其暴虐。將士爲國樂捐軀。前仆後繼上征途。億兆一心盡忠勇。日本精神他邦無。憑茲聖戰立平和。東亞永遠靖風波。八紘一宇皇恩被。臥榻徒來鼾睡多。

貳等　朝陽映島　謝汝銓

高岡振羽鳳鳴春。紏縵卿雲耀紫宸。萬里祥光明昧爽。九天瑞氣靄寅賓。蓬頭鼎峙仙峯迥。鳥跡壺涵曙色新。何幸東瀛瞻就早。呼嵩共作太平民。

參等　朝陽映島　張春華

喔喔靈雞唱。冬殘守歲中。遙天徐揭白。麗旭漸昇紅。島嶼東西列。舟船小大通。廻光浮貝闕。倒影照珠宮。浩蕩恩波暎。氤氳淑氣融。一人欣有慶。兆庶賴無窮。獻曝輸誠切。迎正拜賀同。梯航朝萬國。海陸共春風。

四等　朝陽映島　五十嵐州海

[illegible]……恩威及八紘。云何補聖戰。不及……

四等　朝陽映島　吳蔭培

[illegible]

四等　朝陽映島　李悌欽

[illegible]

四等　時局所感　謝尊五

[illegible]……永太平。

四等　時局所感　陳寄生

[illegible]

川柳　大屯坊選

一等　臺北市 東洋女
屠蘇あげて陣中便り讀み直し

二等　臺東 王錫五
日滿支お手々をつなぐ年になり

三等　汐止 岩田勉
貧ながら國に捧げた子三人

佳作

臺南 二三七　年新た良民票を門に貼り

臺北 宮崎靜子　いさぎよく散れよと母のふみに泣き

花蓮港 毛井北辰　公報に泣かず日本の母であり

臺北 波多野直俊　介石は或る夜ひそかに臍をかみ

同 六合庵　部隊長乘せてお竹は選び廻はり

入選

臺北市 東洋女　木綿もの肩身も廣く出して着る

臺南市 二三七　先づもつて泥棒市が復興し

臺北 六合庵　介石は兎のやうに逃げ廻はり

北門 王碧燕　逃げる將に支那大陸は狹いなり

新店 野崎秀雄　初日うけて占領地に芽ざす新秩序

基隆 一晄　飛行士を陥へ置いて將眠り

臺北 譚桂風　降る者と丈けは日本甘言へるなり

臺中 蒲丸　白旗で命の先に飯を乞ひ

臺北 井澤小南坊　荒鷲の羽搏き支那を席巻し

臺北 井澤小南坊　秀吉の遺業昭和に完成し

虎尾 墨裕智　勝つ度に士民明るくなついてゆき

宜蘭 茶緑雅江　面會に來た女房にも舉手の禮

臺北 井澤小南坊　支那四億怨嗟の聲に將は病み

臺南 中津川三七　新頭にも一番乘りで初詣で

臺北 增田周來　姑娘が軒に日の丸掲てて居る

臺南 突面坊　初日を飯の碗子とは太いなり

高雄 竹山三郎　國賊が號令口調おめでたう
追ひ羽子も"天に代りて不義を討つ"

臺南 佛源子　自二公めんどりの挽歌で支那は暮れて行き

臺中 桑寒子　國民文先づ假名文字の方を讀み

臺北 兩井軒花童　部隊長も禁酒をやぶるお元日

東京 玉木虎魚　初日記これからモンペへ着ると書き

高雄市 森茂　荒鷲の翼下にひろい占領地

臺中州 松本理一　先づ感謝先づ獻納で屠蘇をくみ

臺北 吳淡梅　祝勝捕虜にも少しわけてやり

臺北市 和田恒好　花ちゃんも兵士になると駄々をこね

臺北市 西部兵衛　戰捷の旗ではないと坊や言ひ

基隆 一晄　これ

臺南 西澤切庭　父親の寫眞へ坊やおめでたう
散付の彼かき合はす皇民化

基隆 平島一夢　國策へ吾が子必死の貯金箱
初詣で"長期建設"先づ祈り

員林 竹葉　ボーナスは貯金ですと通つて捗び

臺南 藩瀾確治　宋美齡生活でたら又奥行暗

東港 李昆德　東洋を知らぬ國だと申込れ
萬骨は枯れて一將功成らず

臺北 金一秋　一世一代のいのち捧げ

謹賀戰捷新春　皇紀二五九九年

內海忠司　高雄

中村一造　高雄

陳啓貞　高雄

山本雄一　高雄

武智信知　高雄市

龜山相次　高雄

古鐵商　山崎楠猪　高雄市入船町

高雄市會議員（イロハ順）
池尻重雄　潘財源　本地才一郎　千葉政之助　陳啓清　陳光亮　李新春　柏原武夫　川口長助　川野福太郎　何傳　楊金虎　田中泰作　塚本文一郎　中村憲雄　中島秀金　駱卓哉　楠田榮治　松尾繁郎　眞砂由次郎　船橋武雄　福井四磨　安藤彥市　宮川九郎　平田末治　庄司進一郎　杉本三郎

高雄市區長（イロハ順）
長谷川哲三郎　李炳森　高木拾郎　中村亨　工藤哲平　鈴木達應

高雄商工會議所議員（イロハ順）
林塗盛　大野米次郎　太田恒次郎　王清賞　王天沃　高十三　中村一造　杉原清三郎

高雄海員友信會

越智寅一　今村末吉　森剛　高雄市酒類賣捌人

熊井才吉　淺生四市郎　高雄市煙草賣捌人

吉井百貨店　高雄市山下町　マート部　屏東市 吉井支店

日本炭酸株式會社　高雄市苓雅寮二六〇番地　多木龍二

丸一組　辰馬汽船株式會社代理店　大阪商船株式會社代理店　解船運送、曳船業　苦力請負、代理業　高雄市堀江町三ノ七一　出張所 基隆市旭町三・臺北市北門町

高雄州米穀組合　高雄米穀商同業組合　高雄市新濱町一丁目

高雄州自動車運輸株式會社　本社　高雄驛前出張所

日本水產株式會社　冷凍部高雄出張所　高雄市新濱町三丁目二十四番地

高雄土木建築負請業組合　高雄市榮町　電話二四一六番

高雄地所株式會社　高雄市新濱町壹丁目貳七番地

高雄市各宗佛教會

高雄勞働需給組合

高雄製氷株式會社　電話二二五〇八番

高雄州自動車工作株式會社　高雄州自動車講習所　高雄州高雄市前金五七ノ四番地

內臺運輸合名會社　市內バス　高雄共榮自動車株式會社　高雄市湊町一ノ二二

高雄中央卸市場株式會社　高雄市北野町三丁目三番地

高雄州警務部保安課構內　高雄州自動車協會　構內　電話八四番

臺灣地所建物株式會社　高雄出張所　基隆出張所

林自轉車商會　東京山口のマルワイ號　東京日米の富士號　高雄州下代理店

大庭鐵工所　高雄市湊町二丁目七番地　大庭定吉

高雄館　高雄市堀江町二丁目

金鷄館　高雄市榮町　電話二三一九番

すつぽん鍋　割烹たまき　電話二一五〇九番

高雄花壇

金子組　土木建築請負業　高雄市堀江町一ノ一七

カラスミ製造發賣元　新高キャンデー　西洋御料理 滋養軒　山田アサ

吉岡鐵店　高雄市堀江町四ノ三九

福島洋服店　高雄市堀江町二ノ二六

萩原重太郎　高雄市中和町一丁目一番地

中尾疊屋　高雄市湊町　中尾岩市

安藤藥局　高雄市山下町

タサカ寫眞館　高雄

大木藥局　高雄市湊町

高雄洗布所　ドライクリーニング　高雄市山下町

眞砂店　洋品雜貨化粧品

割烹一保　平田彌八郎

高雄吳服商組合
增居吳服店　石川吳服店　酒井吳服店　森本吳服店　吉本吳服店　高野吳服店　小川吳服店

陳中和物產株式會社　高雄市三塊厝一〇六八番地

高雄信用組合

高雄魚市株式會社　高雄市新濱町二丁目十番地

高雄市旅館組合

高雄料理屋組合　高雄檢番　高雄共榮檢番

辰馬汽船株式會社　臺灣出張員 福岡勝郎

東洋製罐株式會社高雄工場

高雄雜貨卸株式會社　高雄市堀江町四丁目二十四番地

高雄州青果同業組合　高雄州高雄市苓雅寮四一番地

高雄州廳食堂團一同

臺灣合同鳳梨株式會社　高雄市

淺野セメント株式會社　臺灣工場　高雄市田町三丁目九番地　臺灣支店　事務所 臺北市北門町七番

謹祝皇軍大捷新春

臺南市 山本諫

臺南市白金町一丁目 賜成洋家具店 電話壹〇參七番

臺南市錦町二丁目宮古座横入 カフエー オランダ 電話貳七番

臺南市末廣町一丁目 三吉野

臺南市大正町二ノ五 たつた家 電話七五八番

運動具 樂器 文房具 化粧品 理髮材料 臺南市錦町二丁目七七番地 合資會社 竹中商行 代表社員 竹中源作

臺南市錦町通 中村洋家具店

臺南市本町二丁目六二番地 金義興商行 王汝禎

印刻・印刷 臺南市高砂町一丁目角 河洛軒印房

臺南市港町一丁目 合資會社 永茂商行 電話貳九七番

臺南市錦町二ノ四四 臺南珍商店

高等洋服技術講習所 所長 呉鴻輝 臺南市西門町二ノ五八

洋紙 文具 臺南市本町二丁目 淑竹居洋紙店

良品 正札 臺南市本町四丁目 清泉羅紗店 電話貳貳五番

臺南市港町壹丁目 森川シート屋 電話八〇九番

臺南市錦町二丁目 比佐古屋

和洋雑貨 臺南市本町四丁目 金同成商店 電話五五八番

臺南市錦町二丁目三十一番地 味木小七

臺南 和洋雑貨商組合 和洋雑貨商安業貯金會 臺南市本町四丁目 電話五五八番

臺南市西門町 寶美樓

アテイ化粧品 タカサゴポマード 總發賣元 接昌化學工業所 臺南市永樂町二

臺南市西門町二丁目二五九 萬歳齒科醫院

臺南市明治町二ノ七 義和鐵工場

川村直岡 臺南

鶴友彦 臺南

西村德一 臺南

藤垣敬治 臺南

臺南市清水町三ノ六 住吉組 中井清枝

株式會社南部無盡 社長 栗山新造

臺南市 竹内八和太

公證人 菅元生 臺南市

臺南 黄欣

帝國生命臺南代理店 主管 幕内菊太郎

長會 校 本田乙之進 後藤義光 大森丈之助 西村寛司 板垣四十六郎

臺南放送局 八代豐吉

臺南市大正町二丁目一番地 臺南驛前〇三組運送店 遠藤彦四郎

滋養軒 臺南市西門町四丁目一三七番地 田口宇一

有限責任 臺南信用組合 電話五四三番

合資會社 臺南報印刷所 臺南市本町二丁目 電話三五八番

同 高雄出張所 高雄山下町 電話一九五二番

朝日印刷所 臺南市錦町

林藥局 藥劑師 林虎三 臺南市錦町貳丁目角

南陽堂製本所 臺南市白金町一ノ四八

澤田洋服店 臺南市本町二丁目

三輪養元堂 臺南市白金町二丁目

各種コンロ 電氣器具 金物一式 衣笠商會 臺南市錦町二ノ二三四

(東) 芹澤運送店 臺南市大正町一丁目十九番地

葉廷珪 臺南

臺南市錦町二丁目 橋本紙店 臺南市大宮町二丁目 橋本紙店印刷部

田中呉服店 臺南市本町二丁目 田中正義 電話四五番

一般設計 電氣工事 電氣器具 材料販賣 臺南市錦町二丁目七十八番地 アガリ電氣商會 上利八十八 電話八四〇番

内外文具 和洋紙 洋畫材料 寫眞版 いろは堂 臺南市白金町二丁目

臺南市大宮町二丁目 中谷看板店 中谷造花部 電話七三番

八幡羅紗店 本店 臺南市本町三丁目 支店 臺北市明石町一丁目 支店 高雄市

臺南郵便局前 御料理 食堂 松金 電話長二二番

レストラン 臺灣樓 臺南銀座

菓子 喫茶 洋食 トミヤ 臺南市本町二丁目 電話九七番

會席 御料理 壽芳樓

臺南市末廣町二丁目 山本蓄音器店 高雄支店

劇場 映畫 臺南市田町 戎館

明治キャンデーストアー 菓子 喫茶 食堂 トヨダ喫茶店 臺南市本町二丁目

御料理 小梅園 臺南市明治町二丁目

伊藤醫院 臺南市錦町

西提燈店 臺南市本町二丁目

西陶器店 臺南市白金町二丁目

西履物店 臺南市本町二丁目

臺南市會議員一同

臺南製麻株式會社 臺南市三分子一五七番地 電話八八九番

臺南華僑新民公會 役員一同

臺灣弘仁株式會社 臺南市白金町四丁目五七番地

鴻文印刷合資會社

臺南長老教中學

臺南州自動車協會 臺南州警務部保安課内

公認 臺南自動車講習所 臺南市東門町四丁目

臺南驛前 臺南タクシー株式會社 電話七五〇・三〇一番

臺南市中央卸市場構内 臺南市青果荷受組合

臺南凍氷共同計算所 臺南製氷株式會社 日本水産株式會社臺南冷凍工場 朝日製氷株式會社

有限責任 臺南簡易興産信用組合

保證責任 臺南建築信用購買利用組合 臺南市清水町三丁目三番地 電話二一七番

臺南大舞台株式會社 電話壹〇貳壹番

臺南魚市場内 臺南魚市仲買人組合

臺南漢藥種商營業組合 臺南市永樂町二丁目四番地

臺灣織布株式會社 臺南市大和町一丁目

保證責任 臺南漁業協同組合 役員職員一同

保證責任 臺南共榮建築信用購買利用組合 臺南州臺南市役所構内

合同自動車株式會社 臺南市田町四拾貳番地ノ貳六

有限責任 臺南州購買組合 臺南市清水町二丁目 電話二〇四番

臺灣商業學院 院長 石橋慧空

臺南驛 運友會員一同

臺南家政女學院 學院長 王兆麟

長岡自轉車商會 臺南市錦町二丁目 電話七五三番

自轉車商 臺南市末廣町二丁目百十一番地 福井治雄 臺南支店

臺南市銀座 ハヤシ百貨店

材木 板類 佐々木商店 臺南市港町 高爐セメント 佐々木高雄支店 佐々木嘉義出張所 電話七四番

鋼鐵工具及 自動車販賣 合名會社 山田商店 本店 臺南市大宮町 出張所 高雄市新濱町

諸機械工具用品 鋼鐵諸材料商 吉田商店 臺南市大正町一丁目 電話五六三番

臺南旅館組合

機械工具 建築金物 丸井金物店 猪田晋吉

明石鐵工所 臺南市白金町四丁目 電話七六六番

附屬品修理販賣 三勇商會 徐寶亨 臺南市錦町二丁目

五端第一支店 臺南市銀座

五端第二支店 臺南市清水町貳丁目三九ノ一 高級印刷 諸文具 事務用 製圖測量器

印刷 紙器 臺南市銀座 水木本店

阿波藍 正引幕 劇場 印絆天 其他印刷物一式 角屋染物店 臺南市西門町四丁目

臺南名物 宇治 モナカ ヨーカン 森山園茶舗 臺南市宮古座前 電話六〇八番

石炭 木炭 豆炭 コークス商 川上商店 臺南市港町壹丁目

材木商 株式會社 永森記商行

良いぞ印刷 三星堂 臺南市西市場前 電話壹貳八六番

株式會社 臺灣製鐵所

臺南綿布商同業會 外役員一同

臺灣南部通運株式會社 臺南市明治町二丁目

臺灣輕鐵株式會社 取締役社長 辛西淮 臺南市明治町二丁目二十六番地

特許登録 商品専門 永松商事社

大日本罐詰株式會社臺南工場 尾崎五平治 臺南市一分子八番地

和洋文房具 活版石版材料 頂安開進堂 臺南市大宮町 同印刷部

臺南商友會 近藤商會臺南支店 西村商會臺南支店 辰馬商會臺南支店 越智商會臺南支店 宅商會臺南支店

御料理 一筆 臺南市明治町二丁目 電話四七番

料理 仕出 鶯 臺南花園町一丁目 電話四〇九番

御料理 鶯遷閣 臺南市

御旅館 四春園 臺南

臺南檢番 臺南市錦町一丁目一百五番地 電話六一五、八四五番

臺南内地人貸座敷組合

活版 印刷 諸印刷 新盛文印刷所 臺南市大宮町

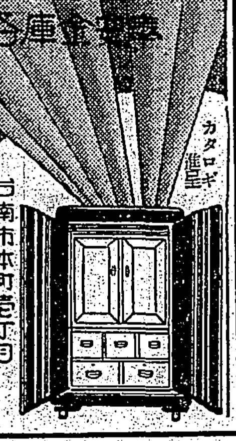
櫻梧社呉服店 電話四六七番

臺南靴商組合 組合長 郭漢

開陽堂オフセット印刷所 臺南市白金町二ノ二〇

川中鐵工所 臺南市明治町二ノ五四 電話二六二番

映畫 劇場 臺南市 宮古座劇場株式會社



金庫 鉄扉 鋼鉄製保管庫類 金庫各種 カタロギ進呈 近江屋金庫店 台南市本町壹丁目 電話四〇四七番

ナツイ寫眞館 高雄市榮町二丁目

船舶用商 井上益喜商店 高雄市湊町一丁目

高雄組合銀行

株式會社 高砂信用組合 本店 出張所

支店長 永田繁雄

日本通運株式會社 高雄支店

高雄銀座會

高雄醫師會

合資會社 山半商店 高雄市湊町貳丁目

海陸運送業 勞力請負業 代理業 臺灣高雄市新濱町一丁目一番地 株式會社 日東商船組 電略 タ 振替口座臺灣貳〇六番 電話(代表)(3251)(3252)(3253)(3254)(3255)

株式會社 臺灣鐵工所 臺灣高雄

高雄醫會 (イロハ順) 井狩醫院 帖佐醫院 尾上醫院 大井醫院 渡邊醫院 分島醫院 嘉數醫院 神田病院 田中醫院 安田醫院 小出醫院 滿老名醫院 右田醫院 島田醫院

潮州郡守 佐藤正二 同庶務課長 天野雅樂之助 同警察課長 能村他吉 潮州街長 川野觀太平 内埔庄長 河津利生 竹田庄長 名丸米吉 萬巒庄長 朝倉良妥 新埤庄長 草野安二 枋寮庄長 伊藤良藏 枋山庄長 高橋惣治

潮州郡潮州街 潮州水利組合

潮州郡 内埔庄役場

潮州郡 内埔庄協議會員 島本又雄

潮州郡 内埔庄協議會員 中西潔

潮州郡 竹田庄西勢鳳梨工場 主任 島田學

潮州郡 内埔庄民風作興會

潮州郡 萬巒庄民風作興會

萬巒庄下農事實行組合

潮州郡 竹田庄民風作興會

潮州郡 新埤庄民風作興會

潮州郡 潮州公學校職員一同

潮州郡 内埔庄内埔公學校職員一同

潮州郡 内埔庄老埤公學校職員一同

潮州郡竹田庄 西勢公學校職員一同

潮州郡新埤庄 新埤公學校職員一同

潮州街 潮州聯合保甲事務所

潮州郡萬巒庄 萬巒聯合保甲事務所

潮州郡内埔庄 内埔聯合保甲事務所

潮州郡内埔庄 老埤聯合保甲事務所

潮州郡竹田庄 竹田聯合保甲事務所

潮州郡新埤庄 新埤聯合保甲事務所

潮州郡竹田庄 溝仔墘聯合保甲事務所

潮州郡内埔庄 新北勢聯合保甲事務所

潮州街 五魁寮聯合保甲事務所

保證責任 新北勢信用購買利用組合 高雄州潮州郡内埔庄 電話十六番ノ甲

保證責任 大和信用販賣購買利用組合 高雄州潮州郡潮州街

保證責任 潮州信用購買販賣利用組合

保證責任 萬巒信用販賣購買利用組合 潮州郡萬巒庄 外役職員一同

保證責任 佳佐信用購買販賣利用組合 潮州郡 組合長 陳安恭

迎皇紀二五九九年

長期建設第二年へ
時局と臺灣の產業

總督府殖產局長　田端幸三郎

支那事變勃發以來既に一年有半、其の間御稜威の下、皇軍將兵の勇戰奮鬪に依り、戰局は著しく進展し、既に廣東、武漢相次いで陷落して偉大なる戰果を收め、事變は愈よ新段階に入り、東亞新秩序の

黎明 を確認するに至つたのであるが、尚前途必ずしも容易でない事を、充分銘記せねばならない。惟ふに此の事變は必然的に起る可きものが起つたので、決して偶發的に勃發したものでないことは、滿洲事變前後の事情を歷史的に考察すれば、自ら首肯される事實である。而して本事變が聖戰と呼ばれる所以のものは、實に東洋平和確立のための建設的意義と使命を有するが爲であつて、換言すれば對支戰爭は平和實現のための、又建設のための戰ひなのである。

近代 の戰爭が武力戰であり、思想戰以上の物資を消耗するものであることは、改めて說明を要しない所であつて、從つて今日の經濟の全機能を傾けねばならないのは當然である。其の他近代戰爭に於ける國防は產業、國防、經濟の確立に從屬を餘儀なくされることであり、今後益々かうした傾向は強化されるものと考へなくてはならない。而も戰時に於ては國防的需要に吸收されるものは益々絕對的に增加する傾向に在る。

所の如き理由に依り今後の

戰時 經濟の運營は愈々慎重を要せねばならぬのである。何故なら戰時に消化された物資を補充し、更に將來戰への準備をなす爲に、軍需品生產力そのものを擴大する事は勿論、之に照應する國民經濟力の綜合的發展を圖らなくてはならぬからである。今日行はれて居る物資動員計畫はもとより、此の方向に依つて實施されたのではあるが、然しこれは云はば第一段階であり、そこには一定の限界が置かれたのである。從つて戰時經濟政策の消極面に過ぎないと云へるのであつて、今後は積極的の對策に依つて

軍需 必要資材の供給確保、擴充、增大計畫がなくてはならない、第二の[illegible]

に輸入して來たのである。生產力擴充計畫の強化を始め、輸出振興策、或は代用品製造助成方策の必要が叫ばれるのは此の爲である。何れにしても、これらの方策に依つて、軍需生產物の供給增大を圖らねばならぬのである。從つて或る程度の犧牲も已むを得ないし、又國民個々の利己的意思は停止されて、國民的綜合的たる戰爭の

目的 達成、民族的使命の遂行に一路邁進しなければならぬ秋である。しかも長期に亙つて聊かも其の緊張度を緩和することを許されないのである。我が台灣亦この自覺の

◇……滿洲重工業總裁　鮎川義介氏筆

下に起ちて、我國唯一の熱帶地域として、又帝國南進の據點として產業經濟はもとより、國防上にも重き役割を演じつつ、躍進日本に輝かしい地步を固めてゐるのである。

臺灣 は明治二十八年我が統治下に置かれたのであるが、當時は瘴癘蠻煙の地として化外の地であると迄称されたのである。然るに爾來我統治の施政に依り、凡ゆる施設方策が講ぜられ、殊に最近四十二年を經た今日に於ては、時運の發展と相俟つて、交通、衛生、教育、產業等各般に亘り凡ゆる文化の地となつたのである。而して殊に產業部門に於ける發展は洵に驚異的のものがあると云へるのである。卽ち明治三十五年七千万円

に過ぎなかつた總生產額は、今日に於ては七億六千万円と實に十倍餘の

激增 振りである。之を各種產業部門に就いて見れば、農產に於ては六倍、水產に於ては十四倍、工業生產に於ては二十倍、鑛物生產に於ては十一倍、林產に在つては實に二百倍といふ生產增を示す飛躍振りを示し、台灣の二大重要產物たる米及砂糖に就いて見ても、米は年約五百万石、價格約一億万円、砂糖は一千五百万ピクル、價格一億九千万円の內地移出をなし、帝國の食料品自給上缺くべからざる貢獻をなしてゐるのである。この点の

みを以つて見るも、化外の地と言はれた台灣は、帝國の一大

寶庫 たるのみならず愈々南方へ經濟的に發展する基地であり、又今次事變に依り、國防上極めて重要なる地點なることを證明せられたのである。台灣產業は各部門に亘り躍進の一途を辿りつつある狀態であるが、更に其の內容に就いて大觀すれば、總生產額中、農產は約五割、工業生產は約四割、鑛物生產、水產、林產併せて一割といふ狀態である。而も其の工業生產中五割內外は糖業であり、農產中の七割は米である所から見て、台灣

產業 は農產就中米と砂糖が斷然他を引離し、今日の台灣產業は、殆ど

此等を二つの柱として立つてゐるかの觀を呈してゐるのである。惟ふに台灣產業が斯の如き特異の發展をなした理由は、種々あると思はれる。卽ち農業特に米作並に蔗作が、台灣の熱と光に惠まれたる自然的條件に適してゐる事も、大なる理由と擧げらるべきである。然しより大なる原因を爲したるものは、從來我が國の經濟狀態が

米及砂糖の 增產を必要とし、台灣がこの經濟上の必要に照應して、これが增產のため極力助長、獎勵の方針を採つて來たことに在るといふことが出來るのである。先づ台灣に於ける今日の米作の發達に就て見れば、日露戰爭前後から我が國米穀の需給狀態は、次第に不足の狀態が顯著となり、歐洲大戰に至るや一大不足を生じ、價格の暴騰を來したが爲、台灣に於ける產米獎勵は、內地に於ける此の對策として、既然促進せられ、總督府の指導援助と、殊に內地種の移植に依る蓬萊米が

內地市場に 大歡迎せられた事情とに依り、僅々十數年の間に、今日の如き米作の一大發展を見るに至つたのである。次に台灣に於ける糖業の發展を見ても、之亦明治三四十年代に於ける內地の經濟事情の必要に照應して、今日に至つたと言ふことが出來るのである。卽ち當時の日本は極めて大規模の產業の進展期であつたが爲、貿易は巨額の入超を續け、國際收支は次第に惡化する一方であつた。併し當時として、日本は未だ農業國であつて斯かる

國際收支を 克服するためには輸出の增大を圖ることが困難であつたので、當時巨額の輸入を爲せる、砂糖の生產を台灣に於て獎勵することが必要になつたのである。かくて米は島內消費を充して尚ほ五百万石を內地へ移出し、砂糖は殆んど帝國の需要を充足する狀況を見ると共に、台灣產業の今日の如き米及砂糖を中心とする特異性を齎したのである。然るに近時國際情勢の激變に伴ひ、殊に現下戰時統制下に於ける我國全體經濟の要請に鑑みるに

臺灣從來の 產業經濟的行き方に對しては之に照應する改訂が必然的に要求せられて來るので卽ち從來の如き米と砂糖とを主柱とする農產業のみを以てしては我國現下の緊急なる要請

である生產力の擴充、國際收支の適合並に物資需給の調整方策の遂行上重要なる部門としての責務を充分果す所以でなくなつて來てゐるのであつて寧ろ時局に照應しその自然的

地理的特性 を活用して國家的有用資源である麻類、苧麻、黃麻、甘藷、棉花の綜合的生產の增加を圖るとか、或は埋藏資源の積極的開發を圖るとか更に南方との經濟的關係を緊密ならしめて所謂帝國南方ブロックを指導してその資源を開發利用することに主力を注ぐことが現下の台灣に課せられた重大使命となつてゐるのである。今次事變に際し、軍需上緊要なる麻類、黃麻、畜肉、蔬菜、乾草、食料品の罐詰等の增產に努め、島民亦率先之に協力して

報國運動の 一端とし、又[illegible]を利用して馬糧の獻納に努め、又草のうきを造つてクリークの浚渫材料とする等の事例も素より本島の特殊に依つて愛國の至情を致したのであるが同時に右の如き認識に基くものである。此事は獨り農業部門に限らないのであつて卽ち從來鑛業に於ては金、石炭、銅、マンガン、ニツケル、石油、天然瓦斯等の時局に緊要なる

埋藏資源が 相當賦存してゐる事は、既に發見せられた鑛物のみにて、八十餘種に上る事より推知せられて居たが、之を本格的に開發する機運に至らず石炭、金、銅、石油等年產價僅かに三千万円程度に過ぎなかつたが、之等も時局と共に極力助成の方策を採ることが、刻下の緊要事となり、特に金と石油に就ては、何を措いても之が開發を必要としたのである。卽ち總督府はこれ等有用資材の生產力擴充の施設を講じ、特に鑛物增產のために總督府に於ける鑛山業施設經費は三百万円の多きに上り、且着々其の實績を擧げつつあるのである

工業 に就いて見れば食料品工業特に砂糖、醸造、纖維工業等の外さして見るべきものがなかつたが、昭和九年十万キロ水力發電が日月潭に於て實現するや、從來多數の人によつて、寧ろ夢想だにされなかつた台灣に於けるアルミニユーム工業が、蘭領リオ群島より原鑛を輸入し、六千瓲の生產を始めたのを始めとして、以來內地に於ける工業資本と技術は、台灣の低廉豐富な電力と南支南洋の資源と市場とに一大注目を拂ふやうになつて來たのである。最近合金鐵工業、硫安工業の他

天然 瓦斯利用工業、無水酒精工業、パルプ工業、ニツケル工業、マグネシウム及製鐵工業、合成ゴム工業等所謂新興工業が陸續として事業を開始し、又設立の計畫中である。殊に水力電氣の開發は今後相當に期待出來るところであつて包藏電力二百五十万キロと稱されるのによつて見るとき、台灣產業は之を轉期として新しい段階に進むものと云へるのである。殊に今次事變に於て所謂長期戰と共に長期に涉る明朗支那の建設工作と、同意義なることは多言を要しない所であつて、之がためには台灣產業も之に對應する樣

見解 を新しくする必要があり、前記の台灣に於ける工業の勃興は、是非促進せしめ、我が國の產業が國防の確立と東亞經濟の建設とを目標として、新規的發展を遂げつつある秋、台灣の產業も亦日本經濟の一環としてこの大事業の一端の責務を負ふべきは勿論である。而も帝國南方の鎖鑰であり南進の據點であり、且つ南支市場を控へてゐるを想ふとき、南洋に面む本島に負荷された產業的使命は極めて重大である。

年頭所感

臺北商工會議所會頭　後宮信太郎

春茲に改まり、光輝あり、希望に充てる、昭和十四年の新春を迎へ、先づ聖壽の無窮を壽ぎ奉り皇軍の武運長久を祈り、併せて戰歿將士の英靈を慰め、島民の多幸を祝福するは、予の最も欣快とするところである。

顧みれば、昨年は[illegible]

時たるに、皇々たる戰果を收め、武威を中外に宣揚すると共に、全支を風靡し、國運の隆昌を見、輝かしき勝利を祝賀する萬歲の聲は、全國津々浦々に響き渡り、一億の國民は、擧げて歡喜に浸り、一方國內に在つて、擧國一致、協力奮鬪、銃後の護りを堅くして、躍進日本の雄々しい姿を示したことは、國民は、[illegible]局の重大性に伴ひ、我國民は實に多事多難であつたが、愛國の熱誠に燃ゆる、大和民族の意氣は、よく難局を突破し、更に進んで、長期戰に備ふると共に、興亞[illegible]

那の建設のため、所謂長期戰に突入することとなつた。殊に南支方面に於ては、廣東、海南の攻略占領に依つて、從來同方面と密接なる關係のあつた台灣としては、此處に新たな使命の遂行、[illegible]今次事變に因つて引揚げた邦人其の他、台灣からは、[illegible]明朗な新天地建設に、我々の努力の一端が認められると共に、我等台灣の人々の責務の重大さが痛感されるのである。

既に敗戰に敗戰を重ねながら、尚根強く地を携へる府政權は、尚長期抗戰を稱へて蠢動しつつあるが、帝國は不動の大方針の下に、更に不拔の決意を以て、時局に對處し、使命の遂行に邁進せんとするの秋、我等經濟人は、殊に時局の認識を正しくし、國策に順應し、以て、奉公の誠を致さんことを誓ふのである。

今や光輝ある皇紀第三年の新春を迎へ、茲に所感の一端を述べて、[illegible]多幸なるを慶祝し、益々總動努力せられんことを希望する。

謹賀戰捷新春　皇紀二五九九年

高原逸人　花蓮港廳

梅野清太　花蓮港

谷口廣三　花蓮港鐵道出張所

美濃部良晴　花蓮港築港事務所

花蓮港廳
土居美水　釜田喜太郎　東有恒　玉眞鎭元　千葉元枝　鳥居武男

花蓮郡 吉田治久　鳳林郡 大塚國一郎　玉里郡 宮瀨浩

花蓮港街協議會員
村田守蜜　石田順平　古藤齊助　玉置彌四郎　玉井龜次郎　林運　三木謙治　王玉寶

饒永昌　鳳林郡鳳林庄

羽鳥醫院　院長 醫學博士 羽鳥重郎

久保朝二　花蓮港醫院

鄉野不二男　專賣局花蓮港支局

植田末熊　花蓮港街

河野俊雄　日本アルミニユーム會社

吉村佐平　花蓮港街

林玉鑾　花蓮港街

花蓮港　小川浩商店　電話(三五〇・四八・二三・一二六)

花蓮港廳協議會員
福井公　小川浩　古賀朝二郎　植田末熊　羽鳥重郎　泉二吉　清水半平　宮崎末彥　許聰敏　呉阿慶

鳳林庄協議會員
岡太吉浦江徐鄭狩中穴安謝大
田井田頭野野見富村
丈秀榮幸七福竹
泰利清米正伊
太次五二
良夫一六吉春林郎行郎郎旺八

東臺灣無盡株式會社　鳳林代理店　饒永昌　徐秀春

花蓮港街米商　永泉商會　饒永昌　楊丕儀

鳳林庄役場
饒永昌　山崎林太郎　西野承實　廖順生　楊阿來　林谷　中尾角次　外一同

保證責任鳳林信用購買販賣利用組合
理事組合長 饒永昌　專務理事 井吉秀　同 徐清春　理事 江頭五六　同 加茂俊郎　同 兒島忠二郎　同 張七　同 徐阿淡
監事 張利　同 渡田阿太榮　同 和璧金一　同 楊順來　同 官有開

代理店及特約店
多木肥料株式會社　日本エタニットパイプ株式會社　日產自動車株式會社　東京製鋼株式會社　丸善石油株式會社　關西ペイント株式會社　三菱商事株式會社　淺野セメント株式會社
花蓮港街　吉村商店　電話(三四・二六一・三三)

タツキリ溪砂金採集所

花蓮港中學校職員一同

花蓮港高等女學校職員一同

花蓮港小學校職員一同

花蓮港公學校職員一同

花蓮港廳自動車協會

花蓮港庶民信用組合

保證責任花蓮港定置漁業信用販賣購買利用組合

花蓮港物產株式會社

花蓮港郵便局

花蓮港婦人會

花蓮港廳農會

東部信用組合

花蓮港信用組合

有終信用組合

住田物產株式會社　花蓮港珈琲農場

吉野村產業組合

保證責任林田村信用購買販賣利用組合

公共休泊所　タロコ閣

公共浴場　瑞穗溫泉

花蓮港　玉置金物店　玉置彌四郎

花蓮港　林田居住民會

花蓮港　吉野居住民會

東臺灣無盡株式會社

臺東廳關山郡關山　順興商會　電話拾七番　胡秀榮

吉野庄 中島常雄　瑞穗庄 渡邊文吾　壽庄 細井治三郎　研海庄 山口次人　新社庄 水谷勝　富里庄 小笠原法榮
田浦公學校 中條福安　鳳林公學校 牧內憲五郎　吉野小學校 中島眞澄
吉野庄 唐牛宣春　瑞穗庄 岩本等　壽庄 林玉雙　瑞穗庄 羅進興　玉里街 劉守謳

恒春　葛野淺太郎

一家の經濟は臺所から
臺所の經濟は木炭から
木炭は
はねずいぶらず火はよく火持よき
恒春炭に限る
恒春木炭組合

恒春電氣株式會社

東海自動車運輸株式會社

花蓮港電氣株式會社

花蓮港木材株式會社

鹽水港製糖株式會社　花蓮港製糖所　所長 楠田正雄

株式會社　朝日組

花蓮港拓殖株式會社

臺灣農產工業株式會社

謹祝長期建設新春

屏東 飯塚醫院 電話四五番

屏東 呉服太物雜貨商 長谷商店 電話貳〇七番

屏東 博愛醫院 電話參番

屏東 和洋菓子商 甘泉堂 電話五貳番

屏東 和洋菓子 西光堂 電話貳〇六番

屏東 御料理 會席 菊水 電話貳參八番

屏東 料亭 梅園 電話四參番

屏東 料亭 井筒 電話壹七番

屏東 映畫殿堂 末廣館 電話貳九八番

屏東 印刷 書籍 文房具 文教社 電話七番

屏東 和洋雜貨一式 セメント 谷村商行 電話六九番

屏東 明朗社交場 日春樓 電話四貳番

屏東 藥種問屋 合安藥行

屏東 洋食 觀山亭 電話一三五番

屏東 耳鼻咽喉科 張醫院

屏東 內科小兒科 安生醫院 電話參六七番

屏東 懷德醫院 電話參貳六番

屏東 會席料理 第一樓 電話參八番

明朗社交場 愛國カフエー 潮州街

屏東市尹 高木秀雄

屏東市助役 林旭

屏東 筧干城夫

屏東土木協會

屏東 深山要助

屏東 渡邊哲

屏東 佐藤覺一

屏東 秋山敬治

屏東 小川末登

屏東 三善丈夫

屏東 宇敷斐夫

屏東 坂上一郎

屏東 廣瀨次彥

屏東 藍高川

屏東 澤田義

屏東 小松茂美

屏東市會議員

津下猪太郎 渡邊哲 升島戸野一 宮添繼 渡邊藤次郎 龍揖松藏 山本實 藤田祐太郎 北原正知 佐藤覺市 林耀明 郭一清 林綿順 鄭清濂 蘇嘉邦 施宜 簡金鐘 劉棻頭 陳興雲 李明通

有限責任 屏東信用組合 電話五五番

保證責任 屏東興產信用購買販賣利用組合 電話四貳參番

臺灣酒類賣捌人組合屏東支部

臺灣煙草賣捌人組合屏東支部

屏東郡守 山田竹三郎

庶務課長 尾方勘內

警察課長 大谷近之助

長興庄 鹽埔庄 高樹庄 里港庄 九塊庄 職員一同

恒春郡役所

恒春庄役場 庄長 深川佐市

車城庄役場 庄長 許順吉

滿州庄役場 庄長 余雲祥

高田洋服店

食料品 雜化商 吉本商店 屏東市

遂生醫院

新古ミシン 古金物類 林大松商店 屏東市

屏東市 養福藥房

和洋菓子 芳泉堂 電話四壹貳番

屏東市 大和醫院

屏東市 盛香齊商店

屏東市 陽光洋服店

屏東市 ユリカフエー

屏東市 御待合所 つねのや食堂

屏東市 東進洋服店

屏東商工會議所

屏東旅館組合

屏東飲食店組合

屏東信託株式會社 電話二五一番

屏東自動車合資會社 電話屏東參四六 東港七〇番

屏東驛運輸業組合

屏東市露店組合

乘合營業 昭和自動車合資會社 電話貳貳〇・參〇番

諸官衙御用達 屏東 大和商事株式會社

臺灣南部無盡株式會社 屏東支店

興業株式會社 屏東市

屏東貸切自動車株式會社

高雄州自動車協會屏東支會

高雄 宗藤大陸

高雄 吉岡好治

高雄 井上英熙

高雄 本田喜八

高雄郵便局長 中山堅吉

有限責任 興業信用組合

中間自轉車商會 高雄市

高雄市 富重造船鐵工所

高雄州岡山郡 烏樹林製鹽株式會社

鳳山信用購買販賣利用組合

臺灣貿易株式會社 高雄市新濱町壹丁目壹番地

高雄材木商組合 佐々木材木店 永田材木店 本田材木店 奥村材木店 味園材木店 宮本材木店

恒春信用購買販賣利用組合

車城信用購買販賣利用組合

滿州信用購買販賣利用組合

屏東食料品日用雜貨商組合

產業組合協會屏東郡分會

高旗自動車株式會社 電話九番・三八番

鳳山街 仁壽醫院 韓起鳳

屏東 料理 蓬萊閣 電話五七番

高橋愛國堂 電話六六一番

屏東 南部合成會社

屏東市 玉霖商店

屏東 山口食料品店 電話四五六番

屏東 明明堂眼科醫院

屏東 古月食堂 電話四〇五番

屏東 食料品卸小賣 福松商店 電話三三番

臺灣運輸株式會社

日本アルミニウム株式會社 高雄工場 高雄市戲獅甲四三〇番ノ二

東港郡守 瀧田重勇

東港郡警察課長 藤原善治郎

同庶務課長 神保孝藏

東港街長 橫山新作

同助役 川畑清次

新園庄長 手代木駒之助

萬丹庄長 生田目與七

林邊庄長 鄭如南

佳冬庄長 蕭恩鄉

琉球庄長 儀間正良

東港水利組合

萬丹水利組合

佳冬水利組合

東港郡米穀統制組合

東港郡民風作興會

東港郡道路協會

東港郡煙草耕作組合

東港郡馬事普及會

東港漁業組合 魚市場 電話三八番

東港郡新園庄仙公廟 庄協議會員 醫師 黃業

東港郡萬丹庄 張山鐘

岡山郡路竹庄 洪榮三

岡山荷受卸賣組合 役職員一同

岡山 醉鄉樓

義陽商行

舊城信用購買販賣利用組合

東港郡溪州 溪州信用購買販賣利用組合

保證責任 萬丹信用購買販賣利用組合 役職員一同

保證責任 東港信用購買販賣利用組合 役職員一同

東港郡新園信用組合

東港郡獸肉營業組合

東港郡美容術營業組合

岡山郡守 五野靜輝

岡山農業國民學校長 河野道彥

岡山郡下 小公學校長一同

高雄州岡山郡 楠梓庄長 今井塚己吉

高雄州岡山郡 左營庄長 齋藤勝次

高雄州岡山郡 岡山街長 齋藤善次郎

高雄州岡山郡 彌陀庄長 八島善之進

高雄州岡山郡 路竹庄長 久木元昬

高雄州岡山郡 湖內庄長 角田豐太

高雄州岡山郡 燕巢庄長 齋藤三喜

高雄州岡山郡 阿蓮庄長 佐分利末熊

高雄州岡山郡 田寮庄長 朱萬成

岡山街 興產公司役職員一同

岡山製材所

岡山獸肉組合

岡山料理屋カフエー飲食店組合

岡山製氷公司

岡山樓一同

岡山 第一樓 第一カフエー 主人 郭順泉外一同

岡山街 農事實行組合長 蘇杰外一同

日本通運株式會社 岡山派出所職員一同

岡山信用購買利用組合

楠梓信用購買販賣利用組合

燕巢信用購買販賣利用組合

田寮信用購買販賣利用組合

阿蓮信用購買販賣利用組合

路竹信用購買販賣利用組合

大湖信用購買販賣利用組合

文賢信用購買販賣利用組合

頂茄萣信用購買販賣利用組合

彌陀信用購買販賣利用組合

梓官信用購買販賣利用組合

臺灣酒類賣捌人組合東部支部 宮崎末產 渡邊晉 唐仁原景俊 兒島俊二 白井逸次 岩崎學

臺灣煙草賣捌人組合東部支部 高橋與六 大對寅助 赤城佐太郎

東寶新興特約映畫常設 稻住館 電話六二六番

映畫常設 筑紫館 電話五五番

花蓮港 大江虎吉 電話二五七番

花蓮港驛構內 ㋡運輸組

花蓮港稻住 豐美商會 電話二二七番

花蓮港 南啓二 電話六〇七番

花蓮港 高橋分塵 電話三〇番

クスリと印刷 花蓮港 中村回生堂 電話一九番

花蓮港 片山寫眞館

和紙文房具 花蓮港 出古屋商會 電話一四八番

花蓮港 青山豐店 電話二六六番

花蓮港 並木學生堂書店 電話三〇一番

花蓮港 日夏吳服店 電話一四六・四四八番

花蓮港 梅津商店 電話四〇六番

名物 湖月菓子舖 電話一〇六番

ギヤエム自轉車特約店 花蓮港 土本岐阜商會 電話一三九番

新築落成 高級社交場 花蓮港 祇園會館 電話三四番

花蓮港 カフエータイガー 電話四五二番

花蓮港 花豐商事株式會社 電話二六〇・三六七番

森茂木材株式會社 花蓮港稻住 電話六〇六・六〇八番

花蓮港バス株式會社 電話六七番

臺灣食鹽元賣捌人組合東部支部 電話二八番

花蓮港酒類煙草食鹽小賣人組合

花蓮港土木建築協會 電話一二四番

皇紀二五九九年